

第2章 実践編 ～発達段階に応じた「性に関する指導」の実際～

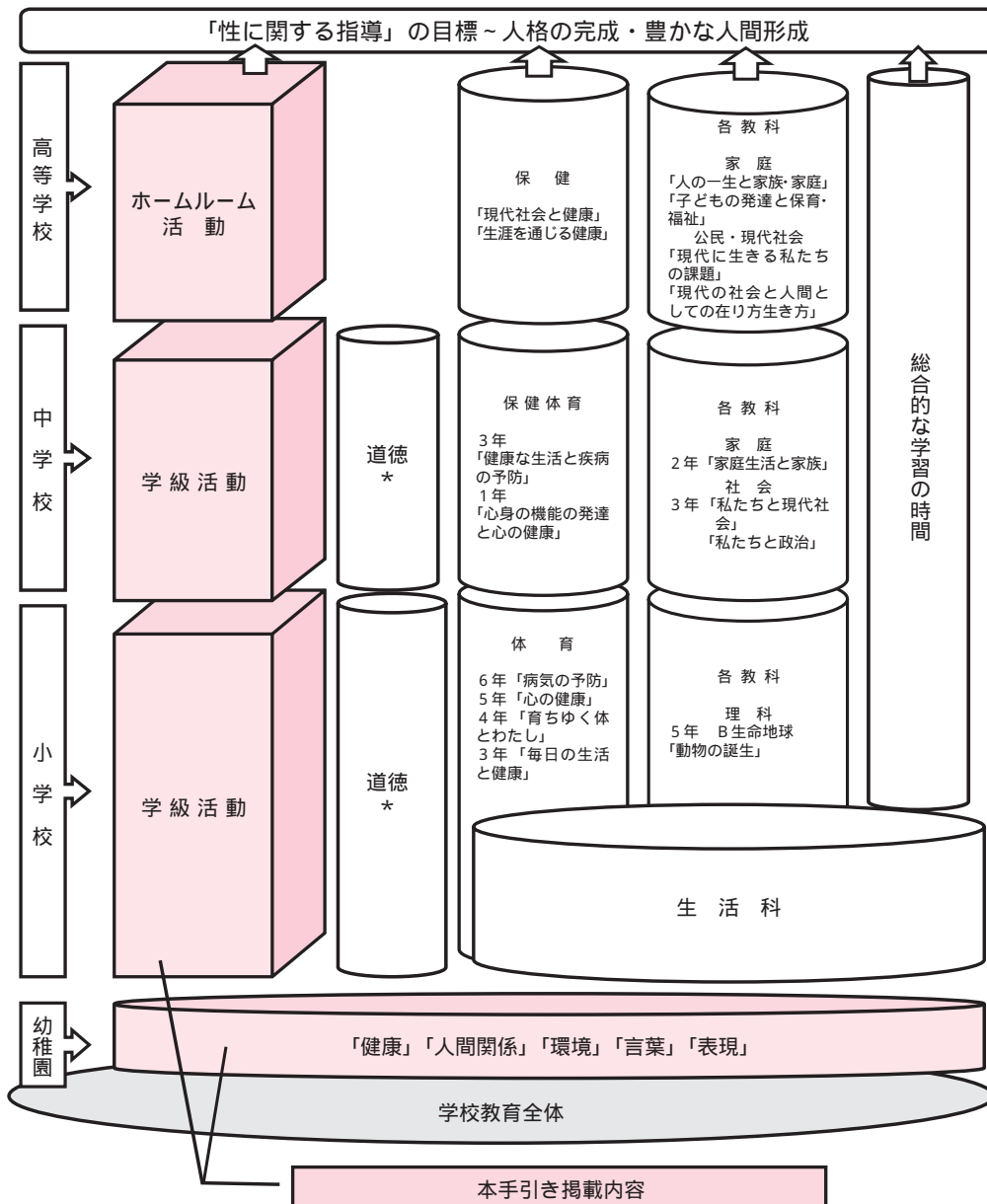
1 指導事例の活用にあたって

学校における性に関する指導は、常に児童生徒の実態等を的確に把握し、社会の変化などにも十分対応しつつ、特定の教科や領域としてでなく、学校教育活動全体を通じて効果的に進められるようにすることが大切である。

指導内容については、児童生徒が自ら学び、考えることによって、自己の生き方を築いていくためにふさわしい、すなわち「生きる力」の育成に役立つような内容に精選することが求められる。指導にあたっては、各発達段階において解決すべき課題に気付かせ、解決に必要な事柄を考えさせることによって、解決のための実践的な能力や資質を身に付けることが重要である。

よって、各教科等においては従来どおり、学習指導要領に基づき計画的に実施するものとし、本手引の指導事例については、「諸課題を解決しようとする自主的、実践的な態度や健全な生活態度を育てる」ことを目標とした、学級活動（ホームルーム活動）の特質に着目し、その推進を図ることをねらいとした。

「性に関する指導」関連モデル図



2 指導事例

(1) 幼稚園編

幼稚園指導事例 活用に当たって

幼稚園教育は生活体験に即した総合的な指導を行うことが基本である。

幼稚園教育要領に示されている5領域は小学校以上という教科（指導すべき知識や技術の教育内容のまとまり）と違い、幼児の発達を見る視点であり、各領域のねらいは幼稚園の生活全体を通じて総合的に達成されていくものである。

したがって、「発達段階に応じた性に関する指導の指導事項」の幼稚園教育要領上の展開（各領域との関連）については、それぞれの指導事項と各領域のねらいは複数の関連があることを前提とし、ここでは主になるかかわりを示した。

指導事例については、幼児が身近な環境に関わる中で出会う様々な事象について、命にかかわる事象を見逃さず、気付かせたり考えさせたりすることが気付きをはぐくんでいくと考え、保育者が命についてねらいを持って題材を設定し、幼児に取り組みせる活動として3例取り上げた。

活動するには幼児の発達や興味を無視し、一方的に与えるものにならないよう注意し、あくまでも児童の発達や興味、関心に即した内容で、身近にあるものや状況に直接的に関わる体験となるように配慮することが必要である。

幼稚園における性に関する指導はすべての領域と関連させながら、幼児の自発的活動である遊びを通して、命の大切さや家族の繋がり、自己肯定感や思いやり、規範意識を育み、自分の気持ちを言葉で表現できる楽しさなど、日常の保育活動の中で、幼児一人一人の今ある姿を温かく受け止め、発達の見通しを持って丁寧にかかわっていくことが基本と考える。

今回、示した～に示した全体計画例や指導計画例は、指導事例を掲載する上で性に関する指導と各領域の主なかかわりを明確にするために例示したものであるため、実際の計画の作成については各園の実情に応じて進めて欲しい。

I 幼稚園全体計画

幼児の実態

基本的な生活習慣が十分に身に付いていないため、個別指導の必要性が重要視されている。
他者との関わりが少なく、人と関わる力が十分に育っていない。
自制心や規範意識が低下してきている。
身近な自然に触れる機会が少なくなってきた。
情報過多の現状から、マスメディアを通じて様々な情報が一方的に入ってくるため、幼児への影響が大きく、周りの大人が取捨選択して情報を与えなければならない現状である。

具体的な指導の方針

- 1 基本的な生活習慣が身につくように家庭と協力しながら、個別の指導を繰り返していく。
- 2 日常において幼児の生や命に関する疑問に向き合い、コミュニケーションが図られるように努め、家庭と共通理解を図りながら進める。
- 3 身近にある飼育、栽培の活動を通して命の大切さや命の連続性について気付かせていく。
- 4 日常生活の中で、友達とのかかわりあいから相手の存在を意識し、思いやりの気持ちを持たせる。
さらに様々な体験を通して規範意識や自己抑制心を育てていく。
- 5 発達の個人差が大きいことを踏まえ、幼児の実態に応じて指導内容を考慮し、適時に繰り返し指導していく。

生涯にわたる 人格形成の基礎を培う

教育目標

- ・ (知) よく考え、よく遊ぶ子ども
- ・ (徳) 思いやりのある子ども
- ・ (体) 心身ともに健やかな子ども

目指す幼児像

基本的な生活習慣を身に付け、安全に気をつけて生活できる子ども。
他人に対して思いやりを持ち、相手のことを考えて遊べる子ども。
きまりや良いこと悪いことがわかる子ども。

幼稚園における性に関する指導の目標

自分の誕生や男女の違いを正しく受け止めるとともに生き物の誕生や成長にも気付き生命の尊さを感じとる。
男女にはそれぞれの違いがあるが、どの友達も同じように大切であることを知り、友達を思いやる心情や態度を育て、将来の男女の人間関係の基礎を築く。
家族はお互いに役割を分担し、助け合って生活していることに気付き、男女がいたわりあう心や、そのために自分の欲求を抑制しようとする心を育てる。

保護者、地域との連携

幼児が家庭の中で家族の愛情に気付き、お互いにいたわりあって生活していることに気付いていくようにする。
規範意識や自己抑制心を幼児期から養っていくことが大切であることから、家庭でもコミュニケーションを大切に、「良いこと、悪いことの判断力」を身につけられるよう協力を促す。
地域の関係機関と連携して講演会等を実施し、保護者の理解を深めていくとともに、有害情報からの保護に努める。

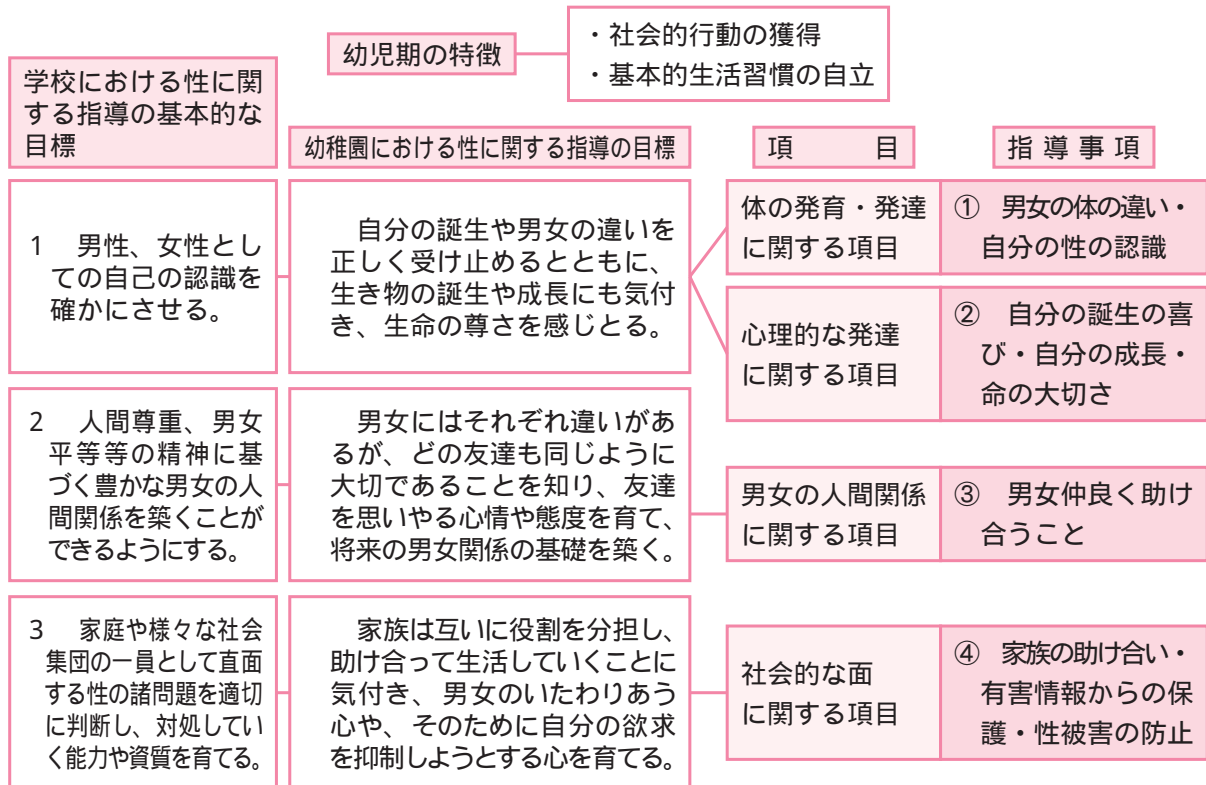
各領域との主な関連

- 健康の内容
- (7) 身の回りを清潔にし、衣服の着脱、食事、排泄などの生活に必要な活動を自分でする。
 - (9) 自分の健康に関心をもち、病気の予防などに必要な活動を進んで行う。
- 人間関係の内容
- (5) 友達と積極的にかかわりながら喜びや悲しみを共感し合う。
 - (9) よいことや悪いことがあることに気付き、考えながら行動する。
 - (10) 友達とのかかわりを深め、思いやりをもつ。
 - (13) 高齢者をはじめ地域の人々などの自分の生活に関係の深いいる人々に親しみをもつ。
- 環境の内容
- (5) 身近な動植物に親しみをもって接し、生命の尊さに気付き、いたわったり、大切にしたりする。
- 言葉の内容
表現の内容

II 発達段階に応じた性に関する指導の指導事項

指針（基本的方向性）

- 1 自分を大切にする（愛する）心を育てるとともに、他者を大切にする気持ちを育てる。
（人格の尊重、思いやり）
- 2 自分たちを取り巻く様々な性情報を取捨選択し、行動できる力を育てる。
- 3 直面する性に関する問題に対し豊富な知識を持ち、適切な意思決定や行動選択ができるよう育てる。



幼稚園教育要領上の主な展開例（各領域との関連）

領域のねらい	内 容	指導事項
健 康 (3) 健康、安全な生活に必要な習慣や態度を身に付ける。	(7) 身の回りを清潔にし、衣服の着脱、食事、排泄などの生活に必要な活動を自分でする。	①
	(9) 自分の健康に関心を持ち、病気の予防などに必要な活動を進んで行う。	① ②
人 間 関 係 (2) 身近な人と親しみ、かかわりを深め、愛情や信頼感をもつ。 (3) 社会生活における望ましい習慣や態度を身に付ける。	(5) 友達と積極的にかかわりながら喜びや悲しみを共感しあう。	③
	(9) よいことや悪いことがあることに気付き、考えながら行動する。	③
	(10) 友達とのかかわりを深め、思いやりをもつ。	③
環 境 (1) 身近な環境に親しみ、自然と触れ合う中で様々な事象に興味や関心をもつ。	(13) 高齢者をはじめ地域の人々などの自分の生活に関係の深いいるいるな人に親しみをもつ。	④
	(5) 身近な動植物に親しみをもって接し、生命の尊さに気付き、いたわったり、大切にしたりする。	②

Ⅲ 4歳児の発達段階に応じた性に関する指導の指導計画例

(1) ね ら い

日常生活の中で体への興味・関心を高め、衛生的な生活習慣を身に付ける。

自分の思いを表現したり、相手の思いに気付いたりしながら友達とのつながりを感じとり、一緒に行動する楽しさを味わう。

身近な動植物に接し、不思議さや感動を体験することで、生命の大切さに気付く。

(2) 4歳児指導計画例

保育の中で、繰り返し指導するとともに、他の題材と関連付ける。

自分自身に関すること		男女の人間関係	家庭や社会との連携
体の発育・発達	心理的な発達		
大切な体 「トイレのつかいかた」 「からだのなまえ」 「女の子のからだ、男の子のからだ」 「たいせつなからだ」	自分の成長 「おおきくなったね」 命の尊重 「おたまじゃくしが変身したよ！」	仲良く助け合う 日常的なトラブルの場面において繰り返し指導し気付かせる。	性被害の防止 「たのしいふれあい、いやなふれあい」

題材・目標・内容例

月	題 材	目 標	内 容	参 考 資 料
4	トイレのつかいかた	・ 園生活に安心感を持ち、生活に必要な衛生習慣を知る。	・ トイレの使い方やエチケット、正しい拭き方、手洗いの大切さがあることを知る。(個別指導重視)	
5	おたまじゃくしが変身したよ!	・ おたまじゃくしの成長と変化の過程を観察し、生物の不思議さを感じ興味をもつ。	・ 毎日育てた生物の変化に驚きと不思議さに感動の気持ちをもつ。	飼育図鑑 絵 本 「かわいいあかちゃん」
6	からだのなまえ	・ 体の各部位に名称があることを知り、体に興味をもつ。	・ 健康診断の機会に体の各部位の名称や機能を知り、自分の体に興味をもつ。	絵 本 「かこさとし・からだの本」など
7	女の子のからだ 男の子のからだ	・ 男女の体の違いに気付き、自分の性別を認識する。	・ 身体測定や更衣などの機会に男女の体の違いに気付き、自分と他の子の性別を認識する。	絵 本 「ふたりのはなし」
9	たいせつなからだ	・ 体の各部位のすばらしい働きについて知る ・ 体を清潔にし、また傷つけあつたりしないことが大切であることに気付く。	・ 体の各部位は自分が生活していく上で欠かせない働きをしていることを知る。 ・ 体の清潔を保持する習慣と方法を知り、習慣化する意識をもつ。	絵 本 「からだのなかでドゥン ドゥン」 「たいせつなからだ」
11	たのしいふれあい いやなふれあい	・ 自分を受け入れてくれる友達と遊ぶ楽しさを味わい、相手の思いにも気付いていく。 ・ 相手が嫌がる接し方を考える。 ・ 自分が被害に遭いそうになった時の対処のしかたを知る。	・ 自分を受け入れてくれる友達の存在に気付き嬉しさを感じとる。 ・ 自分と他者の気持ちの違いに気付き、自分に置き換えて相手の気持ちを考える。 ・ 自分の身を守る方法を知る。	絵 本 「わたしのはなし」 「おふるだいすき」 「いいタッチ わるいタッチ」 紙 芝 居 「おおきなこえでいえるかな」
2	おおきくなったね *指導事例	・ 自分の成長を喜ぶ。	・ 親子のふれあいを通して今の自分の存在を知る。	絵 本 「かこさとし・からだの本」 「みんなみんなぼくのともだち」

IV 5歳児の発達段階に応じた性に関する指導の指導計画例

(1) ねらい

進級や進学を迎えることをきっかけにして自分の体の成長に気付いたり、良い生活習慣を身につけたりする。

日常生活の中で友達とかかわって仲良く遊ぶためには約束が必要であり、相手のことを考えて時には我慢したり、助け合ったりすることの大切さに気付く。

自分が生まれてきたことでの家族の喜びを知らせることにより、命の大切さや家族の一員としての意識を感じとっていく。

身近な動植物にかかわって自然の不思議さを感じ、感動体験を味わうことで生命の尊さに気付く。

(2) 5歳児指導計画例

保育の中で、繰り返し指導するとともに、他の題材と関連付ける。

自分自身に関すること		男女の人間関係	家庭や社会との連携
体の発育・発達	心理的な発達		
大切な体 「からだってすごい！」	自分の成長 「わたしもあなたも大きくなったね!」「いのちってふしぎ」 命の尊重 「青虫がアゲハ蝶になったよ!」「カブトムシを飼ってみよう」	仲良く助け合う 「みんなすてきな仲間」	性被害の防止 「うれしいふれあい、いやなふれあい」 家族の助け合い 「かぞくとわたし」

題材・目標・内容例

月	題材	目標	内容	参考資料
4	わたしもあなたも大きくなったね!	<ul style="list-style-type: none"> 年長組に進級した喜びと自覚をもつ。 自分の体の成長を感じ、友達の成長にも気付く、喜んだり自信をもったりして成長を喜ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> 年少児を迎えたことで嬉しさを味わい、自分たちは年少児のモデルになることで自覚をもつ。 身体測定、誕生会などの機会に年齢も体も成長した実感をもつ。 	身体測定 誕生会
5	青虫がアゲハ蝶になったよ!	<ul style="list-style-type: none"> 全く違う形に変化して成長していく不思議さに興味をもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> 生態を観察しながら生命の神秘さや不思議さに疑問や感動の気持ちをもつ。 	飼育図鑑
6	からだってすごい!	<ul style="list-style-type: none"> 体の各部位には、名称と大切な働きがあることを知り、自分の体の仕組みに興味や関心をもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> 健康診断やプール遊び、リズム運動の機会に自分の体の名称とその働きについて日常的に関心をもつ。 	絵本 「おへそのひみつ」 「おっぱいのひみつ」
7	カブトムシを飼ってみよう	<ul style="list-style-type: none"> 生命を保つことの大変さから、生命の大切さに気付いていく。 	<ul style="list-style-type: none"> カブトムシの飼育の仕方を調べ、世話をすることで生命の維持について関心をもつ。 	飼育図鑑
	いのちってふしぎ *指導事例	<ul style="list-style-type: none"> 妊婦さんのお話を聞くことによって、自分たちの命が大切にはぐくまれてきたことを実感し、命の尊さを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> 出産を迎える母親や周りの人々の心情を知る。 自分や他者の命はかけがえのないものであることに気付く。 	絵本 「こころ・からだ・いのちの絵本」 「かこさとし・からだの本」
9	みんなすてきな仲間	<ul style="list-style-type: none"> 性別に関係なくみんなそれぞれ大切な存在であることを感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> みんなでする活動の中で、自分の力を発揮することにより周囲の幼児は一人一人の持ち味や良さを認める。 	

月	題 材	目 標	内 容	参 考 資 料
10	あかちゃん たんじょうのよろこび	<ul style="list-style-type: none"> あかちゃんとふれあうことにより、さらに命の大切さを実感する。 	<ul style="list-style-type: none"> 出産後の母親の話を聞き、誕生を喜んだり、母親の役割を考えたりする。 赤ちゃんといふれあい、優しいいたわりの気持ちを持ち、命の大切さに気づく。 	絵 本 「おかあさん」 「赤ちゃんのはなし」
11	うれしいふれあい、 いやなふれあい *指導事例	<ul style="list-style-type: none"> 「ふれあう」時の感情の違いによって不快なふれあいがあることを知る。 不快なふれあいについて考え、性的暴力から身を守ることを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> 相手の気持ちを考え、自分が嫌なことは相手にしないこと、してはいけない事は絶対にしないことを知る。 「プライベートゾーン」を知り、自分を守るための具体的な方法を知る。 	絵 本 「わたしのはなし」 「いっぴきおかみのそりり」 紙 芝 居 「おおきなこえでいえるかな」
2	かぞくとわたし	<ul style="list-style-type: none"> 家族が助け合って生活していることに気づき、家族の一員としての意識を持ち、できることを考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 家族の役割分担と家族の一員としての自分の役割を考える。 家族のためにできることをする。 	絵 本 「おにいちゃんが出てよかった」
3	じぶんのたんじょう のよろこび	<ul style="list-style-type: none"> 自分の命が大切に育まれてきたことを実感し、命の尊さを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> 他者とのかわりが広がっていく中で、自分が受ける愛情に気づき、成長の喜びを感じ取る。 出産を迎える母親や周りの人々の心情に気付く。 	絵 本 「わたしのあかちゃん」 「おかあさんがおかあさんになったひ」

「おおきくなったね」

1 題材名

「おおきくなったね」

2 題材について

(1) 設定の理由

幼児期は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要な時期である。自分の体への興味・関心が高まる時期でもある。また、幼稚園生活を通して他の幼児や家族以外の人々とかかわるようになり、他者との関係が広がっていく時期でもある。この時期に友達とのかかわり方や自分の存在・男女仲良く助け合って生きていくことの大切さを育てていくことが大切である。

本題材では、絵本の読み聞かせや日常の遊びを通して、命や体、自分や家族や友達を大切にすることが持てるような環境を構成し、人とかかわり方や人間が認めあって生きていくことの大切さを身につけさせたい。また、行事（修了記念 親子制作）の機会を利用して、家庭と連携した親子での活動を通し、体への興味・関心を高め、命や体を大切にすることが育てる環境作りをしていくことで心身共に健康な子どもの育成を図りたい。

本題に入る前に家庭・地域社会（町保健委員会）などと連携しながら、命・体（自分・家族・友達）を大切にすることに心がもてるような環境を構成することが大切と思われる。

(2) 題材構成

日常生活の中で、体への興味・関心を高め、命や体を大切にすることが育てる環境の構成をしていく。

日常生活

- ・トイレの上手な使い方・手洗いの大切さ
- ・健康診断・身体測定などの機会に、体の健康と成長を喜ぶ。
- ・着替えの仕方・エチケットを知らせる。
- ・けんかなどのトラブル時に命や体の大切さを伝える。

社会・対外的行事等

- ・保育参観日に『等身大の自分』を親子制作
- ・町保健師による保健指導

3 ねらい

- (1) 自分の体に関心をもち、自分なりに思ったことや感じたことを自由に表現して楽しむ。
- (2) 親や友だちとの触れ合いを通し、体験や感動を共有しながら、一緒に遊ぶことを楽しむ。
- (3) 自分の生まれた時の様子を聞いて自分なりに成長の喜びを感じ、自分や友だちの命や体を大切にしなければならないことに気付く。

4 各領域との関連

- (1) 健康 「からだのなまえ」 4歳児（6月）
- (2) 健康 「たいせつなからだ」 4歳児（9月）

5 週指導計画例（活動の流れ）

	2 / (月)	2 / (火)	2 / (水)	2 / (木)	2 / (金)
予想される活動	保育参観 おおきくなったね				
	絵本の読み聞かせ ・「あなたのおへそ」「みんなみんなぼくのともだち」				
	室内遊び ダンス「まあるいいのち」 制作遊び「雪の妖精を作ろう」・「親子制作等身大の自分」 ごっこ遊び				
	戸外遊び 雪遊び、固定遊具遊び、ボール遊び				

6 指導展開例（本日の活動の流れ / 「おおきくなったね」）

時刻	予想される幼児の活動	教師のかかわり () 指導上の留意点 (・) 環境構成 ()
9:00	登園する ・あいさつをする。 好きな遊びをする。	一人一人に笑顔であいさつを交わし、健康状態を観察する。
10:00	おへそってなあに？ 体にはいろいろな働きがあることに気づく 絵本『あなたのおへそ』について思い出したり、体について話し合ったりする。	<p>事前に関心を持たせるようにする。[1]</p> <p>「金魚におへそはあるかな？」</p> <p>「お母さんはおへそあったかな？」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常的に目に留まる場所に絵本を設置して読みやすい環境を構成する。 ・それぞれの思いを受け止め、思ったことがはっきり発言できるようにする。 <div style="text-align: center;">  <p>話を聞く時や絵本を見る時は扇形に集まり、集中できるようにする。</p> </div> <p>親子の会話を大切にしながら、期待感をもって参加する。</p>
		<p>園便りで『お子さんが生まれた時、どんな気持ちでしたか？』『出生時の体重・身長・写真』等を調査する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前調査をすることで保護者の理解を深めるようにする。

10:20

親子で等身大の自分をつくってみよう

親子で等身大の描き方の説明を聞く。

活動内容とねらいについて説明する。
等身大の描き方を説明する。

- 「思いっきり、大きく手や足をのばしてごらん！」
- 「好きなポーズをとってごらん。」
- ・活動が速やかに進むように、全員が理解できるように見本を表示するなどの工夫をする。
- ・親子で伸び伸びと活動することができる広い場所を確保する。

制作の手順や見本を模造紙に描き、わかりやすくする。



模造紙の上で自分の好きなポーズをする。
絵の具やクレヨンで染める。

- ・保護者は模造紙に子どもの全身の輪郭を鉛筆で描く。
- ・体の部位を確認したり、調べたりする。
手や足、顔や頭は、どんな色を使って染めたらいいかな？
完成した作品を掲示する。
「友達の作品と自分の作品を比べてごらん。」

CD『まあるいいのち』に合わせてみんなで踊る。

- CD『まあるいいのち』に合わせて、落ち着いてみんなで踊れるようにする。[3]
- ・心から真剣に気持ちを表現することができるように温かく見守る。



ダンスを踊る時は、自由に踊れる場所を確保しておく。

11:10

自分や友達の体を大切にしよう

親の話聞きながら、自分自身を振り返り、成長したことを喜ぶ。

作品を囲んで話し合いをする。
「赤ちゃんの時の写真と比べてどうかな？」
「背の高さは変わったかな？」

- 絵本を見る。
- ・いろいろな友達がいることを知る。
- ・自分だけでなく、友達の体も大切であることを再確認する。

- ・親子のふれあいを持つ。
- ・親としての意識が高められるように園通信を発信したり、子育て支援をしたりする。
絵本『みんなみんなぼくのとち』の読み聞かせをする。[2]
- ・絵本を通して、自分の存在を知る。
- ・誕生・成長の喜びを味わいながら【家族の思い】【かけがえのない命】【体の大切さ】などを知らせる。
- ・喜ぶ親の姿を見て感動したり、絵本を通して命・体の大切さや友達とのふれあいの大切さを確認したりすることができるような環境を構成する。

11:30

参考資料

- | | | | |
|--------|------------------------|-------------|-------|
| [1] 絵本 | かこさとし からだの本「あなたのおへそ」 1 | かこさとし作 | 童心社 |
| [2] 絵本 | 「みんなみんなぼくのともだち」 | 福井達雨編・福井義人文 | 偕成社 |
| [3] CD | 「まあるいいのち」 | イルカ作詞 作曲 | コロンビア |

7 評価の観点

- (1) 自分の体に関心を持ち、自分なりに思ったことや感じたことを自由に表現して楽しむことができたか。
- (2) 親や友だちとの触れ合いを通し、体験や感動を共有しながら、一緒に遊ぶことを楽しむことができたか。
- (3) 自分の生まれた時の様子を聞いて自分なりに成長の喜びを感じ、自分や友だちの命や体を大切にしなければならないことに気付くことができたか。

8 その他の配慮事項

- (1) 導入のダンスは、命の大切さがテーマの曲であれば他のCDでもよい。
- (2) 資料 [1] の絵本については、自分の体の大切さと命がテーマの絵本であれば、他の絵本を使用してもよい。
- (3) 資料 [2] の絵本については、美しい心を持った人間（友達）がテーマであれば、他の絵本を使用してもよい。
- (4) 5歳児であれば、親子制作でなくても活動することは可能である。
- (5) 事前調査で出生時の体重・身長・写真などが家庭の事情等で準備が不可能な時は、絵本等で対応してもよい。

「いのちってふしぎ」

1 題材名

「いのちってふしぎ」

2 題材について

(1) 設定の理由

幼児期は、心身の成長が著しく、自分の体への興味関心が高まる時期である。知的探究心から疑問を持つようになり、「これは何?」「どうして?」と大人に疑問を投げかけるようになる。

最も身近な親子関係を中心とした家庭や幼稚園という場の人間関係を基本に、他人との関係を認識し、自我意識をはぐくみ、知的能力を高め、社会的行動力を身につけていく時期である。

また、他者との関係の中で自分との違いに気付き、様々な感情体験を通して自我の発達的基础が築かれていく時期であることから、この時期の体験は原体験として、その後の人格の形成に大きく影響し、人としての生き方を左右するといわれている。

この時期に、自分が母親の胎内で大切に守られ、周りから期待されながら誕生し、どれほどの愛情にはぐくまれてきたかなどを知らせることにより、自尊心を育て、自分の誕生や成長の喜びについて感じとれるようにする。

(2) 題材構成

日常生活の中で、体への興味・関心を高め、命や体を大切にすることを育てる環境の構成をしていく。

日常生活

- ・体や清潔に関する絵本の読み聞かせをする。
- ・身体計測などの機会に、体の成長を喜ぶ。
- ・トイレの上手な使い方と、清潔保持の方法を知らせる。
- ・着替えの上手な仕方と、エチケットを知らせる。
- ・けんかなどのトラブルの際に、どの子の体も同じように大切であることを伝える。
- ・絵本の読み聞かせをし、自分の身体・心について知識を深め、父親と母親の役割や赤ちゃんの誕生や両親の思いなどを知らせる。
- ・出産を控えた保護者に指導内容を伝え協力を求めるとともに、指導の様子をクラスだよりで知らせ、関心を高めてもらう。

社会・対外的行事等

- ・妊婦をゲストティーチャーに招いてのふれ合い保育
- ・誕生会

3 ねらい

- (1) みんなで遊びや活動することを楽しみながら、友だちとのつながりを感じる。
- (2) ゲストティーチャーとのふれ合い体験を通して、赤ちゃんの誕生や成長の喜びを感じ取り、自分なりのイメージや発想を言葉で表現し、対話を楽しむ。
- (3) 誕生会等の行事を通して、周りの人々の愛情に育まれながら成長してきたことを自分なりに感じ取る。

4 各領域との関連

- | | | |
|----------|-------------------|----------|
| (1) 健康 | 「からだってすごい！」 | 5歳児（6月） |
| (2) 人間関係 | 「あかちゃんたんじょうのよろこび」 | 5歳児（10月） |
| (3) 健康 | 「じぶんのたんじょうのよろこび」 | 5歳児（3月） |

5 週指導計画例（活動の流れ）

	7 / (月)	7 / (火)	7 / (水)	7 / (木)	7 / (金)	
予想される活動	「妊婦さんとの交流」のための準備		妊婦さんとの交流「いのちってふしぎ」		誕生会	
	質問を考える。 ・事前にお腹の赤ちゃんについて聞きたいことを園児に聞いておく。 絵本の読み聞かせ ・父親、母親の役割、赤ちゃん誕生と両親の思いを伝える。					
	室内遊び					
	制作遊び <ul style="list-style-type: none"> ・誕生会で渡すプレゼントの制作をする。 ・お祝いのパースディーカードをつくる。 ・いろいろな素材を工夫し自分のイメージに添って制作する。 ・祝福の気持ちを伝えることで、保護者や友達から大切にされていることを知る。					
	戸外遊び					
	固定遊具遊び、砂遊び、ボール遊びなど					
	プール遊び					
	宝探し、水かけっこ、水中ジャンケンなど					

6 指導展開例（本日の活動の流れ / 妊婦さんとの交流「いのちってふしぎ」）

時刻	予想される幼児の活動	教師のかかわり () 指導上の留意点 (・) 環境構成 ()
9:00	登園する ・あいさつをする。 好きな遊びをする。	・一人一人に笑顔であいさつを交わし、健康状態を観察する。
9:40	《妊婦さんとの交流》 ずっと前はみんな赤ちゃんだったんだよ 絵本を見る。 「質問すること。知りたいこと。」を先生に伝える。 部屋を移動する。	・本時は8月と9月に出産を控えている母親（在園児の保護者）に来園を依頼し、話を聞く。 絵本を読み聞かせる。[1] または [2] ・誰もが母親とへその緒でつながっていて、その印がへそであることを知る。 来園してもらって保護者について話し、お腹の中の赤ちゃんについて聞いてみたいことを聞く。 畳のある部屋に移動し座って待つよう声をかける。 母親たち入室してもらい、紹介する。 落ち着いて話を聞ける部屋を設定する。子どもたちがよく見えるように、また、ゲストにも子どもたちの表情が見えるよう、扇形に座る。 落ち着いて話を聞ける部屋を設定し、母親たちが座る席の近くには季節の花を飾る。
10:10	お腹の大きいお母さんに質問してみよう ゲストティーチャーの話を聞いたり、質問をしたりする。	ゲストティーチャーの紹介をする。

	<ul style="list-style-type: none"> ・「いつ生まれてくるのですか？」 ・「大きなお腹で、大変だなあとおもうことはありますか？」 ・「赤ちゃんはどのくらい大きくなっていますか？」 ・「赤ちゃんはお腹の中で動いていますか？」 ・「赤ちゃんのお父さんはどんな気持ちでいるのかな？」など <p>ゲストティーチャーのお腹を撫でて赤ちゃんに声をかける。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・質問に対する答えは、教師がもう一度繰り返して言い、子どもたちに意識付けをする。 教師が持つタオルのかたまりを興味深そうに見せる。 ・タオルを約2500グラムにまとめたものを見せて具体的な量感を知らせる。[3] タオルで作った2500グラムくらいの重さのもの <p>ゲストティーチャーのお腹を撫でて赤ちゃんに声をかけさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次々と撫でる子どもたちの行動に危険がないよう見守る。 ・嫌がる子どもたちは無理に促さないようにする。 <p>お腹の子の姉に当たる在園児にどんな気持ちかを聞く。</p>
10:50	<p>みんな赤ちゃんが生まれてくるのを楽しみに待っているんだね</p> <p>保育室のカレンダーに8月15日と9月11日の出産予定日に印をつける。</p> <p>赤ちゃんが生まれたら、今度は赤ちゃんと一緒に来て話を聞かせて欲しいと願います。</p> <p>拍手をしながら見送る。</p>	<p>出産予定日を知らせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お母さんがとても大事にお腹の赤ちゃんをはぐくんでいることを感じられるようにする。 ・自分も同じような気持ちで誕生を期待され、喜ばれたことを感じられるようにする。 <p>お礼を言い拍手で送る。</p>

参考資料

- [1] 絵本「こころ・からだ・いのちの絵本シリーズ」の中の、「おかあさん」「おとうさん」
北沢杏子著 岩崎書店（事前、事後に読み聞かせ）
- [2] 絵本 かこさとしからの本シリーズ「わたしのうとあなたのこころ」「あなたのおへそ」
かこさとし著 童心社（事前、事後に読み聞かせ）
- [3] タオルで作った2500グラムくらいの重さのもの

7 評価の観点

- (1) みんなで遊びや活動することを楽しみながら、友だちとのつながりを感じることができたか。
- (2) ゲストティーチャーとのふれ合い体験を通して、赤ちゃんの誕生や成長の喜びを感じ取り、自分なりのイメージや発想を言葉で表現し、対話を楽しむことができたか。
- (3) 誕生会等の行事を通して、周りの人々の愛情に育まれながら成長してきたことを自分なりに感じ取ることができたか。

8 その他の配慮事項

- (1) 本園では、出産を控えた保護者がおり、快く引き受けてくれたため実践することができた。身近にそのようなゲストがいなかった場合でも、紙芝居や寸劇などを用いて実施することは可能である。
- (2) 就学前の子どもたちにとって重要な課題は知識の習得ではなく、人と人とのかかわり、コミュニケーション力を養うことである。出産を控えたゲストとふれあうことによって、命の大切さ、自分自身を大切にすることを養っていくことが大切だと考える。
- (3) 子どもたちを取り巻く環境が複雑化している現在、様々な家庭の状況があるので、実践に当たっては、個々への配慮も不可欠である。
- (4) 赤ちゃんの体重を体感するために、タオルで作った物を用いたが、重量を調節できる人形等を使用するのもよい。
- (5) 誕生会や子どもの日などの行事と関連づけて行うことにより、自分が望まれて生まれてきたかけがえのない存在であることや自分の命が周りの人々に大切にはぐくまれながら成長してきたものであることを知り、自尊感情を高めることができると考える。

「うれしいふれあい、いやなふれあい… こんなときどうする？」

1 題材名

「うれしいふれあい、いやなふれあい…こんなときどうする？」

2 題材について

(1) 設定の理由

幼児期は幼稚園生活を通して他の幼児や家族以外の人々とかかわるようになり、他者との関係が広がっていく時期である。同時に自我が芽生え、自己主張が強くなり、他者との関係の中で自分との違いに気づき、様々な感情体験を通して自我の発達的基础が築かれていく。時には自分の感情と他の幼児の感情の違いからトラブルになることがあるが、他者から認められるうれしさも感じるようになってくる。

本題材では、日常の様々な活動を通して友だちとかかわりあう中で、認められる嬉しさとふれあう楽しさを味わわせたり、時には嫌だという感情にも気付かせたりすることで、他者とかかわりを学ばせたい。また、幼児が性的な犯罪の被害を受けるケースが増えている現状から、「プライベートゾーン」という言葉の意味を知らせ、『自分の体は自分で守る。』という意識を育てていきたい。

(2) 題材構成

日常生活の中で、体への興味・関心を高め、命や体を大切にすることを育てる環境の構成をしていく。

日常生活

- ・ 日常の友だちとかかわりから、どういう時にうれしいと思い、また嫌だと思うか場をとらえて意識させていく。
- ・ 遊びの中で、友だちとふれあって遊ぶ楽しさを味わうことで、相手の肌の温かさを感じとらせ気持ちのつながりに気づかせる。
- ・ 「いっぴきおおかみのそろり」の絵本の読み聞かせをし、主人公「そろり」の感情の変化や、友だちとふれあった時の気持ちを考えさせる。
- ・ 友だちにふれられた時の気持ちと知らない人にふれられた時の気持ちの違いを考えさせる。
- ・ さわられていやだと感じた時は言葉ではっきり伝えることを知らせる。
- ・ 「わたしのはなし」の絵本の読み聞かせをし、『プライベートゾーン』という言葉の意味を知り、知らない人に体をさわられることの重大さに気づかせる。
- ・ 自分の体と心はこの地球上でたったひとつのものであり、自分の体は自分で守ることをしっかり伝える。

3 ねらい

- (1) 遊びの中で、友だちとふれあいながら、一緒に過ごす楽しさや友だちとのつながりを感じる。
- (2) 自分がされて嫌なことは、友だちに対してやらないなど、他者とかかわり方に気付く。
- (3) 触ったりのぞいたりしてはいけない体の部分を知り、自分の体は自分で守っていかうとする気持ちをもつ。

4 各領域との関連

- | | | |
|----------|--------------------|-----------|
| (1) 人間関係 | 「たのしいふれあい、いやなふれあい」 | 4歳児 (11月) |
| (2) 健康 | 「からだってすごい!」 | 5歳児 (6月) |
| (3) 人間関係 | 「みんなすてきな仲間」 | 5歳児 (9月) |

5 週指導計画例 (活動の流れ)

	11 / (月)	11 / (火)	11 / (水)	11 / (木)	11 / (金)
予想される活動	遊びのルールを理解して楽しく遊ぶ				
	ドッジボール、サッカー、鬼遊び				
	友達とふれあう遊び				
	ジャンケンゲーム、手遊び				
	絵本の読み聞かせ				
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「いっぴきおおかみのそりり」「わたしのはなし」 				
				紙芝居の読み聞かせ	
				<ul style="list-style-type: none"> ・ 「おおきなこえでいえるかな」 	
			「こんなときどうする？」 の話し合い活動		
	落ち葉やドングリを使った製作				
	やじろべい、ネックレス、でんでん太鼓、落ち葉のカーテン				

6 指導展開例 (本日の活動の流れ / 「うれしいふれあい、いやなふれあい...こんなときどうする?」)

時刻	予想される幼児の活動	教師のかかわり () 指導上の留意点 (・) 環境構成 ()
9:00	<ul style="list-style-type: none"> 登園する ・ あいさつをする。 好きな遊びをする。 	一人一人に笑顔であいさつを交わし、健康状態を観察する。
10:00	<ul style="list-style-type: none"> 友だちとのうれしいふれあいを感じ取る。 友だちとジャンケンをして負けたら勝った子をおんぶするゲームをする。 楽しい雰囲気ゲームを繰り返す。 ・ みんな笑顔になったり、歓声をあげたりする。 歌に合わせて体を動かす ・ くすぐるところになるとみんな笑顔になる。 遊んだ後の気持ちを答える。 	<ul style="list-style-type: none"> ジャンケンゲームをして友だちとふれさせる。 ・ 友だちとふれあう遊びをすることで楽しさを感じさせる。 ・ 状況に応じて教師もゲームに加わって楽しい雰囲気をつくる。 楽しい雰囲気を作るために「ありさんの宅配便」の音楽を流す。 [1] ジャンケンゲームをする時は、自由に動くことができるような場所で行う。 2人組みで手遊び「一本橋」をするようリードする。 ・ 活動に消極的な幼児には個別に配慮し教師が加わったりする。 遊んだ後の気持ちを聞く。 「楽しかった?」 「Aちゃんとっても楽しそうだったね。クラスのみんなで作ったから楽しかったのかな?」 ・ それぞれの言葉を受けとめるような表情で聞く。
10:20	<ul style="list-style-type: none"> 「いっぴきおおかみのそりり」の絵本を思い出し、問いかけに答える。 	<ul style="list-style-type: none"> 前日に読んだ絵本「いっぴきおおかみのそりり」の話をする。 [2] 「そりりもこんなふうに森の友だちと遊びたかったんだろうね。」 「でも、最後は友だちどうしてくれた?」 「そりり、うれしかったらうね。みんなも自分がお友だちにそうされたらうれしいだらうね。」

- ・前日に絵本「いっぴきおおかみのそりり」の読み聞かせをし、主人公や周りの動物たちの気持ちを考えさせておく。
- ・友だちとふれあうことの楽しさや心のあたかさを感じさせる。

自分がされて嫌なことについて考える。

知らない人にふれられたらどうか思ったことを話す。

知らない人にふれられたらどうか考えさせる。

「じゃ、知らないお兄ちゃんやおじちゃんが近づいてきて、さわったらどんな気持ちするかな？」

知っている人でも自分が嫌なことをされたらどうするか考えさせる。

10:30

『こころとからだは私だけのもの』プライベートゾーンはさわったりのぞいたりしてだめなことを知る。

パネルシアターでペープサートの男の子と女の子の体を見る。

問いかけに答える。

- ・水着をつけているところがプライベートゾーンであることを話す。

絵本を見る。

それぞれ自分の感想を言う。

はだかのペープサートを提示して、質問する。[4]

「恥ずかしい時、どこをかくすかな？」

はだかのペープサートに水着を着せてみよう。

「みんなの体の大事なところだから洋服や水着で隠しておくんだよ。」

- ・パネルシアターでペープサートを使い、男の子と女の子のプライベートゾーンは体のどこかを知らせる。

絵本「わたしのはなし」を読む。[3]

「この絵本に答えがあるかも知れないから聞いてね。」

- ・『からだところは地球上でわたしだけのもの』『プライベートゾーン』『大きな声で』『やめて』などの言葉を強調してゆっくり読み聞かせる。

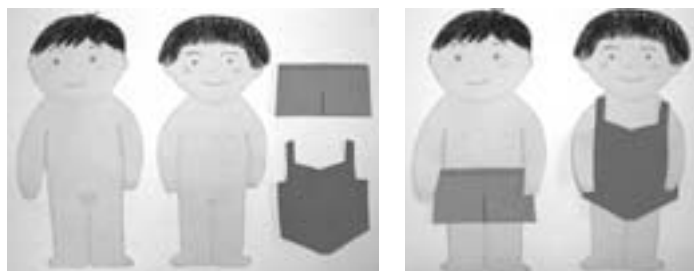
絵本を読んでもらった感想を聞く。

- ・体の中の大切な場所を知って、どんな感想をもったか発表させる。
- ・反応を見ながら大切な事であることを真剣に伝えることで興味本位に騒いでいる幼児に気付かせる。

話を聞くときは、教師の前に扇形に集まり、集中して話が聞けるようにする。

準備するもの

- ・男の子と女の子のペープサート、水着（パネルシアター用の紙で作る。）



- ・パネルシアター（ホワイトボードでもよいがその場合はペープサートの裏に磁石をつける。）

10:45

相手の気持ちを考える。

話を聞く。

相手の気持ちを考えることの大切さを話す。

- ・遊びの中でも嫌がるのを無理に誘ったり、自分がされて嫌なことはしないこと。
- ・相手がして欲しいと思うことは自分もできることはしてあげること。

自分の経験を話す。

・うれしかったこと、嫌な気持ちになったことなど、どんな時にどんな気持ちになったか、相手はどんな気持ちだったのかを考えて話す。

生活の中での場面から具体的に相手のことを考えて手伝ったり、助けたりしていた行動や、トラブルの原因が相手が嫌がることだったことなどを取り上げて話をする。

- ・自分のことを考えられるように具体的に話す。
- ・気持ちを言葉で表現することの大切さに気付かせる。
- ・嫌なことははっきりと言葉で言わないと相手に伝わらないことを話す。
- ・相手の身になって考えること、また信頼関係が快、不快の基礎になることをふまえて日常の行動を考えるような話をする。

参考資料

- [1] CD 「ありさんの宅配便」 「ゆこう、動物村へ」シリーズから
阿部 直美 著 (株)メイト
- [2] 絵本 「いっぴきおおかみのそりり」 岩田 岩緒 著 教育画劇
- [3] 絵本 「わたしのはなし」 山本 直英 和歌山 静子作 童心社
- [4] 男の子と女の子の体と水着のペープサート、パネルシアター
- [5] 紙芝居 「おおきなこえでいえるかな」 和歌山 静子 脚本、絵 童心社
- その後の指導で、紙芝居「おおきなこえでいえるかな」を見て、不審者への対応と性犯罪から身を守る方法について確認する。[5]

7 評価の観点

- (1) 遊びの中で、友だちとふれあいながら、一緒に過ごす楽しさや友だちとのつながりを感じることができたか。
- (2) 自分がされて嫌なことは、友だちに対してやらないなど、他者とのかわり方に気付くことができたか。
- (3) 触ったりのぞいたりしてはいけない体の部分を知り、自分の体は自分で守っていこうとする気持ちをもつことができたか。

8 その他の配慮事項

- (1) 導入のジャンケンゲームは、友だちとふれあう楽しさを味わえる活動であれば、他の遊びでも良い。
- (2) 資料 [2] の絵本については、友だちとふれあうことの嬉しさがテーマの絵本であれば、他の絵本を使用しても良い。
- (3) 友だちとふれあうことの嬉しさや嫌だと思ふ感情の行き違いについては、日常生活の中のトラブルの原因を把握しておき、具体的に話をする事で幼児が自分のことを考えるきっかけにする。
- (4) 「プライベートゾーン」については、男女の体についてさりげなくふれ、「大事なところ」であることをわかるように話をする。
- (5) 知らない人に体をふれられた時に自分はどうしたらよいか、考えられるようにしていく。
- (6) 知らない人に体をふれられることについては、不審者への対応のスローガン「いかのおすし」…「ついていけない」「知らない人の車にのらない」「おお声で助けを呼ぶ」「すぐ逃げる」「しらせる」と結びつけて話をして良い。

(2) 小学校・中学校・高等学校・特別支援学校編

学級活動・ホームルーム活動における指導について

ここでは、主に性に関する現代的課題を内容として取り上げ、児童生徒が適切な行動選択と課題解決ができるように、小学校・中学校においては学級活動、高等学校においてはホームルーム活動、特別支援学校においてはそれに準じた指導例を掲載している。

各教科においては学習指導要領に則り、その目標や特性を生かした指導を行い、基礎基本の習得を図るものとするが、特別活動において、さらに指導内容の補充・深化・統合・発展を図るものとする。

特に、特別活動、学級活動(2)、ホームルーム活動(2)においては、発達段階や児童生徒の実態に応じて個々の児童生徒が共通に解決すべき問題を題材として取り上げ、集団での話し合いを通して、個人の目標を自己決定し、個人で実践する児童生徒の自主的、実践的な活動を特質としていることから、事前、事後の活動を考慮しながら計画的に行うことが必要である。

小学校学習指導要領解説 学級活動(2)「日常生活や学習への適応及び健康安全」の望ましい授業展開には、次の8つのポイントが考えられる。中学校、高等学校、特別支援学校においてもこれに準じて進めること。

【自己決定と実践化のための8つのポイント】

何を指導したいのかをはっきりさせる。

- ・扱う題材のどこを指導したいのかをおさえる。

児童の実態をしっかりとつかむ。

- ・問題はどの程度なのか
- ・問題を起こす原因は何か
- ・問題はどんな時、どこで...

指導したい **ねらい・目指す姿**をはっきりさせる。

- ・今の実態をどこまで改善するのかを学級の実態に合わせて設定する。
中心となる **問題点・指導展開の方法**をはっきりさせる。
- ・投げかけ、考えさせる中心的な問題を明確にする。(導入・展開を重点に)
- ・導入 - 展開 - 終末の基本パターンを効果的に組み替える。

展開終末 **自己決定の内容**を明確にする。

- ・「何を、どのように具体的に決めさせるか」をおさえる。

適切な **資料**を選ぶ。

- ・いつ、どこで、何のために...活用するかを明確にする。

しっかりと **自己決定**をさせる。

- ・時間を十分に与える。
- ・実際に実践できるような具体的方法を決めさせる。

事後指導・発展指導を重視する。

- ・実践(評価)の場を明確にする。(互いに認め合うようにさせる)
- ・特別活動の他の内容と関連させたり、その他の活動及び各教科、総合的な学習の時間などの活動と関連させたりする。
- ・家庭の協力を得る。保護者と一緒に活動したり、実行したりすることも考えられる。

～ は指導案作成のポイント。 ～ は自己決定と実践化のポイントを示したもの。

(文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官 杉田 洋氏資料より)

学級活動

「たいせつなからだ」

1 題 材 名

「たいせつなからだ」 学級活動(2) カ 心身ともに健康で安全な生活態度の形成

2 児童の実態と題材設定の理由

(1) 児童観

低学年の児童は、男女の別なく一緒に遊ぶことが多いが、性役割意識が少しずつ芽生えてくる時期である。何でも知りたいという知的好奇心が旺盛な時期でもあり、男女の体への関心から、スカートめくりや性的なからかいの言葉を発するなどの言動が見られることがある。また、遊びの中で友だちを叩いたり、蹴ったりといったいたずらも見られる時期である。反面、体のさまざまな器官のつくりや働きについての関心は低く、体を大切にしようとするということまではまだ意識が向けられていない。

(2) 題材観

この時期は、自分の体に関心を持たせ、体のいろいろな器官は全て命に関わる大切なものであることや、性器もその中の大切な一つであることにふれるとともに、大切な体を持っている自分や友だちを大切にしようとする気持ちを育てることが必要であると考え、本題材を設定した。

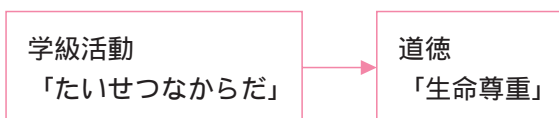
(3) 指導観

本時では、体の探検を通して、体のさまざまな部位や器官のつくり・働きを知ること、それぞれが大切な役割を持っていることに気付かせていく。その中で性器もいのちをつなぐ大切なところであることを理解させたい。そして、自分の体と友だちの大切な体を守る方法を考えることで、自他の体を大切に、仲よく生活しようとする気持ちを育てていきたい。さらに、終末では、友だちとの触れ合いを楽しませる活動を取り入れ、仲良く生活する意欲を高めたい。

3 本時のねらい

自他の体の大切さを理解し、互いの体を危険から守る方法を考え、安全な生活を送ることができるようにする。

4 各教科、道徳及び総合的な学習の時間などとの関連



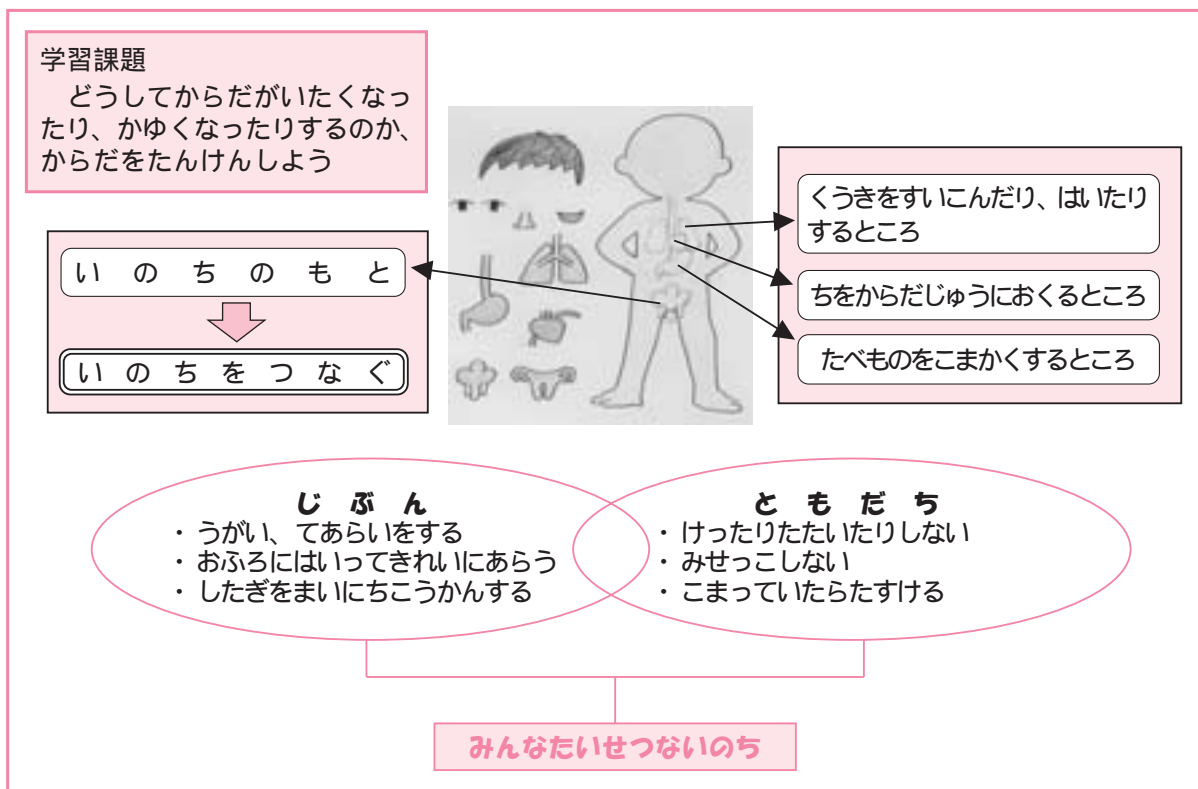
5 指導展開例

段階	学習活動及び内容	時間形態	指導上の留意点 評価	資料等
導入	<p>1 本時の学習内容と課題を把握する。</p> <p>(1) 体調が悪くなった場面を想起する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分にもそんな経験があるな。 ・どうして痛くなるのかな。 <p>(2) 本時の課題を知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>どうしてからだがいなくなった り、かゆくなったりするのか、か らだをたんけんしよう</p> </div>	5 一斉	<p>場面絵の他に、ペープサート・動作化な どの方法で、児童の興味を高めたい。以下 の事例が考えられる。</p> <p>お風呂で体を洗わないでいたら体がかゆ くなってきた。</p> <p>お腹を蹴られたら、後から痛みが出てき た。</p> <p>上記の事例を基に、その原因や理由に関 心を持たせることで、課題解決への意識を 高める。</p>	
展開	<p>2 体の探検をして、そのつくりや働きにつ いて知る。</p> <p>(1) 体の探検をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体の外側（手・口・足…） ・体の内部（心臓・胃・性器…） <p>(2) 体の各器官の働きについて知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・心臓などの役割 ・性器の役割 <p style="text-align: center;">『いのちのもと』</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>いのちをつなぐ</p> </div>	30 個人	<p>グループ（または個人）で体の各部位や 器官のパズル遊びをさせ、体の仕組みに興 味を持たせる。</p> <p>子どもの等身大の切り抜き絵にパズルを 貼りながら、各器官の働きについて養護教 諭より説明する。性器も含め全てが命に関 わる大切なものであることに気づかせていく。</p> <p>各器官に力が加わったり、ばい菌が入 ると命にかかわることを理解させる。</p> <p>痛みやかゆみは体の具合が悪い場所を知 らせる信号であることを理解させる。</p> <p>出された一つ一つの意見について、以下 の視点で整理し、理解しやすいようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ばい菌を体に入れないなどの衛生的な視点 ・性器を簡単に見せたり、触らせたりしな いなどの性的な視点 ・蹴ったり、叩いたりしないなどの物理的 な視点 ・人間には、外からでは分からない心があ るなどの心理的な視点 <p>お互いの大切な体を守る方法を考え、自 他を大切にしようとする気持ちを持つこと ができたか。</p>	[1] [2] [3]
開	<p>3 自他の大切な体を守る方法について考える。</p> <p>(1) 班ごとに話し合い、発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・うがい・手洗いをする。 ・お風呂に入ってきれいに洗う。 ・下着を毎日交換する。 ・人に見せたり、触らせたりしない ・蹴ったり叩いたりしない。 ・嫌がることをしたり、悪口を言ったり しない。 <p>(2) 発表をもとに、体を守る方法について まとめる。</p>	一斉		
終末	<p>4 学習のまとめをする。</p> <p>(1) これから自分が気を付けたいことに を付けたり、思ったことを書いたりして 発表する。</p> <p>(2) ジャンケンゲームをして楽しむ。</p>	10 個人	<p>本時の学習を振り返り、できていること、 これからできそうなことを選択させ、より 気をつけようとする意欲を高めたい。</p> <p>学級の友だちとの触れ合いを楽しむ時間 を設定する。歌を歌う、ダンスを踊る、手 つなぎ鬼をするなどの活動が考えられる。</p>	[4]
教材・資料	<p>[1] 子どもの切り抜き絵</p> <p>[2] ワークシート例</p> <p>[3] 赤ちゃんのものと切り抜き絵</p> <p>[4] ワークシート例</p>			

6 指導細案例

学習内容	教師の働きかけ（発問）	予想される子どもの反応 資料等
<p>1 本時の学習内容と課題を把握する。</p>	<p>この2枚の絵を見てください。この子たちはどうしちゃったのかな。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お風呂に入ってちゃんと体を洗わないでいたら、体がかゆくなってきた絵 ・お腹を蹴られたら、後から痛くなってきた絵、等... <p>どうして体が痛くなったり、かゆくなったりするのか。今日は、体の探検をしてみよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・体がかゆそう。 ・お腹がすごく痛そう。 ・自分にもそんな経験があるな。 ・ばい菌がついちゃったからだと思うよ。 ・どうして後から痛くなったのかな。
<p>2 体の探検をして、そのつくりや働きを知る。</p> <p>3 自他の大切な体を守る方法について考える。</p>	<p>[資料1を黒板に貼る。]</p> <p>みんなで体の探検に出発するよ。体のどこに何があるか、みんな知っているかな。グループ（または個人）で『からだのひみつパズル』をやってみよう。</p> <p>『からだのひみつパズル』は難しかったかな。体のどこに何があるかな。どんな秘密があるかな。（養護教諭より）</p> <p>どれもみんなの体の大切なものばかりです。</p> <p>みんなには、男の子にも女の子にも「いのちのもと」があります。みんなはお父さんとお母さんの「赤ちゃんのもと」から命を授かりました。大人になって「命をつないでいく」大切な働きを持ったところなのです。</p> <p>これら大切なところは、外から見えないので、強い力がかかったり、ばい菌が入ったりして具合が悪くなると、痛みやかゆみでそれを知らせるのです。</p> <p>自分の大切な体を守る方法を考えてみましょう。どんなことに気を付けてらいいですか。</p> <p>自分だけではなく、大切な体を持っている友だちとどんなことに気を付けて生活したいですか。</p> <p>みなさんには目に見えない心もあります。友だちの大切な心を守る方法も考えましょう。</p>	<p>[資料2] (ワークシート)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・頭には髪の毛があるね。 ・顔には目、口、鼻、耳があるよ。 ・これは心臓かな...。この辺にありそうだね。 ・これは分からないな。 ・これはきつとおちんちんだね。 ・目は、ものをみるところ ・耳は、おはなしをきくところ ・胃は、食べたものを砕くところ ・心臓は、血を体中に送るところ 等... ・どれも生きていくのに必要なものだね。 ・みんな命のもとなんだ。 <p>[資料3] 赤ちゃんのもと切り抜き絵</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おなかの中にこんな大切なものがあるなんて知らなかったよ。 ・わたしも大きくなったら赤ちゃんがほしいから大事にしなくっちゃ。 <p>[資料4] (ワークシート)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体にはばい菌がつかないように、お風呂に入ってきたら体に洗いたい。 ・下着も毎日交換しないとばい菌が入るよ。 ・うがいや手洗いをすれば口からばい菌が入ってこないよね。 ・友だちの大事なお腹を蹴ったり叩いたりしないようにするよ。 ・おちんちんを見せっこしたり、からかったりしないよ。 ・悪口を言って心を傷つけない。 ・困っている友だちがいたら助けてあげたり、優しくしてあげたりしたい。
<p>4 学習のまとめをする。</p>	<p>できていたことに、これから自分が気を付けたいことにを付け、今日の授業で思ったことや考えたことを書いてみましょう。</p> <p>友だちとジャンケンをして、負けた人は勝った人をおんぶしてあげたり、肩をもんであげたりしましょう。</p>	<p>[資料4] (ワークシート)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ぼくは、これから全部気を付けたいな。 ・自分の体には大切なものがたくさんあるから、いつもきれいにして守りたいな。 ・友だちにいたずらをしないで、仲よく遊びたいです。 ・友だちと触れ合うことで、仲間意識を高める。

7 板書計画



8 その他の配慮事項

(1) 単元のつながり (事後指導)

学校生活では、自分や友だちの体を大切にして生活している児童の様子を捉え、賞賛したり、励ましたりしていく。

家庭生活においては、学級通信等で清潔について取り上げながら、学校と家庭が協力・連携して取り組んでいけるようにする。

学級活動「からだの清潔」「みんななかよし」で、さらに具体的に「清潔に保つための方法」や「友だちと一緒に仲よく遊ぶよさやその方法」などを学習し、意識や実践力を高めていく。

(2) 実践にあたって

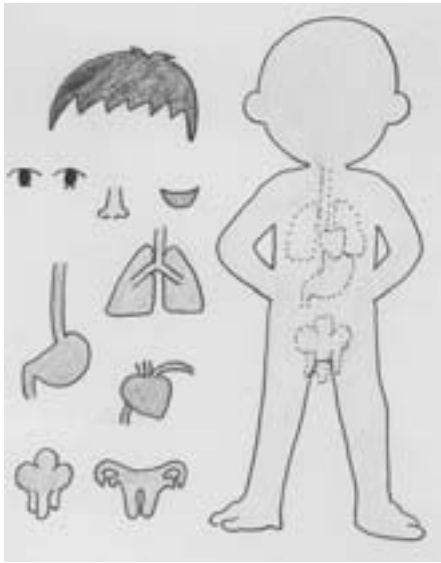
導入では、事前調査や学級の実態から具体的な事例が提示できるとよい。展開の後半(体を守る方法)に結びつく事例が望ましい。

体の各部位や内臓器官の名称・働きについては学級の実態を考慮する。どの器官も「いのちのもと」であることを捉えさせる手立てを講じたい。

(3) その他

性器については「赤ちゃんのもとになるものがつくられる」という程度の説明で、名称や男女の違いについては特に詳しく触れない。

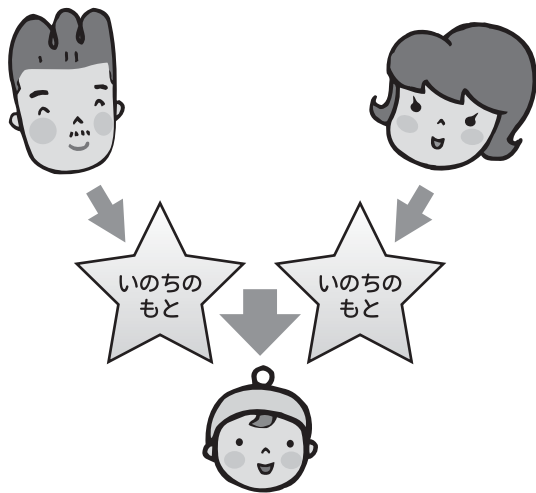
[資料1]



[資料2](ワークシート例)



[資料3]



[資料4](ワークシート例)

たいせつなからだ

1ねん くみ なまえ()

① いままでのじぶんをふりかえて、できていたことに◎、これからじぶんがきをつけたいことに○をつけましょう。

- () おふろでからだをきれいにあらう。
- () ばんつをまいにちこうかんとする。
- () うがい・てあらいをする。
- () みせっこしない。
- () たたいたり、けったりしない。
- () わるぐちをいわない。
- () ともだちとなかよくあそぶ。

② きょうのがくしゅうでわかったことやおもったことをかいてみましょう。

「おへそってなあに？」

1 題材名

「おへそってなあに？」 学級活動(2) カ 心身ともに健康で安全な生活態度の形成

2 児童の実態と題材設定の理由

(1) 児童観

2年生になると心身共に成長が見られるようになる。そして、自分の体の成長や自分自身の誕生について「どうしてからだが大きくなるのか」「自分はどやって生まれてきたのか」などの素朴な疑問を持ち、興味・関心を示すようになる。また、動植物の世話をする体験等を通して、命の大切さについて感じ取ることができるようになる。

(2) 題材観

命の大切さについて意図的・計画的に指導を積み重ねていくことは、将来につながる「生きる力」の基盤をつくる上で非常に重要である。特にこの時期においては、自己肯定感を高めるとともに自他の命を大切にしようとする気持ちを育てることが大切である。

そこで、「おへその役目」について考えさせることを通して、自分の命が母親とつながっていたことを実感させ、自分が生まれる前から大切に守られていたことを理解させるとともに、自分の成長に向けられている家族の願いに気付かせることで、健康・安全に気をつけて生活していく態度が育成されると考え本題材を設定した。

(3) 指導観

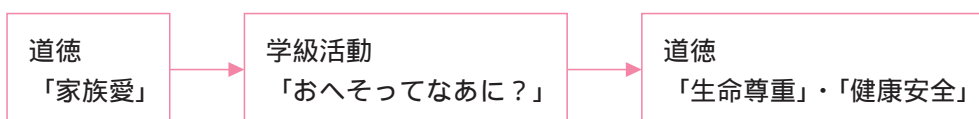
本時では、「おへその役目」に関するペープサートや紙芝居等を活用した養護教諭からの説明により、「へその緒」は母親と赤ちゃんをつなぐ大切な命の綱であることを理解させる。そして、役割演技を行うことで、自分が生まれた時の家族の喜びや思いを考えさせ、感じ取らせたい。

「おへその役目」を知ることがきっかけとして、家族は自分の健やかな成長を心から願っていることに気付かせ、その願いに応え、自分から健康で安全な生活を送ろうとする気持ちを持たせたい。

3 本時のねらい

おへその役目を知ることによって、自分が生まれた時の家族の喜びや成長への願いを知り、健康・安全に気をつけて命を大切にしながら生活していくための方法を考え、実践できるようにする。

4 各教科、道徳及び総合的な学習の時間などとの関連



5 指導展開例

段階	学習活動及び内容	時間形態	指導上の留意点 評価	資料等
導入	<p>1 本時の学習内容と課題を把握する。</p> <p>(1) 体の各部分の働きを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目、耳、口 <p>(2) 本時のめあてをつかむ。</p> <p>おへそってなあに？</p>	5 一斉	<p>体には、目、耳、口など、それぞれのどのような働きをしているかについて考えさせる。</p> <p>おへその存在及びその働きに着目させる。</p> <p>「めあてをつかむ」で、へその緒を提示し、本時の学習課題への関心を高める。</p>	[1]
展開	<p>2 「おへその役目」について考える。</p> <p>(1) 「おへその役目」について予想する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お母さんとつながっている。 ・栄養をもらっている。 <p>(2) 「おへその役目」について知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・赤ちゃんはへその緒を通して、おかあさんとつながっている。 ・へその緒を通して、栄養やきれいな空気をもらっている。 ・へその緒がとれた後がおへそである。 	30 一斉	<p>「おへその役目」について自由に考えさせる。</p> <p>「おへその役目」についてわかりやすく説明する。その際、赤ちゃん人形や、ペープサート、紙芝居を活用したり、養護教諭に話してもらったりするなどの工夫をする。</p> <p>へその緒はお母さんと赤ちゃんをつなぐ大切な命の綱であることを理解させる。</p>	[2]
	<p>3 自分が生まれた時の家族の気持ちに気付く。</p> <p>(1) 家族の気持ちを知る。</p> <p>(2) グループで役割演技をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「無事に生まれてくれてありがとう」 ・「元気に育ってね」 ・「大きく育ってね」 	一斉 グループ	<p>事前に保護者や教師から自分の子どもが誕生した時の気持ちを書いてもらう。(1、2名) その際、うれしかったことや、健やかな成長への願いなど家族の気持ちがかかるエピソードが入っていると良い。</p> <p>グループで、母親や、父親など家族の役割をし、赤ちゃんに言葉をかける。</p> <p>家族の喜びや成長への願いを言葉に表すことができたか。</p>	[3]
終末	<p>4 学習のまとめをする。</p> <p>(1) 今日の学習を通して、家族の思いを知り、命を大切にするために、健康な生活を送るために、自分が気を付けることを書く。</p>	10 個人	<p>本時の学習を通してわかった家族の思いを受け、これからの生活で注意したいことを考え、ワークシートに家族への手紙を書く。</p> <p>これからの生活で命を大切にするため、また、健康な生活を送るため、自分が注意すべきことを考えることができたか。</p>	[4]
教材・資料	<p>[1] へその緒 (実物または写真)</p> <p>[2] 参考資料</p> <p>[3] 家族の思いが書いてある手紙</p> <p>[4] ワークシート</p>			

6 指導細案例

学習内容	教師の働きかけ（発問）	予想される子どもの反応 資料等
<p>1 本時の学習内容と課題を把握する。</p>	<p>みんなの体にある、目、耳、口などはみんな大切な働きをしています。 目は？そう、見る。耳は？きく。口は・・・では、おへそは、何のためにあるのでしょうか。今日のめあては、「おへそ」について考えましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・目は、物を見る。 ・耳はお話を聞く。 ・口は、お話す。ご飯を食べる。息をする。 ・おなかの中とつながってる。 ・ごまが入ってる。
<p>2 「おへその役目」について考える。</p> <p>(1) おへその役目について予想する。</p> <p>(2) おへその役目について知る。</p> <p>3 自分が生まれた時の家族の気持ちに気付く。</p>	<p>「おへそ」ってなんだろう。どんな役目があるのかな？みんなで考えてみましょう。</p> <p>今日は赤ちゃんを連れてきたよ！赤ちゃんのおへそに何かだがついています。 この管はお母さんの体からみんなに栄養を送る管で、へその緒といいます。みんなはこのへその緒を通してお母さんから「栄養」や「きれいな空気」「病気に負けないちから」をもらっていました。</p> <p>赤ちゃんはお母さんのお腹の中の赤ちゃんの育つ部屋に入っています。赤ちゃんのお部屋には体温と同じくらいの羊水というあたたかい水があってとっても気持ちがいいそうです。お水に入っていることで、お腹がぶつかったりしても、赤ちゃんにその衝撃が直接いかないように大切に守られています。</p> <p>赤ちゃんは10ヶ月の長い間、母さんのお腹の中で大切に育てられ、元気に大きくなります。そしてお母さんのお腹から生まれた瞬間自分で力いっぱい泣いて、初めて息をします。</p> <p>これから、赤ちゃんはおっぱいや、ミルクで大きくなるので、お母さんと赤ちゃんをつないでいた、へその緒はもう役目が終わりです。へその緒は糸で結んで、パチンと切ります。生まれてから一週間くらいたつとへその緒はぼろんととれておへそのあなだけになります。</p> <p>へその緒は赤ちゃんとお母さんをつなぐ大切な「いのちの綱」で、おへそはみんながお母さんのお腹の中で大切に育てられた証拠です。 お手紙を読んでみますので聞いてください。 これから、グループで、お母さんやお父さんや家族の誰かになって役割演技をしましょう。生まれてきた赤ちゃんに「どんな子になってほしいか」「どのようにそだってほしいか」言葉をかけてあげてください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・赤ちゃんの時必要だった。 ・栄養をもらってた。 ・へその緒とつながっていた。 <p>例示 赤ちゃん人形 (胎盤とへその緒がついている)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不思議だな。 ・お母さんにつながっていたんだ。 ・へえーっしらなかった。 <ul style="list-style-type: none"> ・母「生まれてきてくれてありがとう。に育ってね。」 ・父「生まれてきてくれてありがとう。な子になってね。」 ・祖父、祖母「将来　　な人になるんだよ。」
<p>4 学習のまとめをする。</p>	<p>いつも応援してくれるおうちの人へのおれいのことばと、これからの生活の中で、自分が気をつけていきたいことや一生懸命やっていきたいことを手紙に書いてみましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・いつも応援ありがとう。 ・運動して体を強くするよ。 ・交通事故にあわないように気を付けるよ。

7 板書計画


<p>「おへそ」ってなあに</p> <p>目 見る 耳 聞く 口 話す、食べる、^{いき}息をする おへそ ?</p> <p>「おへその^{やくめ}役目」を^{よそ}予想しよう</p> <ul style="list-style-type: none">・赤ちゃんの時^{とき}使った・お母さんとつながってる・えいようをもらう	<p>へそのお</p> <ul style="list-style-type: none">・えいよう・きれいなくうき・びょうきにまけない力 <p style="text-align: center;">↓</p> <p>「おへそ」は、赤ちゃんがお母さんのおなかの中で^{たいせつ}大切にそだてられたしょうこ</p>
--	--

8 その他の配慮事項

- (1) ヘその緒は、実物あるいは写真などで提示する。
- (2) 展開2の(2)は赤ちゃん人形や、ペープサート、紙芝居、養護教諭をゲストティーチャーとして話してもらうなど、子どもたちの関心をひく工夫ができるとよい。
- (3) 展開3の(1)は、子どもが誕生した時の喜びと、健やかに育ててほしいという保護者の願いなどが伝わるように、保護者や教師に依頼するなど、実態に応じて事前に準備する。
- (4) 学習のまとめでは、家族に感謝の気持ちとこれからの生活の中で、健康を守るためあるいは、命を大切にするため何ができるか考えさせ、それを手紙に書かせるようにする。
- (5) 母子家庭や父子家庭など、家庭環境に配慮してすすめる。

<ワークシート>

2年 ___組 ___番 なまえ _____



「みんななかよく」

1 題材名

「みんななかよく」 学級活動(2) ウ 望ましい人間関係の形成

2 児童の実態と題材設定の理由

(1) 児童観

中学年児童は、学校生活にも慣れ行動範囲や人間関係が広がり、児童期の中でも最も活発になると言われる。また、異性に対する関心も芽生え、性意識が明確となる時期でもある。学級においては、男女がそれぞれ同性のグループで行動することが多く見られるようになり、グループ同士の反発や対立といった形で現れ、人間関係にかかわるトラブルが多くなる。

(2) 題材観

今日、児童の人間関係の希薄化に伴う対人関係の未熟さが、いじめ・不登校・暴力的行為等の問題の一因と言われている。このような問題を解決し、一人一人の児童の健全育成を図るためには、様々な人間関係を体験させることが必要であり、学校においては、人間関係づくりに関する適切な内容を取り上げて効果的な指導をすることが求められている。

そこで、児童一人一人、互いに目を向けさせ、それぞれのよさに気付かせる活動を取り入れることにより、互いに相手を尊重し、男女を問わず協力し合える人間関係を築くことができると考え本題材を設定した。

(3) 指導観

男女が互いに相手を尊重しようとする態度を育てるためには、児童一人一人に自分自身のよさに気付かせ、自己肯定感を高めることが大切である。

そこで、男女の遊びなどの違いに着目させることで、男女には違いがあることに気付かせた後に、お互いのよさに目を向けさせるために、具体的な日常の場面から一人一人のよさを見つけ発表する場を設定する。一人一人のよさをお互いに認め合うことは、友だちのよさだけでなく、自分自身のよさにも気付き、自己肯定感を高めることにつながると考える。さらに、男女の違いはあるが、一人一人によいところがあることに気付かせることにより、互いに相手を尊重し、男女を問わず協力し合っていこうとする態度を育てていきたい。

3 本時のねらい

互いのよさに目を向けさせることで、互いに尊重し合い、望ましい人間関係を築くことができるようにする。

4 各教科、道徳及び総合的な学習の時間などとの関連



5 指導展開例

段階	学習活動及び内容	時間形態	指導上の留意点 評価	資料等
導入	<p>1 本時の学習内容と課題を把握する。</p> <p>(1) 学級の男女の仲にかかわる現状を把握する。</p> <p>～ の例</p> <p>(2) 学習課題を把握する。</p> <p>男女ごとのグループに分かれたりせず、みんななかよくなるためにはどうしたらよいのだろうか。</p>	5 一斉	<p>学級の男女の仲にかかわる現状を導き出すための工夫をする。(以下のような工夫が考えられる。)</p> <p>休み時間の様子や遊びの状況を思い出させる。</p> <p>グループ活動や係活動での状況を思い出させる。</p> <p>何かを決めたりする場面における話し合いの状況を思い出させる。</p>	
展開	<p>2 一人一人のよさを見つける。</p> <p>(1) 一人一人のよさを短冊に記入する。</p> <p>(2) 見つけたよさをグループで発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同性同士の小グループで共有化を図る。 <p>3 一人一人のよさを、全体で共有する。</p> <p>(1) 男の子、女の子のよさを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・けがをしたとき助けてくれた。 ・字がうまい。 ・係の仕事をきちんとやっている。 <p>(2) 類似したものの同士を集め、まとまりごとに見出しをつけていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・思いやり、親切 ・がんばり ・運動が得意 ・丁寧・・・など <p>(3) 活動を通して気付いたことや考えたことを発表しあう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今まで相手の良い面にはあまり目を向けなかった。 ・意外にみんなは私のよいところを見てくれていた。 ・男女それぞれがいっしょに生活することのよさがわかった。 	30 個人 グループ 一斉	<p>同性、異性それぞれについて3枚程度、色別を書くよう指示する。</p> <p>内容については、よくしてもらった場面や事柄を具体的に記入するよう指示する。</p> <p>クラスの全員のよさが出てくるよう配慮する。</p> <p>異性の新たなよさに気付き、共有化を図ることができるように、同性同士の小グループで発表し合う。</p> <p>各グループの発表を基に、似たもの同士に仲間分けしていく。</p> <p>黒板いっぱい短冊を掲示することにより、みんなにはよさがたくさんあることに気付かせる。</p> <p>男女だけでなく、一人一人によさがあることを押さえる。</p> <p>一人一人のよさに気付き、仲良く生活していこうとする意欲を持つことができたか。</p>	[1]
終末	<p>4 学習のまとめをする。</p> <p>(1) 助け合って生活している教師の話聞く。</p> <p>(2) これから気を付けていきたいことをワークシートに記入する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友だちは、自分のどんなところが良いと見てくれていたか。 ・今日の授業を通して、男女が仲良くするには、自分としては今後どうしていきたいか。 	10 一斉 個人	<p>教師の職場や家庭では、異性とのかかわり合いを大切に、お互いのよさを生かし、助け合って生活していることについて伝える。そこには思いやりや努力、勤勉さなどがあることを押さえる。</p>	[2]
教材・資料	<p>[1] 短冊</p> <p>[2] ワークシート</p>			

6 指導細案例

学習内容	教師の働きかけ（発問）	予想される子どもの反応 資料等
<p>1 本時の学習内容と課題の把握をする。</p>	<p>休み時間を見ていると男の子は男の子同士、女の子は女の子同士で遊んでいますね。どうしてですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本時のねらいである一人一人のよさに目を向けさせるために、学級の実態に合った導入を工夫する。(指導案参照) ・ めあてを提示する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>男女ごとのグループに分かれたりせず、みんななかよくなるためにはどうしたらよいのだろうか。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 男の子のボールは強いから、怖い。 ・ 男の子は、力が強いから、一緒に遊べない。 ・ 女の子は、ルールを知らないから、一緒にできない。 ・ 男の子は外で遊ぶけれど、女の子はおしゃべりなどが多い。 ・ 仕事をちゃんとやらない。 ・ 人が頑張っているのにすぐふざける。 ・ 丁寧によらない。 ・ 人の悪口をすぐ言う。 ・ 真面目にやっているのにいたずらする。 ・ 人の言うことを聞いてくれない。
<p>2 一人一人のよさを見つける。</p> <p>3 一人一人のよさを、全体で共有する。</p>	<p>今まで悪いところばかりに目が向く傾向があったけど、よいところに目をむけてみましょう。見つけたよさを短冊に書きましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 男女それぞれのよさに目を向けさせるために、具体的な場面や事柄を考えさせる。 <p>女の子同士、男の子同士のグループで、見つけたよさを発表しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 異性の新たなよさに気付き、共有化を図ることができるように、同性同士の小グループで発表し合う。 <p>たくさん見つけましたね。みんなに発表しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 発表したよさの短冊を似たもの同士まとめながら、黒板に掲示する。 <p>このまとめりは、どんなよさかな。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ グループングされたまとめりごとに見出しを考えさせる。 <p>今の活動から気付いたことや考えたことを発表してください。</p> <p>男の子にも女の子にも同じように優しいところや頑張っているところがあるのですね。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ けがをしたとき、心配してくれた。 ・ さんは、字が上手だよ。 ・ 女の子は、字が上手かも。 ・ さんは係の仕事を忘れずにやっているよ。 ・ ああそうか、それもいいところだね。 ・ 新しいいいところ見つけた。 ・ もっと書きたくなってきたよ。 <ul style="list-style-type: none"> ・ これは、やさしいことだから、ここに貼ろう。 ・ これはどこかな。運動のことだからここかな。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 思いやり、親切 ・ がんばり ・ 運動が得意 ・ 丁寧・・・など <ul style="list-style-type: none"> ・ 今まで相手の良い面にはあまり目を向けなかった。 ・ 意外にみんなは私のよいところを見てくれていた。 ・ 男女それぞれがいっしょに生活することのよさが分かった。
<p>4 学習のまとめをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教師の職場や家庭では異性とのかわり合いを大切に、お互いのよさを生かし、助け合って生活していることについて伝える。そこには思いやりや努力、勤勉さなどがあることを押さえる。 <p>最後に、友だちは、あなたのどんなところが良いと見てくれているか。また、今日の授業を通して、男女が仲良くするにはどんな時どうすればよいと思うか。ワークシートに書いてみましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 失敗を許し励まして上げる。 ・ 重い荷物運びのとき手伝ってあげる。 ・ ドッジボールの仲間に混ぜてあげる。 ・ 仕事は最後までふざけないでやる。 ・ やるべき時は一生懸命やる。

7 板書計画

学習課題			
思いやり 親切	がんばり	ていねい	運動がとくい

8 その他の配慮事項

- (1) 導入については、本時のねらいである男女のよさに目を向けさせるために、学級の実態に応じて工夫する。
- (2) 1時間の実施で考えているが、よさを見つける活動に十分時間を確保するために、各教科、道徳の時間等との関連を図っていく。
- (3) それぞれのよさを見つける時の具体例をできるだけたくさん用意しておく。
- (4) 終末では、男女の性別でよさを決めつけるのではなく、性別に関係なくそれぞれによさがあり、そのよさを活かして助け合って生活していることを押さえる。

資料

[1] 短冊



[2] ワークシート例

めあて

3年 組 名まえ

- 1 友だちは、あなたのどんなところがよいと見ていましたか。
- 2 あなたは、男女が仲良くするためには、どんな時、どのようにすればよいと思いますか。

「おとなに近づくわたし」

1 題 材 名

「おとなに近づくわたし」 学級活動(2) ア 希望や目標をもって生きる態度の形成

2 児童の実態と題材設定の理由

(1) 児童観

4年生になると、身体の発育・発達によって、体つきに変化が生じたり初経や精通が見られたりする児童がいる。このため、児童の体への関心は高まり、体の変化や友だちとの違いに気付く児童も見られ、特に発育測定後はその傾向が顕著となる。また、男女の性意識が高まり、異性に対する関心も芽生えてくる。そのため、クラス内の男子と女子がそれぞれ同性の集団で行動したり、男女間で反発・対立したりすることが多くなっていく。

(2) 題材観

4学年の体育科（保健領域）「育ちゆく体とわたし」の学習では、「思春期における男女の体の外見上の変化」、「男女の内性器の名称と働き、月経や射精のしくみ」等について理解させ、自分の成長に対する見通しを持つことができることをねらいとしている。しかし、この体育科の学習だけでは、自分の体の成長についての関心の高まりからさまざまな不安が生じ、自己の性に対して否定的な感情を持ってしまふことが心配される。そこで、体育科の学習との関連を図りながら、児童一人一人が、性についての理解を深め、不安や悩みを解決する方法を見だし、安心感と希望を持って生活できるようにこの題材を設定した。

(3) 指導観

本時は、導入の段階で誰もが思春期になると悩みを持つことに気付かせ、「小学4年生だったころの先生にアドバイスをしあげよう。」という課題設定で、児童の問題意識を高めたい。

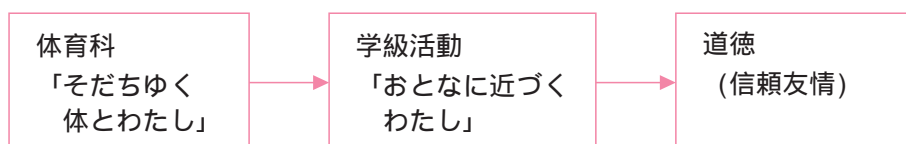
課題解決の場面では、話し合い活動を通して、友だちも自分と同じような悩みをもっていることや発育の仕方は一人一人違うこと、悩みがあるときは、自分の身近な人に相談すればよいことなどに気付かせたい。その際、児童一人一人が自分なりの考えを持つことができるように、養護教諭との連携を図りながら支援していきたい。

まとめの段階では、養護教諭の話聞いて、みんな同じようなことを経験して成長していることや、これから大人になっていく自分の体を大切にしようとする気持ち、さらに自分だけでなく友だちの心や体も尊重できる態度を育てていきたい。

3 本時のねらい

思春期は体や心の変化に対する不安や悩みが生じることを理解し、その解決のための方法を考え実践できるようにする。

4 各教科、道徳及び総合的な学習の時間などとの関連



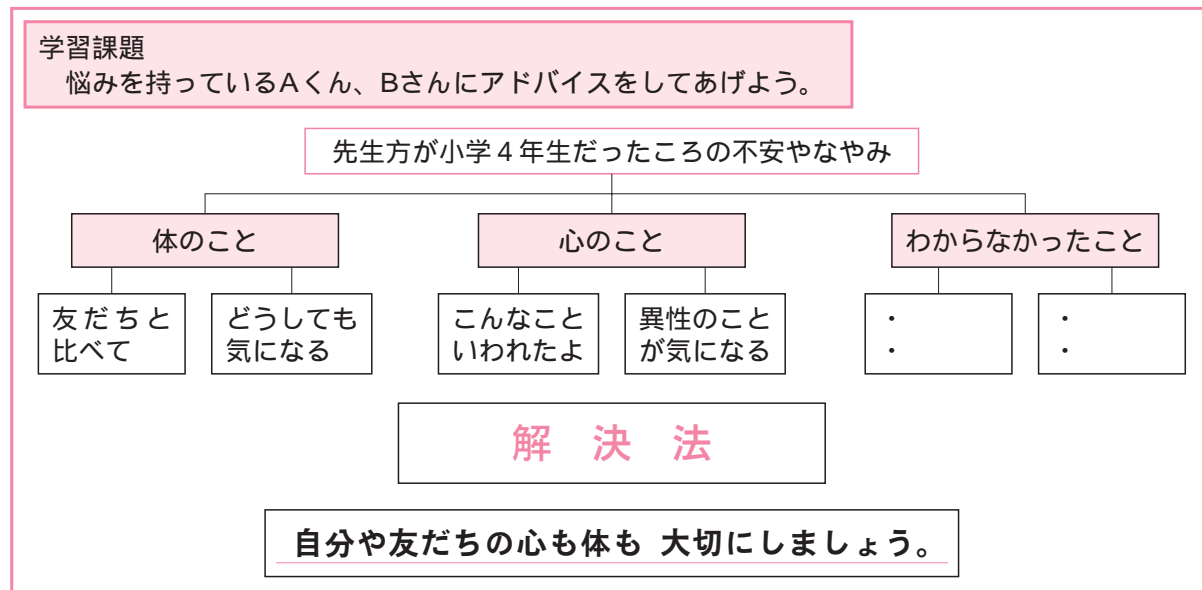
5 指導展開例

段階	学習活動及び内容	時間形態	指導上の留意点 評価	資料等
導入	<p>1 本時の学習内容と課題を把握する。</p> <p>(1) 先生方へのアンケートの結果を知る。</p> <p>(2) Aくん、Bさんの悩みについての具体的な事例を知る。</p> <p>(3) 本時の課題を知る。</p> <p>悩みを持っているAくん、Bさんにアドバイスをしてあげよう。</p>	10 一斉	<p>アンケートの結果から、先生方が体つき等に関する悩みを持っていたことを示し、学習内容に対する問題意識を高める。</p> <p>Aくん、Bさんはどうすべきかを問いかけ、誰かに相談することが必要であることに気付かせる。</p> <p>AくんBさんの不安や悩みを自分のこととしてとらえ、その解決法を進んで考えようとしているか。 (観察)</p>	[1] [2] [3]
展開	<p>2 課題を解決する。</p> <p>(1) ワークシートに自分の考えを書く。</p> <p>(2) グループで話し合う。</p> <p>(3) グループごとに発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ わたしも同じように不安に思っていたんだ。みんな同じだよ。 ・ 一人一人ちがうんだから気にしなくていいんだよ。 ・ 不安に思ったら先生や家族など誰かに相談したほうがいいよ。 <p>(4) Aくん、Bさんへのアドバイスを考えてきたことで、気付いたことを発表させ、不安や悩みの対処についてまとめる。</p>	25 個別	<p>つまずきが予想される児童や前時のアンケートの結果から支援を必要とする児童を中心に、養護教諭とともに個別指導をする。</p> <p>よりよいアドバイスを自分なりに考えることができたか。 (ワークシート)</p> <p>養護教諭と机間指導をし、お互いの考えを認め合いながら話し合いが進められるよう支援する。</p> <p>それぞれの意見の良さを明確にしながら、まとめていくようにする。</p> <p>不安や悩みへの対処として、主に以下の三つの視点で押さえる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 誰もがみんな、それぞれに感じている。 ・ その内容は一人一人がみな異なっている。 ・ 自分だけで抱え込まず、親や先生、友だちに相談するとよい。 	[4]
終末	<p>3 学習のまとめをする。</p> <p>(1) 養護教諭の話聞く。</p> <p>(2) 自分が不安や悩みを持った場合の対処法を学習カードに記入する。</p>	10 一斉	<p>養護教諭が児童の自尊感情を高める内容の話をし、これからも成長していく自分を大切にすることは、友だちのことも大切にすることにつながることに気付かせる。</p> <p>自分なりの対処法を考えることができたか。 (ワークシート)</p> <p>新たに悩みを書いた児童には、養護教諭と協力して個別に指導する。</p>	[4]
教材・資料	<p>[1] 体育科（保健）の振り返りカード</p> <p>[2] アンケート結果</p> <p>[3] 「性を学んでいのち生きいき」平成18年度性教育指導教材</p> <p>[4] ワークシート</p>			

6 指導細案例

学習内容	教師の働きかけ (発問)		予想される子どもの反応 資料等
	T 1	T 2	
<p>1 本時の学習内容と課題を把握する。</p> <p>(1) 先生方へのアンケートの結果を知る。</p> <p>(2) Aくん、Bさんの悩みについての具体的事例を知る。</p> <p>(3) 本時の課題を知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>悩みを持っているAくん、Bさんにアドバイスをあげよう。</p> </div>	<p>今日は、養護教諭の先生といっしょに「大人に近づくわたし」の学習をします。前にみんなにアンケートをとったけど、みんなと同じアンケートを、実は先生方にもしてみました。その結果をまとめたものです。(結果を板書する) 不安を持っている人が多いのはなぜでしょう。</p> <p>ここに、悩んでいる小学校4年生の頃のA先生とB先生がいます。</p> <p>男子のAくんの悩みを話す。「よく、友だちからぼくの体つきのことだからかわれるんだ。女の子もそれを聞いて笑っているような気がして…」</p> <p>みんなならどんなアドバイスをしてくれるかな？女子のBさんの不安で、「月経」という言葉は、男子の「精通」という言葉にも置き換えられるよね。だからこのAくんBさんの悩みや不安は、男子にとっても女子にとってもあてはまることですね。</p>	<p>女子のBさんの不安は、「とつぜん、月経がきたらどうしよう。…」です。</p>	<p>・ 今日、先生と一緒に勉強するんだ。たのしみだな。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;"> <p>先生方へのアンケートの結果</p> </div> <p>・ こんなに悩んでいたんだ。</p> <p>・ 思春期の成長がはじまったからかな。</p> <p>・ へえ！先生方はこういうことを悩んでたんだ。</p> <p>・ あっ、わたしと同じだ。</p> <p>・ あるある。ぼくも同じようなことを言われたことがある。</p> <p>・ わたしもしいやな思いをしたことがあるわ。</p> <p>・ わたしも不安だけど、どう教えてあげればいいかな。</p> <p>・ 女子のことはぼくには、関係ないや。</p> <p>・ そうか、精通が突然きたら、ぼくも不安だな。どんなアドバイスをすればいいかな。</p> <p>・ 男の子にも同じように関係あることなんだな。</p>
<p>2 課題を解決する。</p> <p>(1) ワークシートに自分の考えを書く。</p> <p>(2) グループで話し合う。</p> <p>(3) グループごとに発表する。</p> <p>(4) Aくん、Bさんへのアドバイスを考えてきたことで、気付いたことを発表させ、不安や悩みの対処についてまとめる。</p>	<p>みんなならどんなアドバイスをしてくれるかな。このワークシートにその言葉を書きましょう。書けた人は手を挙げてください。</p> <p>(T2とともに、支援の必要な児童を担当し、助言する。)</p> <p>グループを作りましょう。今日の進行は誰ですか？これから話し合いの進め方を説明します。まとめた考えを、このカードに書いてください。時間は、時 分を目標に進めましょう。</p> <p>(T1・T2は、支援する児童のいるグループを担当する。途中で情報交換をし、A男B子それぞれのアドバイスを発表するグループを決定する。)</p> <p>では、A君へのアドバイスを発表してもらいます。</p> <p>AくんやBさんへのアドバイスを考えてもらいましたが、何か気付いたことはありますか。</p>	<p>じゃあ、こんどは、Bさんへのアドバイスを発表してもらいます。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;"> <p>ワークシート</p> </div> <p>・ いやなことを言うなんてひどいね。ぼくもその気持ち分かるよ。</p> <p>・ 一人一人違うのだから気にするな。</p> <p>・ 気にしないで、わたしに相談してね。</p> <p>・ 誰かに相談したら。わたしはそうしたよ。</p> <p>・ それはおとなに近づいたことだから気にしないでいいんだよ。</p> <p>・ 友だちの考えもしっかり聞こう。</p> <p>・ 自分の考えに自信を持って発表しよう。</p> <p>・ みんな悩みを持っているんだ。</p> <p>・ 誰かに相談するといいんだ。</p> <p>・ 悩みも色々あるんだ。</p>
<p>3 学習のまとめをする。</p> <p>(1) 養護教諭の話を聞く。</p> <p>(2) 自分が不安や悩みを持った場合の対処法を学習カードに記入する。</p>	<p>すばらしいアドバイスができましたね。ここで先生のお話を聞きましょう。</p> <p>では最後に、自分が不安や悩みを持った場合にどう対処するか、学習カードに記入しましょう。</p>	<p>(「指導上の留意点」参照)</p>	<p>・ そうか、先生もわたしたちと同じようにいろいろなことを悩んだんだな。</p> <p>・ みんなちがって当たり前なんだ。自分はこのままでいいんだ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;"> <p>ワークシート</p> </div> <p>・ 保健の先生に相談する。</p> <p>・ お母さんに相談する。</p> <p>・ 担任の先生に話す。</p> <p>・ 友だちに話す。</p>

7 板書計画



8 その他の配慮事項

(1) 実践にあたって

「育ちゆく体とわたし」学習後の児童の実態から、学習内容の定着が不十分であると思われる内容があった場合は、「わからなかったこと」のなかで意図的に取り上げ、その内容をもう一度指導する。

本時は養護教諭とのTTにより授業を行いたい。児童にとって身近な健康教育の専門家である養護教諭といっしょに授業をすることで、児童が体に関する疑問を安心して相談することができる。さらに、授業中や授業後の児童からの質問にも協力し合って個別指導にあたるのが可能となり、児童一人一人が安心感と希望を持って、自分の成長を見通せるような支援ができるからである。

学習のまとめにある養護教諭からの話については資料編に添付してあるので参考にする。

4年生の学級活動「おとなに近づくわたし」の授業のなかで、「先生方は4年生のころ、性に関してどのような不安や悩みをもっていたか」のアンケート結果を活用したいと思います。お忙しいなか申し訳ありませんが、ご協力の程よろしく願いたします。

氏名 _____

学習をふり返って	※ 「はい」「いいえ」に○をつけましょう。		
	いいえ	はい	どのようなことですか？
体つきのことについて気にかかることがあった。			
友だちとくらべて、気にかかることがあった。			
体つきことで友だちにいやなことを言われたことがあった。			
内容がわからないことがあった。(ことばなど)			
その他、そのころ「不安に思っていたこと」や「疑問に思っていたこと」などがあつたら書いてください。			

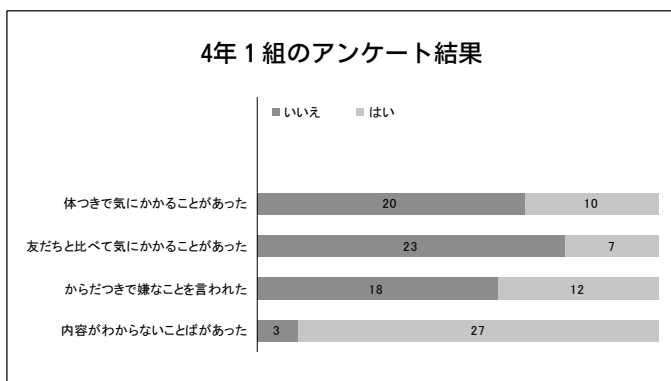
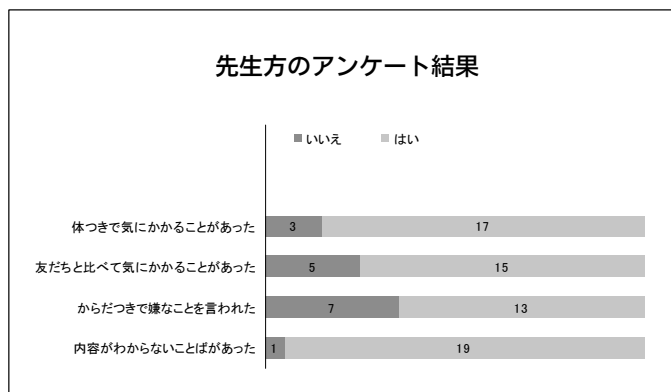
「育ちゆく体とわたし」の学習が終わりました。いま、みなさんは自分のことについて不安になったり、疑問に思ったりしたことはありますか？ アンケートに答えてください。

氏名 _____

学習をふり返って	※ 「はい」「いいえ」に○をつけましょう。		
	いいえ	はい	どのようなことですか？
体つきのことについて気にかかることがあった。			
友だちとくらべて、気にかかることがあった。			
体つきことで友だちにいやなことを言われたことがあった。			
内容がわからないことがあった。(ことばなど)			
その他、そのころ「不安に思っていたこと」や「疑問に思っていたこと」などがあつたら書いてください。			

この「振り返りカード」を、子どもたちにとって身近な存在である学校の先生方や保護者にも実施する。そして、このアンケートに書かれた内容を授業で取り上げることで、子どもたちが「この課題は自分たちのことではないんだ。」「お父さんやお母さん、先生方も自分と同じような疑問や不安を持っていたんだ。」といった安心感を持って課題をとらえることができるようになる。
ただ、個人的な質問やさらに誤解を招くような内容が書かれていた場合には、全体ではなく、個別に支援するほうがよい。

4年アンケート結果例





理解が不十分だったことが子どもたちの不安の原因になったと思われる内容については、もう一度学習内容を振り返る。また、データを示すことで納得できることもあるので、資料を有効に活用する。

このように、子どもたちの一つの悩みや不安について、ていねいに解決していくことが大切である。

資料 4

「おとなに近づくわたし」

年 組

1 4年生のAくんと、Bさんに、あなたなら、どんなことばをかけてあげますか？

Aくん

Bさん

2 あなたが不安や悩みを持った場合はどのように対処しますか？

「わたしたちの生活と情報」

1 題材名

「わたしたちの生活と情報」 学級活動(2) カ 心身ともに健康で安全な生活態度の形成

2 児童の実態と題材設定の理由

(1) 児童観

5年生は、社会性の発達に伴い自己が確立してくる時期である。感情は徐々に大人に近づきつつあり、真理を追求しようとする心、悪いことや醜いことを避けようとする心、よさへの強い感情や憧れなどが豊かに育ってくる。同時に、二次性徴の発現に伴い、体や性、異性に対する関心が高まってくるなど、心理的に不安や動揺を感じる時期でもある。情報との関わりについては、教科の調べ学習等でインターネットの利用を経験し、新しい情報ツールへの関心が高まりはじめてはいるが、情報を疑うことなく受け入れ、情報の取捨選択が必要であることに気付いていない児童が多い。

(2) 題材観

情報化時代の中で、テレビ・雑誌・新聞・パソコン・携帯電話などから様々な情報が発信され氾濫している。これらの情報は、人々が好むか好まざるにかかわらず伝えられる状況にある。特に性情報に関しては、興味本位あるいは営利目的で取り上げられているものも多く、このような情報は知識が乏しい児童に対し、不安や好奇心をかきたてるとともに、性的非行や性的犯罪を引き起こす誘因となることが指摘されている。そこで、インターネット等を利用し情報を収集し始めるこの時期に、情報に対する注意力を養うことが必要であると考えこの題材を設定した。

(3) 指導観

身近にある情報を疑いなく信じ、情報によって左右されがちな児童が多いことから、ここでは、比較的目にすることが多い広告を提示し、キャッチフレーズや注意書きに目を向けさせたり、広告を作る側の立場になって考えさせたりしながら、情報を適切に選択するための批判的な目を養いたい。また、インターネットや携帯電話の情報を興味本位で利用し犯罪にまきこまれた事例も紹介し、身の回りの情報の取り扱いに十分注意し、情報を上手に利用していこうとする態度を養っていきたい。

3 本時のねらい

インターネット・携帯電話からの情報には、事実と違うものや危険なものが含まれていることを理解し、情報を利用するときの注意点を考えることで、トラブルに巻き込まれないようにする。

4 各教科、道徳及び総合的な学習の時間などとの関連

学級活動

「わたしたちの心のはたらき」



学級活動

「わたしたちの生活と情報」

5 指導展開例

段階	学習活動及び内容	時間形態	指導上の留意点 評価	資料等
導入	<p>1 本時の学習内容と課題を把握する。</p> <p>(1) 誇大な表現の内容を含む広告を見て、感じたことを発表する。</p> <p>(2) 本時の課題を知る。</p> <p>情報との上手なつきあい方を考えよう。</p>	5 一斉	<p>ダイエット広告、携帯0円等の誇大広告を提示し問題意識を高める。</p> <p>これらの広告には、魅力的な写真やキャッチフレーズが含まれているが、よく見ると条件や制限があり、情報の中には危険なものがあることに気付かせ、課題意識を高める。</p>	[1]
展開	<p>2 アンケート結果を基に、情報を得ることでの良い面、良くない面を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> アンケート結果 テレビ、マンガ・雑誌、インターネット、携帯電話の良い面と良くない面の話し合い <p>(1) 主にどこから、どのような情報を多く得ているのかについて知る。</p> <p>(2) テレビ、マンガ・雑誌、インターネット、携帯電話等から情報を得ることでの良い面と良くない面について話し合う。</p> <p>(良い面)</p> <ul style="list-style-type: none"> 天気予報など生活する上で役立つ。 娯楽番組などは楽しませてくれる。 世の中の動きを知ることができる。 <p>(良くない面)</p> <ul style="list-style-type: none"> 暴力的な場面による悪影響がある。 事実と異なる情報により混乱する。 誤情報を使つての犯罪が起きる。 	30 一斉	<p>付箋を使ってブレインストーミング形式で出させ、その後班ごとに整理する。</p> <p>アンケート結果（F）を示し、情報を得ることの大切さを理解させる意味で、まず良い面をしっかりと押さえる。</p> <p>今回の学習は、情報を得る際にトラブルから回避する方法について知ることがねらいであることから、良くない面について重点的に扱う。</p> <p>広告や、雑誌、テレビなどの情報源には良い面と良くない面があることに気付くことができたか。</p>	[2]
開	<p>3 情報の落とし穴について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康障害の事例から感じたことや考えたことを話し合う。 なぜ、まぎらわしい広告が作られるのかについて話し合う。 事件に巻き込まれた事例を聞く。 	一斉	<p>[1] の広告の情報を疑いもせず信用し、健康障害となった事例を紹介する。</p> <p>広告を作る側になって考え、その訳を考えさせる。</p> <p>出会い系サイトが想像できる携帯画面を提示した後、そのようなサイトにつないで被害にあつたり、巻き込まれたりした事例を紹介する。</p>	[3] [4]
終末	<p>4 学習のまとめをする。</p> <p>(1) 情報と上手につき合うために、自分が注意することをワークシートに書く。</p>	10 個人	<p>ワークシートに記入する時間を十分に確保する。</p> <p>数人に発表させ、友だちの考えを参考にできるようにする。</p> <p>情報を見るとき、詳しく見たりよく考えたりして、上手に情報を利用していこうという考えを持つことができたか。</p>	[5]
教材・資料	<p>[1] 資料1 育毛剤、ダイエット広告、ベルト、携帯0円の広告</p> <p>[2] アンケート結果</p> <p>[3] 資料2 携帯の広告</p> <p>[4] 資料3 被害状況のデータ</p> <p>[5] ワークシート</p>			

6 指導細案例

学習内容	教師の働きかけ（発問）	予想される子どもの反応 資料等
<p>1 本時の学習内容と課題を把握する。</p>	<p>こんな広告見たことありますか。これらの広告を見てどのようなことを感じますか。</p> <p>この広告のどこに魅力を感じますか。</p> <p>「本当かな?」「おかしいな?」と感じるところはありますか。</p> <p>広告もテレビもマンガも本も携帯もテレビも全てみなさんが利用できる情報源です。今日は情報との上手なつきあい方について考えていきましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・あります。 <li style="text-align: right;">[1] 広告の提示 ・0円なら携帯電話がほしいです。 ・飲むだけでやせるなら買いたい。 ・安い。 ・本当にやせるのかな。 ・「効果には個人差があります。」と書いてある。おかしいな、どういうことかな。 ・風水パワーってどんなことかな。
<p>2 アンケート結果を基に、情報を得ることでの良い面、良くない面を考える。</p>	<p>これは、みなさんに以前アンケートをとった結果です。</p> <p>みなさんもたくさんの情報を利用しています。</p> <p>これらの情報源を利用してどんなことが良いと感じましたか。また、どんなことが良くないと感じましたか。グループでできるだけたくさん出しましょう。ルールとして、出された意見は否定しないこととします。</p> <p>（児童の意見が出た後にアンケート結果Fを示し良い面を押えてから）マンガやテレビドラマは暴力的な場面やHな場面、現実離れたストーリー等で興味関心をひくよう作られたものなのに、現実の生活にその影響を受けて誤った行動をとる人がいることを良くない面に上げておきます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li style="text-align: right;">[2] アンケート結果の提示 ・たくさん情報を利用しているな。 ・物知りになれる ・インターネットで詳しく調べられる。 ・楽しい番組や知りたいことを知ることによって元気になる。 ・裸の写真が見えるようにおいてあった ・暴力的シーンがあった ・Hなシーンがあった ・書いてあったりコマーシャル通りにならないことが多い。
<p>3 情報の落とし穴について話し合う。</p>	<p>実はこの初めに見せた広告を疑うことなく信用し、体調をくずしてしまった人がいます。この人はどうすれば良かったと思いますか。</p> <p>このようなまぎらわしい広告はなぜ作られると思いますか。作る側はどんなねらいで作ると思いますか。</p> <p>これも商品です。携帯の画面を見て下さい。このようなサイトに接続して、自分の電話番号が相手に知られ、被害を受けた人がたくさんいます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・かわいそうだ。 ・変だなと疑うべきだった。 ・広告の注意書きを読んで、早めにやめるべきだった。 ・商品を買って欲しいから。 ・売り上げをのばしたいから。 ・怖い。 <li style="text-align: right;">[3] 携帯情報提示 ・取り返しのつかないことになってしまう。 ・絶対に巻き込まれたくない。 <li style="text-align: right;">[4] 被害状況の提示
<p>4 学習のまとめをする。</p>	<p>これからの生活に、上手に情報を利用していくために、次の場合あなたはどういうことに注意しますか。</p> <p>広告をみるとき インターネットを利用するとき マンガやテレビドラマを見るとき</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・目立つキャッチフレーズだけでなく、小さい文字も見ようにする。 ・うまい話には裏があるので信用しない。 ・犯罪に巻き込まれるので、むやみにアクセスしない。 ・面白おかしく作ってあるので、現実と混同しない。

7 板書計画



8 その他の配慮事項

(1) 単元のつながり

- ・ 児童は思春期にさしかかっているため、自分の心の変化を感じてはいるが、なぜなのかその理由について理解できずにいると思われる。
- ・ 具体的には、自分の心が小さい頃と比べ変化し、異性の友達といっしょに活動したりする中で緊張したり、あるいは家族のアドバイスを素直に受けられなかったりしていることが多い。
- ・ そこで、本時の授業の前に、学級活動(2)分野か保健の授業で、変化していく心について理解させたい。心が変化してくるのは脳の発達によるものであり、その発達に伴って以前と違う行動をとりたくなったり、より幅広い情報を得たくなったりする気持ちが生まれてくることを押さえたい。
- ・ また、この頃になると、よりよい自分になりたいと思う気持ちが育ってくることや、正しく判断して生活していくことの大切さも理解させたい。

(2) 実践にあたって

展開の段階での情報の落とし穴の説明時には栄養が十分でない場合の体の状況などを知らせ、命にもかかわることを意識させたい。

情報の落とし穴を話し合い、情報の危険性を理解させるにあたっては以下のことを説明したい。

- ・ 情報の中で年齢や性別、その他たくさんを偽っているケースもある。
- ・ 自分の意志と関係なく犯罪に巻き込まれる危険性がある。
- ・ 実際に被害にあったケースもある。
(誘拐された、身代金の要求をされた、監禁された、つれまわされた、体を触られた、裸の写真を撮られた、暴力をふるわれた)
- ・ 少し判断をまちがえると心も体も傷ついて、時には命まで落としてしまうことがある。

事前アンケート

男 女

A テレビについて

①好きなテレビ番組を見る順番が多い方から3つ書いてください。

1
2
3

B パソコンについて

① 家では、パソコンによるインターネットができるようになっていましたか。

ア はい イ いいえ

② あなたはインターネットを利用したことがありますか。

ア はい イ いいえ

D マンガ や 雑誌について

① どんなマンガ本を好んで読みますか。3冊までマンガ本の名前を書いてください。

(1)	(2)	(3)
-----	-----	-----

E 携帯電話について

①あなたの家には携帯電話を持っている人がいますか。

ア はい イ いいえ

②あなたは携帯電話を使ったことがありますか。

ア はい イ いいえ

F みなさんは、たくさんものから情報を得ることができます。テレビ・マンガや雑誌・インターネット・携帯電話のよい面とよくない面を書いてください。思いつかない時は空란のままかまいません。

情報源	良い面	良くない面
テレビ		
マンガ 雑誌		
インター ネット		
携帯電話		

資料 1



「性の被害」

1 題材名

「性の被害」 学級活動(2) カ 心身ともに健康で安全な生活態度の形成

2 児童の実態と題材設定の理由

(1) 児童観

小学校高学年になると、二次性徴の発現が目立つようになり、特に女子児童は性的な被害を受けやすくなる。近年この年頃の児童が、心ない大人たちによって、男女関係なく誘拐や性的ないたずらなどの被害を受けるケースが増えている。また児童の性に関する関心も高まり、性的なからかいによって、相手の心を傷つけてしまうことも増えてくる。中にはゆがんだ性意識を持ってしまい、自分より弱い者に対して性的ないたずらをするなど、相手の心や身体を傷つけてしまうケースも少なくない。

(2) 題材観

そこで、このような事件に巻き込まれないようにするにはどのようなことに気をつければよいか、具体的事例をもとに対処法を考えさせることで、自らの安全を自ら守る回避行動につなげていきたいと考え本題材を設定した。

(3) 指導観

導入段階では、「性被害」という言葉について、理解できない児童が多いと思われることから、「プライベートゾーン」や分かりやすい資料を提示することで問題意識を高めたい。

展開段階では、性被害の実態を踏まえ、どのようなことに気を付ければ被害に遭わないようにできるのか、具体的事例を使ってワークシートをもとに指導することで、性被害に遭わないための対処方法には、いろいろあることを捉えさせたい。(また性加害についても児童の実態に応じて指導時間を考慮し、自分の日頃の生活の仕方を振り返らせることで、自ら加害者とならないよう心掛けさせるようにする。)

3 本時のねらい

性にかかわる被害の実態を知り、安全な生活を保つための方法を考え、被害を避けることができるようにする。

4 各教科、道徳及び総合的な学習の時間などとの関連



5 指導展開例

段階	学習活動及び内容	時間形態	指導上の留意点 評価	資料等
導入	<p>1 本時の学習内容と課題を把握する。</p> <p>(1) 性の被害の意味及び現状について知る。</p> <p>(2) 本時の課題を知る。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">性の被害にあわないためには、どのようなことに気を付けなければならないのだろうか。</p>	10 一斉	<p>男女それぞれのプライベートゾーンの絵を提示することで、性の被害等の意味について理解させる。</p> <p>性被害に関するグラフを提示し、小学生が最も多く被害を受けている現状に気付かせることで、問題意識を高める。</p> <p>学校内、学級内でのプライベートゾーンに対するちょっとしたいたずらも該当することを伝える。</p>	[2]
展開	<p>2 性被害の詳しい現状について知る。</p> <p>(1) 性被害の内容について知る。</p> <p>(2) 被害者として小学生が最も多い理由を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体が小さいから。 ・力が弱いから。 	30 一斉	<p>小学生の被害を受けている割合の多さに着目させ、児童が自分の問題として受け止めることができるようにする。</p>	[3] [1]
	<p>3 被害に遭わないようにするためにはどうしたらよいか考える。</p> <p>(1) 各自考えワークシートに記入する。</p> <p>(2) 班の中で発表し合う。</p> <p>(3) 班ごとに発表し、防止策についてまとめる。</p>	個人 グループ	<p>資料[3]の各グラフに着目させ、発生場所、発生時間のそれぞれの視点から、また、発生場所と時間を組み合わせた視点から考えさせ、防止策を導き出させるようにする。</p> <p>発表を板書し、最終的に[4]の内容が網羅できるようにする。</p>	[1] [4]
開	<p>4 具体的事例を基に、A 児童の行動の問題点及びその防止策を考える。</p> <p>(1) A さんの行動上の問題点について考える。</p> <p>(2) A さんへのアドバイスとして、防止策を考え、発表する。</p> <p>(3) ロールプレイングを通して、A さんがとるべき行動を確認する。</p>	一斉	<p>板書でまとめた資料[4]を基に考えさせるようにする。特に時間的、場所的視点から考えさせるようにする。</p> <p>性の被害について理解し、被害に遭わないための行動や態度について考えることができたか。</p>	
	<p>5 相手の気持ちを考える。</p>	一斉	<p>(ワークシート、発表、ロールプレイング)</p> <p>性的なからかいやいたずらによって相手を傷つけてしまうことがあることを知らせ、自分の日頃の言動を振り返らせる。</p> <p>性的な関心は、誰もが持つ自然な気持ちであることにも触れる。</p> <p>性的なからかいやいたずらを決してしてはいけないことを理解し、自分の言動を振り返ることができたか。(態度、表情)</p>	
終末	<p>6 学習のまとめをする。</p> <p>(1) 自分の生活において、今後注意していくことを書く。</p>	5 個別	<p>性にかかわる被害を避けようとする気持ちを持つことができたか。</p> <p style="text-align: right;">(ワークシート)</p>	[1]
教材・資料	<p>[1] 自分の考えを書いたり、学習を振り返ったりするワークシート</p> <p>[2] プライベートゾーンがかくされた男の子と女の子の絵</p> <p>[3] 「性被害にあったことがあるか」「どんな人が性の被害にあっているか」「事件発生場所」「事件発生時間帯」「事件発生月」の資料</p> <p>[4] 性被害の防止策の例</p>			

6 指導細案例

学習内容	教師の働きかけ（発問）	予想される子どもの反応 資料等
<p>1 本時の学習内容と課題を把握する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 性の被害についての理解 	<p>プライベートゾーンがかくされた男の子と女の子の絵を提示する。 このかくされた部分を何といひますか？</p> <p>この部分は「プライベートゾーン」と言います。水着でかくすところで、誰にとっても大切なところです。 このプライベートゾーンにかかわることで嫌な思いをしたり誰かが嫌な思いをしたと聞いたりしたことはありませんか？ プライベートゾーンにかかわることで嫌な思いをすることを性の被害と言います。この他にも「エッチなことを言われた」...ということも性の被害と言います。 今日は性の被害にあわないためにどのようなことに気を付けなければいいかについて考えていきましょう。</p>	<p>資料 2</p> <ul style="list-style-type: none"> ……？ 見せてはいけないところ。 大事なこと。 恥ずかしくてうつむく。 <ul style="list-style-type: none"> あります。 かんちようされた。 恥ずかしくて言えない。
<p>2 性被害の詳しい現状について知る。</p> <p>3 被害に遭わないようにするためにどうしたらよいか考える。</p>	<p>性被害の現状についての資料を提示する。 資料を見て分かることは何ですか？</p> <p>小学生の被害が最も多いのは何故でしょう。</p> <p>では、被害にあわないためにはどんなことに気を付けられいいでしょう。考えられることをたくさん書いてみましょう。 ワークシートを配付する。 班の中で考えたことを発表しましょう。</p> <p>資料4を紹介する。</p>	<p>資料 3</p> <ul style="list-style-type: none"> 小学生が一番被害にあっている。 2～6時くらいに被害が多い。 発生場所は道路が多い。 <p>資料 1</p> <ul style="list-style-type: none"> 暗くならないうちに帰る。 一人で帰らない。 怪しい人に近づかない。 防犯ブザーを持つ。 さびしい道は通らない。
<p>4 具体的な事例を基に、A児童の行動の問題点及びその防止策を考える。</p> <p>5 相手の気持ちを考える。</p>	<p>ワークシートの事例を読む。 Aさんの行動の中で、問題だと思うところはどこですか。いくつでもよいので書いてみましょう。</p> <p>Aさんが被害にあわないようにするためアドバイスしてあげましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 遊びにさそわれたときのAさんへ 遊びから帰るときのAさんへ 声をかけられたときのAさんへ <p>ロールプレイングをして、とるべきAさんの行動を確認してみよう。 他の事例を提示する。 次のようなときに気を付けることは何ですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 知らない人に道をきかれた場合 一人で留守番をしているときに知らない人が訪ねてきた場合 一人でエレベーターに乗っているときに知らないおばさんが乗ってきた場合 <p style="text-align: center;">⋮</p> <p>もし被害にあったり、あいそうになったりしたときは、自分が悪いのではないので必ず大人の人に相談するようにしてください。また、相手の特徴や車の特徴を覚えることも大切です。</p> <p>今まで性の被害について話し合ってきましたが、反対にプライベートゾーンにかかわって相手に嫌な思いをさせることもあります。 「着替えのときにいざらでズボンを下げる」とか「体のことをからかう」とか「性器を触る」など、する方は軽い気持ちでやったとしても、された人はどんなに嫌な思いをするでしょう。そのような性的ないざらやからかいは決してしてはいけません。 自分の生活を振り返ってみましょう。 性的な関心は誰でも持つ自然な気持ちですが、相手に深い心の傷を負わせてしまうことは絶対にいけません。</p>	<p>資料 4</p> <ul style="list-style-type: none"> 日が短いのに午後3時に遊びに出かけた。 暗くなっているのに一人で帰った。 声をかけられたのに、気にしないで歩き続けた。 <ul style="list-style-type: none"> 日が短くなっているんだから、遊びにさそわれても出かけないんだよ。 帰るとき暗くなってしまったら迎えに来てもらうんだよ。 暗くならないうちに帰るんだよ。 声をかけられたら、近くの家に逃げ込もう。 走って逃げるんだよ。 ロールプレイングを行ったり、それを見たりして対処法を確認する。 <ul style="list-style-type: none"> 間を空けて話す。 鍵は開けずに、インターホンで話すだけにする。 非常ベルをすぐ押せるようにしておく。 エレベーターから降りる。 <ul style="list-style-type: none"> 体のことを言われたことがある。 黙ってしまう。
<p>6 学習のまとめをする。</p>	<p>今日の学習で、性の被害を避けるために気を付けようと思うことや、相手に嫌な思いをさせないように気を付けようと思うことを書きましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 一人で帰らないようにする。 小学生が一番多く被害にあっていることが分かり、びっくりした。 早目に帰るようにする。 出かけるときは行き先をおうちの人に知らせる。 ふざけて友だちの体のことを言わない。

7 板書計画

<性の被害>

性の被害にあわないためには、どのようなことに気を付ければよいのだろうか。

資料2
「プライベートゾーン」の絵
(拡大図)

資料3
「性被害の現状」
(拡大図)

Aさんは午後3時にBさんから電話があり、遊びにさそわれました。冬なので日も短くなっていますが、Aさんは遊びに出かけました。帰ろうと思ったときは、外はもうすっかり暗くなっていました。一人で帰る途中、知らない人に声をかけられました。気にしないで歩いていると急にうでをつかまれました。

Aさんの行動で問題だと思うところは？

- ・日が短いのに午後3時に遊びに出かけた。
- ・暗くなっているのに一人で帰った。
- ・声をかけられたのに、気にしないで歩き続けた。

相手が嫌な気持ちになる事

- ・着替えのときにいらずらでズボンを下げる。
- ・体のことをからかう。
- ・性器を触る。

8 その他の配慮事項

- (1) 「性被害」という言葉を初めて聞く児童も多く、その内容も理解できない児童がほとんどであると考えられる。そのため、「プライベートゾーン」に関わるものはそれに当たることを知らせる。また他にも「エッチなことを言われた」「足を触られた」なども相手が嫌な思いをすれば「性被害」となる。さらに「資料3」にある「性被害とはどんなものをいうのか」「どんな性被害にあっているか」「どの年代の児童が多く性被害にあっているか」「どんな場所でどんな時間帯に性被害が発生しているか」という性被害の現状をしっかりと理解させることによって、性被害回避の具体策の話し合いをしやすくする。
- (2) 性被害にかかわる新聞記事やニュース、または教師による話題などが提示できる場合は、それを取り上げることにより、より現実味のある話し合いができる。
- (3) 実際に性被害に遭っている児童がいる場合は、特別な配慮をしながら進めるようにする。
- (4) Aさんの具体的事例による話し合いでは、Aさんの行動の中の問題を見つけることにより、それを避けるための策を考えるようにする。さらにAさんが被害に遭わないために、どの時点でどんな行動の選択をすべきだったのか考えることにより、いろいろな策があることを捉えさせたい。
- (5) 具体事例におけるAさんのとるべき行動を、ロールプレイングで確認することにより、性被害の回避策をより確かに捉えさせたい。
- (6) 自分がされて嫌な気持ちになる事は、相手にもしてはいけない。例えば、「着替えのときにいらずらでズボンを下げる」とか「体のことをからかう」とか「性器を触る」など性的ないたづらをしたり、からかったりしてはいけない。それを踏まえ自分の言動を振り返らせ、改善しようとする態度がとれるようにする。

せい ひがい
性の被害について

年 組 名前 ()

- 1、性の被害にあわないためには、どうしたらよいでしょう。気を付けようと思うことを書いてみましょう。

- 2、次のようなとき、Aさんはどうしたらよかったですか？Aさんにアドバイスしてあげましょう。

Aさんは午後 3 時にBさんから電話があり、遊びにさそわれました。冬なので日も短くなっていますが、Aさんは遊びに出かけました。帰ろうと思ったときは、外はもうすっかり暗くなっていました。一人で帰る途中、知らない人に声をかけられました。気にしないで歩いていると急にうでをつかまれました。

Aさんのとった行動の中で、問題だと思うところはどこですか？

＜アドバイスしてあげよう！＞

- ★遊びにさそわれたときのAさんへ・・・
- ★遊びから帰るときのAさんへ・・・
- ★知らない人に声をかけられたときのAさんへ・・・

- 3、自分の生活を振り返って性の被害にあわないために気を付けようと思うことや相手に嫌な思いをさせないように気を付けようと思うことを書きましょう。



☆ 性犯罪の認知状況

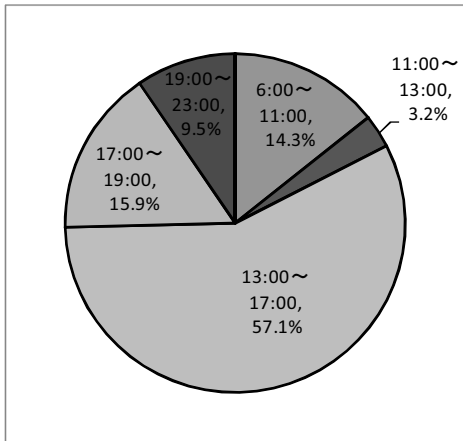
【平成23年中の性犯罪等の認知状況】

	認知件数			
	平23 (12月末)	平22 (12月末)	増減数	増減率
強 姦	13	18	-5	-27.8%
強 制 わ い せ つ	82	123	-41	-33.3%
前 兆 事 案	214	209	5	2.4%
声 かけ 事 案	63	81	-18	-22.2%
13 歳 未 満	46	46	0	0.0%
13 歳 以 上	17	35	-18	-51.4%
公 然 わ い せ つ	20	20	0	0.0%
そ の 他	131	108	23	21.3%
合 計	309	350	-41	-11.7%

※「その他」は、迷惑行為等防止条例・軽犯罪法違反、不審者はいかいなど

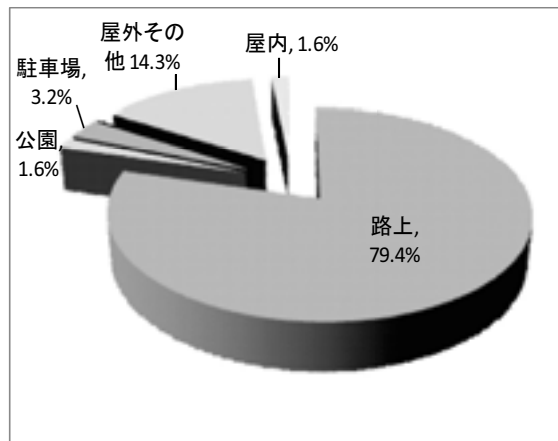
声かけ事案の状況 (13歳以上を含む)

【発生時間別状況】



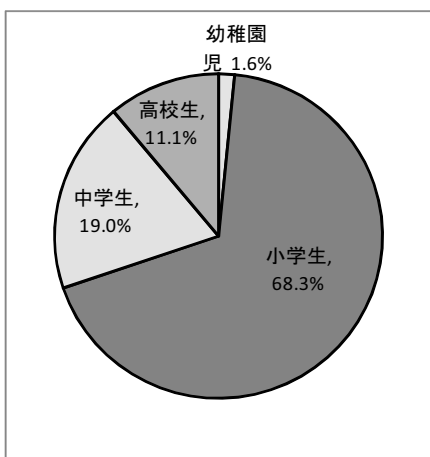
下校時間帯である13:00から17:00の間の発生が 6割

【発生場所別状況】



路上における発生が 8割

【被害対象別状況】



声かけの被害対象
小学生 7割、中学生 2割

声かけ事案の多くは、小・中学生の下校時間帯に通学路上で発生しています。



みんなで通学路の見守り活動を行いましょう。

「性の不安や悩みの解消」

1 題材名

「性の不安や悩みの解消」 学級活動(2) ア 思春期の不安や悩みとその解決

2 生徒の実態と題材設定の理由

(1) 生徒観

中学生の時期は、次第に物事を客観的に考えることができるようになる一方、心身の発達が著しく、二次性徴の発現が頂点に達するのに伴い、情緒が不安定になることがある。個人差はあるが、性や異性に関しての関心が急速に高まり、心と体の調和の乱れから感情が不安定になったり、人間関係をうまく築くことができず、そのことで不安や悩みが増大したりする時期でもある。この時期には、男性または女性としての自己の認識を確かにさせることが大切である。そのためには心身の発育・発達や変化など人間の性の成熟について科学的に理解するとともに、発達段階にある自己の性を受容し、自他を大切にしようとする心情や態度を育てる必要がある。

(2) 題材観

この時期の不安や悩みの解決のためには、思春期における男女の身体的変化やその発現の仕組みを理解させる必要がある。また、知的な理解を通して不安や悩みを解消させ、自他の性に対して適応を図ることや、自分ひとりで悩まず身近な大人や専門の機関に相談することも大切なことを踏まえさせることが必要である。さらに、男女の望ましい人間関係の形成とのかかわりから、異性に対する適切な行動や態度を身に付けさせるために、本題材を設定した。

(3) 指導観

指導に当たっては、この時期は誰もが同じような悩みや不安を抱えていることを理解させ、適切に問題を解決する方法に気付かせたい。また、他人と比べて自分に自信を無くしたり、劣等感を持ったりすることも少なくない時期でもあることから、お互いの悩みや不安を共有し合い、課題解決に向けた適切な行動が選択できるようにさせたい。

3 本時のねらい

体や心の変化による不安や悩みは、思春期の特徴であり個人差もあることを理解し、互いに悩みを共有しアドバイスをし合うことで、解決することができるようにする。

4 各教科、道徳及び総合的な学習の時間などとの関連

- (1) 保健体育 「心身の機能と心の健康」
- (2) 技術・家庭 「家族・家庭と子どもの成長」
- (3) 理科 「生命の連続性」
- (4) 社会 「私たちと政治」
- (5) 道徳 「男女は互いに異性についての正しい理解を深め、相手の人格を尊重する」

5 指導展開例

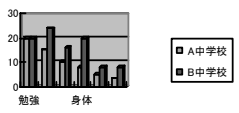
段階	学習活動及び内容	時間形態	指導上の留意点 評価	資料等
導入	<p>1 本時の活動内容と課題について知る。</p> <p>(1) 「悩みの内容」アンケート項目を見て、最も多い悩みは何か、予想する。</p> <p>(2) アンケート結果を見て、自分の悩みとの共通点を見つける。</p> <p>(3) 本時の課題を知る。</p> <p>思春期の不安や悩みの原因を知り、その解決の方法を知ろう。</p>	5 一斉	<p>学級の生徒に事前にアンケートを取り、データを提示することが望ましい。なければ資料1「悩みの内容」アンケート結果を使用する。</p> <p>今の自分の不安や悩みについて振り返らせ、アンケート結果と比較させることで、問題意識を高める。</p> <p>誰にも色々な不安や悩みがあることを把握させる。</p>	[1]
展開	<p>2 思春期の不安や悩みの原因を追及する。</p> <p>(1) 小学生の頃と比べて、友達関係や男女関係、心や体の変化について考える。</p> <p>(2) 考えを発表し合い、具体的内容を基に、人間関係等の各視点での変化を知る。</p> <p>(3) 体や心の変化、不安や悩みの発生のメカニズムについて知る。</p> <p>3 不安や悩みに対する具体的な対処法について考える。</p> <p>(1) 3つの悩みの中から1つを選び、その悩みに対してのアドバイスを書く。</p> <p>(2) 同じ悩みごとに、3～5人のグループを作り、よりよいアドバイスについて考える。</p> <p>(3) グループごとに、アドバイスを発表し、具体的な対処法について考える。</p>	35 一斉	<p>変化については、日頃の生活の中での具体的な内容をあげさせる。</p> <p>反抗・不安・悩みなどは大人として自立するための準備のひとつであることを理解させる。</p> <p>変化のメカニズム及び性的な成熟度には個人差があることを理解することができたか。</p>	[2] [3]
開	<p>4 学習のまとめをする。</p> <p>(1) 本時の活動を振り返り、自分なりの解決方法や気付いたこと、考えたことをまとめる。</p> <p>(2) 不安や悩みの解決方法について確認する。</p>	個人 グループ 一斉	<p>否定的なことや自分が書かれて嫌なことは書かないようにすることを確認する。</p> <p>よりよいアドバイスになるように話し合わせる。</p> <p>活動を通して、悩みを人に打ち明けたり、相談したりすることの大切さを実感させるようにする。</p>	[4]
終末	<p>4 学習のまとめをする。</p> <p>(1) 本時の活動を振り返り、自分なりの解決方法や気付いたこと、考えたことをまとめる。</p> <p>(2) 不安や悩みの解決方法について確認する。</p>	10 一斉	<p>思春期には、心身のバランスがくずれやすく、不安や悩みが起きやすいことや正しい知識を身に付けることによって、それらを克服できることを理解することができたか。</p> <p>自分ひとりで悩まず、身近な大人や養護教諭、スクールカウンセラー、専門の相談機関に相談することも大切であることを理解させる。</p> <p>地域の相談機関などを紹介する。</p>	[4]
教材・資料	<p>[1] 「悩みの内容」アンケート結果 「あなたの悩みはなんですか」</p> <p>[2] 「体の変化・こころの変化」 ~</p> <p>[3] 「不安・悩みの発生」</p> <p>[4] 「思春期の不安や悩み」ワークシート</p>			

6 指導細案例

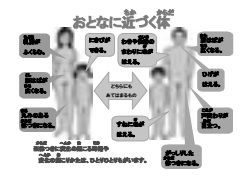
学習内容	教師の働きかけ（発問）	予想される子どもの反応 資料等
<p>1 本時の活動内容と課題について知る。</p> <p>(1) 「悩みの内容」アンケート項目を見て、最も多い悩みは何か、予想する。</p> <p>(2) アンケート結果を見て、自分の悩みとの共通点を見つける。</p> <p>(3) 本時の課題を知る。</p> <p>思春期の不安や悩みの原因を知り、その解決の方法を知ろう。</p>	<p>前の時間にみなさんに聞いたアンケートの項目を見てください。最も多い悩みは何でしょう。</p> <p>予想させた上で資料を提示し、自分の悩みとの共通点を見つけさせる。</p> <p>現在の自分の不安や悩みについて振り返らせる。</p>	<p>資料1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達関係 ・部活 ・恋愛
<p>2 思春期の不安や悩みの原因を追及する。</p> <p>(1) 小学生の頃と比べて、友達関係や男女関係、心や体の変化について考える。</p> <p>(2) 考えを発表し合い、具体的内容を基に、人間関係等の視点での変化を知る。</p> <p>(3) 体や心の変化、不安や悩みの発生のメカニズムについて知る。</p> <p>3 不安や悩みに対する具体的な対処法について考える。</p> <p>(1) 3つの悩みの中から1つを選び、その悩みに対してのアドバイスを書く。</p> <p>(2) 同じ悩みごとに3～5人のグループを作り、よりよいアドバイスについて考える。</p> <p>(3) グループごとにアドバイスを発表し、具体的な対処法について考える。</p>	<p>(「二次性徴」を想起させ、) ホルモン働きによって体が急激に成長するとともに、心も大きく変化することを確認させる。(必要に応じて小学校で学習した内容をスライド等で提示する。)</p> <p>反抗・不安・悩みなどは大人として自立するための準備のひとつであることを理解させる。</p> <p>これから、みなさんに思春期の悩みを3つ示します。そして、その中から1つの悩みを選んで、アドバイスを書いてもらいます。</p> <p>悩みの3つの例を示す。</p> <p>必ず守って欲しいことがあります。真剣に考え、アドバイスや励ましの言葉を書いて下さい。否定的なことや自分が書かれて嫌なことは書かず、自分が書いてもらったら嬉しい言葉を書くといいですね。</p> <p>同じ悩みでも、いろいろなアドバイスがあると思います。グループで話し合ってみましょう。</p> <p>グループで話し合ったアドバイスを発表してください。</p> <p>悩みへのアドバイスを発表させる。</p> <p>活動を通して、悩みを人に打ち明けたり、相談したりすることの大切さを実感させるようにする。</p> <p>一人で考えるだけでなく、何人かで話し合ってもらったら、よりよいアドバイスが出ましたね。3つの悩みへのアドバイスで共通していたのは、誰かに話をすることでしたね。</p>	<p>資料2・3</p> <ul style="list-style-type: none"> ・やだあ。恥ずかしい。 <p>資料4</p> <ul style="list-style-type: none"> ・えー、どんな悩みなの。 ・難しそう。 ・(黙って頷く) ・(熱心に記入する) ・「そんなことで悩むな」「考えすぎ」って思った。 ・アドバイスって難しい。 ・思い切って話しかけてみたら。 ・好きな部活だから、やめたりしない。 ・自分一人で悩まないで、友達に相談してみ。
<p>4 学習のまとめをする。</p> <p>(1) 本時の活動を振り返り、自分なりの解決方法や気付いたこと、考えたことをまとめる。</p> <p>(2) 不安や悩みの解決方法について確認する。</p>	<p>授業を振り返り、自分が悩みをもった場合どうするか、考えをまとめてみましょう。</p> <p>自分ひとりで悩まず、身近な大人や養護教諭、スクールカウンセラー、専門の相談機関に相談することも大切なことを理解させる。</p> <p>地域の相談機関などを紹介する。</p>	<p>資料4</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達に相談してみる。 ・養護教諭に相談してみる。

7 板書計画


学習課題
思春期の不安や悩みを解決する方法を知ろう



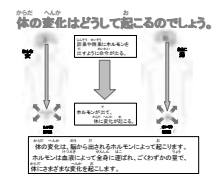
資料 2




資料 2



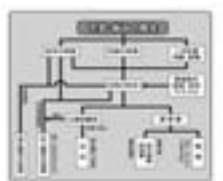
資料 2



資料 2



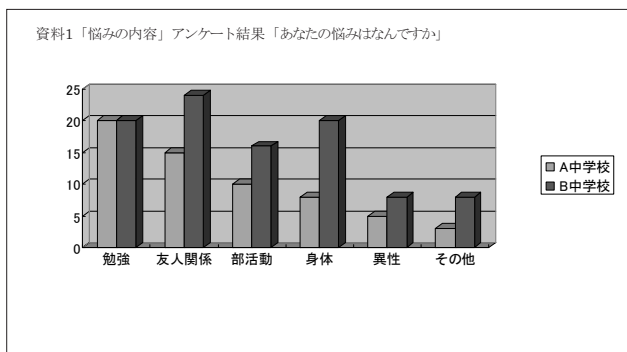
資料 2



資料 3

8 その他の配慮事項

- (1) 事前アンケートは学級の実態に応じたものを作成することが望ましいが、既成のものでも、他の目的で実施したものの中から必要な項目を取り上げたものでもよい。
- (2) 資料 2、資料 3 は「思春期特有の悩み」を想起させるために、実態に応じて取捨選択して使用する。小学校や他の教科で使用した資料、もしくはそれに代わる資料でもよい。
- (3) 「悩み」の例は、学級の実態に合わせて作成してよいが、生徒が実際に悩んでいる内容を、例として取り上げないように配慮すること。
- (4) アドバイスを書く際には、真剣にアドバイスや励ましを書かせるようにする。
- (5) 保健体育科の授業において「心身の機能と心の健康」を学習した後に実施することが望ましい。



資料 4 「思春期の不安や悩み」ワークシート

「思春期の不安や悩み」

1 「悩み」の例
一人で悩んでいる、A、B、Cの3人がいます。

① 友達について (中1・A)
この間、友達の〇〇に、ちよつとしたことを冗談のつもりで言ったら、本当に怒ってしまった。それから自分を避けているような気がする。声をかけようと思っているけど、なかなかかけられず、一週間ほど口をきいていないことが気になっている。

② 部活動について (中1・B)
部活は楽しく活動できていて好き。でも、一生けん命練習しているのに、なかなか上手にならない。他の部員たちは、どんどん上手になっていって、自分だけ取り残されているような気がして、とてもあせっています。最近、部活に行くとき気が重い。

③ 恋愛について (中1・C)
ずっと前から、〇〇さんのことが気になっている。いつも〇〇さんのことが頭から離れず、最近、夢にも見るようになった。勉強にもなかなか集中できず、この間のテストの結果もあまりよくなかった。どうしたらいいのだろう。

2 「悩み」へのアドバイス
選んだ「悩み」に対して、アドバイスを考えて書きましょう。

選んだ悩み ()

考えたアドバイス

3 感想
友達が考えたアドバイスを聞いて、思ったことを書きましょう。

あなたが「悩み」をもった場合、どうしますか。書いてみましょう。

「異性への理解を深めよう」

1 題材名

「異性への理解を深めよう」男女間のエチケット・マナー 学級活動(2) エ 男女相互の理解と協力

2 生徒の実態と題材設定の理由

(1) 生徒観

この時期の生徒は思春期を迎え、身体や心の成長に伴い異性に対する関心も高まり、男女交際にあこがれを抱く生徒もでてくる。しかし、精神的に未熟であり、男女における身体面・精神面の違いの理解や、異性と人間関係を築くに当たってのルールやマナーについての理解が十分でないことが多い。また、性的な発達の著しさから、情緒が不安定になり、自分の存在に価値や自信が持てないなど、時には様々な心の葛藤や遊びに傾斜する心と結び付き、性的な逸脱行為として現れることもある。

(2) 題材観

望ましい人間関係を築いていくためには、男女相互に尊重する態度や、男女の心身の特質をよく理解し、適切な意志決定に基づく行動選択ができる能力や態度を育てる必要がある。また、性に対する正しい理解を基盤に、身体的な成熟に伴う性的な発達に対応し、適切な行動がとれるように指導・援助を行うことが大切であると考え、本題材を設定した。

(3) 指導観

中学生の時期の特質を踏まえさせ、男女における心身の特質の理解や、異性の心理や男女間交際のエチケットやマナーについて理解を深めさせたい。また、人間関係において、自分の生き方としてどのような行動をとるべきかについて深く考えさせ、適切な判断や意志決定、行動選択の能力を身につけさせたい。

3 本時のねらい

男女における身体面・精神面の違いを理解し、異性と人間関係を築くに当たってのルールやマナーを考え、男女の望ましい人間関係を築くことができるようにする。

4 各教科、道徳及び総合的な学習の時間などとの関連

- (1) 理科 「動物の生活と生物の変遷」
- (2) 技術・家庭 「家族・家庭と子どもの成長」
- (3) 学活 「心身ともに健康で安全な生活態度や習慣の育成」
「思春期の不安や悩みとその解決」
- (4) 道徳 「生命の尊さを理解し、かけがえのない自他の生命を尊重する」

5 指導展開例

段階	学習活動及び内容	時間形態	指導上の留意点	評価	資料等
導入	<p>1 本時の活動内容と課題について知る。</p> <p>(1) 男女交際に関するアンケート結果を知る。</p> <p>(2) 思春期に現れるからだや心の変化について理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 思春期におこるからだの変化 ・ 接近欲・接触欲についての男女差 <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">異性との接し方について考えよう。</p>	10 一斉	<p>事前アンケートをとり、その結果を示すことで、異性に対する意識が高まってきていることに気づかせる。</p> <p>接触欲における男女差の大きさに着目させる。その差が原因で、異性との間のトラブルに発展するケースがあることを伝え、課題意識を高める。</p>		[1] [2] [3]
展開	<p>2 異性との接し方について考える。</p> <p>(1) 「意志決定」ワークシートの事例を読み内容を理解する。</p> <p>(2) ステップ1 このような場面でAさんはどんなことを考えなければならないかを書く。</p> <p>(3) ステップ2 「予想される行動に対する予想される結果」について記入する。</p> <p>(4) 同性グループ(3～4人)を作り、ステップ2に記述した内容を話し合う。</p> <p>(5) 各グループで話し合った内容を発表する。</p> <p>(6) ステップ3 出されたアドバイスから、相談して、一番良いアドバイスを考える。</p>	35 個人	<p>事例の内容及び、ステップ1～3の活動の流れを丁寧に説明し、活動内容をしっかり理解させる。</p> <p>できるだけ3つの行動を予想できるように説明する。</p> <p>お互いの考えを出し合い、他のグループの考えを聞く。さまざまな選択肢があることに気づかせる。</p> <p>結果について予想させることを通して、すぐに行動に移すのではなく、よく考えた上で行動することの大切さに気付かせるようにする。</p>		[4]
	<p>3 脳のはたらきと意志決定との関係から、望ましい異性との接し方について理解する。</p> <p>(1) 脳の構造と機能について理解する。</p> <p>(2) 異性との望ましい接し方</p>	一斉	<p>脳の発達により欲求の趣くままでなく、自分で考え、決定し、行動する力がついてくることに触れる。</p> <p>大脳皮質・大脳新皮質・前頭葉の働きについても触れる。</p>		[5]
終末	<p>4 学習のまとめをする。</p> <p>(1) 今後、異性との接し方についてどうしていきたいかについてまとめる。</p> <p>(2) 「男女間のエチケット・マナー」の確認をする。</p>	5 個人 一斉	<p>男女の接触欲の違いから、欲求と意志決定との関係を理解し、異性との接し方において、エチケット・マナーを大切にしようとするのができたか。</p> <p>九つの項目を説明するとともに、お互いを尊重し合うことの大切さを強調する。</p>		[6]
教材・資料	<p>[資料1]～[資料6]: パワーポイント資料(スライド6枚)</p> <p>[資料7]: 「あなたならこんなときどうしますか?」ワークシート</p>				

6 指導細案例

学習内容	教師の働きかけ（発問）	予想される子どもの反応 資料等
<p>1 本時の活動内容と課題について知る。</p> <p>(1) 男女交際に関するアンケート結果を知る。</p> <p>(2) 思春期に現れるからだや心の変化について理解する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>異性との接し方について考えよう</p> </div>	<p>人間は男性と女性の二つの性があります。二つの違う性があるので、こうして命を授かり、これからもずっとこの地球上に「ヒト」という種が生き続けていきます。この二つの性について今日は学習していきましょう。</p> <p>異性を理解することは難しいことですが、大切なことです。では、アンケートをみて下さい。</p> <p>今、好きな人がいる人は A 異性と交際したいと考えている人は B 思春期であるみなさんが、異性が気になったり、誰かを好きになったりするのは自然なことなのですね。具体的にお互いが好きな二人が「交際する」ことに発展していったとして、その時の「交際する」とはどんなことか、というアンケート結果を見て下さい。どんなことに気づきますか？ C</p> <p>思春期になると脳下垂体から分泌されるホルモンのほたらきで、男女のからだつきに違いがでてきます。</p> <p>そればかりではなく異性と親しくなりたいという「接近欲」や異性の体に触れてみたいという「接触欲」も芽生えてきます。これには、個人差・男女差があります。</p> <p>「接触欲」と「接近欲」にも違いがある。「接触欲」は学年が進むにつれて差も大きくなる。このように「違い」があるということは当然、トラブルも発生することになります。</p>	<p>・「エーッいやだな、こういう授業」</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>アンケートの例 A：いま好きな人はいますか？ B：異性と交際したいと考えていますか？ C：中学生の男女交際とは、どんなことをいいますか？</p> </div> <p>・「本当かな」 ・「もっといるよね」 ・「交際する」って「つきあう」ことと同じでしょ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;"> <p>スライド</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">スライド</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">スライド</div> </div> <p>・「男子の方が上回っているのはなぜかな。」 ・「女子の方が、いろいろ積極的だし、いろいろ知っているかも。」</p>
<p>2 異性との接し方について考える。</p> <p>(1) 「意志決定」ワークシートの事例を読み内容を理解する。</p> <p>(2) ステップ1</p> <p>(3) ステップ2</p> <p>(4) 同性グループを作り、ステップ2に記述した内容について話し合う。</p> <p>(5) 各グループで話し合った内容を発表する。</p> <p>(6) ステップ3</p>	<p>では、こういう場面について考えていきましょう。まず、じっくりと読んで下さい。Aさんへのアドバイスをしてみましょう。</p> <p>ステップ 1 このような場面で、Aさんは、「どんなこと」を考えなければならないと思いますか。ステップ1の欄に書きましょう。</p> <p>ステップ 2 ステップ1で記入した予想される行動に対して、予想される結果を書いてみましょう。ステップ2まで書き終えたら、グループになってください。(同性グループ3～5人) グループの中で考えたアドバイスを発表して下さい。いろいろな意見がでましたね。</p> <p>ステップ 3 出されたアドバイスから、相談して、一番よいアドバイスを考えましょう。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 10px;"> <p>スライド</p> </div> <p>ステップ1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家の人がないので帰る。 ・そのまま2人で勉強する。 ・場所を変えて勉強する。 <p>ステップ2 予想される項目</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 家の人がないので帰る。 <ul style="list-style-type: none"> ・お互いに理解できた。 ・気まづくなる。嫌われる。 2 そのまま2人で勉強する。 <ul style="list-style-type: none"> ・勉強に身が入らない。 3 場所を変えて勉強する。 <ul style="list-style-type: none"> ・お互いに相手を大切に思う気持ちがある。
<p>3 脳のはたらきと意志決定との関係から、望ましい異性との接し方について理解する。</p>	<p>私たちの脳には古い皮質と新しい皮質があります。古い皮質は生まれた時から持っている「食欲」「睡眠欲」などの本能の部分です。新しい皮質は、学習や経験発達していく「うまく生きる」「よりよく生きる」という部分です。私たちには自分の欲求をコントロールする力がきちんと備わっているのです。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 10px;"> <p>スライド</p> </div> <p>・脳にはいろいろな役割があるんだなあ。</p>
<p>4 学習のまとめをする。</p> <p>(1) 今後、異性との接し方についてどうしていきたいかについてまとめる。</p> <p>(2) 「男女間のエチケット・マナー」について確認する。</p>	<p>授業を振り返り、異性に対する自分の考えや、とるべき行動についてまとめてみましょう。</p> <p>お互いに気持ちよく関わっていくには大切なマナーやエチケットがあります。</p>	<p>・自分ならどうするか。 ・相手を大切にすることが必要。 ・相手のことを優先して考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 10px;"> <p>スライド</p> </div>

7 板書計画

学習課題

異性への理解を深めよう

- ・アンケートから
- ・意志決定って何？
- ・グループで話し合おう
- ・エチケットやマナーについて

接近欲と接触欲

新しい脳...うまく生きる
古い脳...たくましく生きる
前頭葉...よりよく生きる

8 その他の配慮事項

- (1) 事前アンケートは例を参考に、生徒の実態に合わせ質問内容を工夫し作成する。
- (2) スライドは流れに沿い、説明を視覚的にとらえられるようにタイミング良く提示する。
- (3) スライド、の接近欲、接触欲についてのデータは、自校のデータでもかまわないが、実態によっては、これまでの一般的なデータ（女子より、男子が上回る）とかけ離れることも考えられる。あくまでも、一般的な考えでの指導計画であるので、考慮し選択することが望ましい。
- (4) 意志決定スキルの場面設定の内容については、あくまでも接近欲・接触欲が女子より男子が上回っていることを基本に設定した。
- (5) ステップ2での同性グループで話し合わせる場面では、接触欲が男女で違うことを踏まえ、どういう接し方をするかを考えさせる。
- (6) 本時は「意志決定スキル」が中心の授業内容である。「意志決定スキル」は何回か演習を踏まないと効果的に活用できないので、事前に簡単な練習をしてから実施するのが望ましい。県教育委員会が作成した、平成18年度性教育指導教材「性を学んでいのち生きいき」を参照すること。
- (7) まとめの段階の「男女間のエチケットやマナー」では、生徒から発表された内容をうまく活用し、足りなかった内容に関して教師側が補足し授業をまとめてほしい。時間がうまくとれない場合は、資料提示、補足説明でも可能である。
- (8) 大脳皮質・大脳新皮質・前頭葉は意志決定をする機能をもつことについて触れることが望ましい。

(参考資料)

意志決定って何？

意志決定という言葉聞いたことがありますか？

「意志決定」とは、「どうしようか迷うような時」に、どうするかを決めて実行することです。たとえば、傘を持って行くか、朝食をとるか、宿題をするか、テレビを見るか、友達の誘いを受けるか、など他にもたくさんあげられます。それらは、あまり深く考えないで瞬時に決める場合もあれば、時間をかけてよく決める場合もあります。

今までにもみなさんは、よい意志決定ができてとても満足したり、よくない意志決定をして後悔したりした経験があると思います。これからの中学校生活でも、決めることが難しくかったり、悩んだりすることに何度も出会うことと思います。

良い意志決定の仕方について学習し、日常生活の中で練習することにより、重要な「意志決定」をしなければならない時に、自分にとって一番良い「意志決定」ができるようになりましょう。

意志決定の基本ステップ

ステップ1 赤信号(STOP):「何について決めなければならないのか」を明らかにする。

★ 決定しなければならないことは何か、ということ自分を問いかける。



ステップ2 黄色信号(THINK):「それぞれの選択肢の予想される結果について考えよう！」

(選択肢)

(結果)

☆どんな選択肢があるか考える。

☆それぞれの選択肢の予想される結果について考える。



ステップ3 青信号(GO):自分に一番良いと思うことを決定し、実行する。

資料7「意思決定」ワークシート
ワークシート

年 組 番 氏 名

こんな時、どんな意志決定をしますか？

AさんとBくんは中学生になって以来の友だちでした。電話で話したり、試験の時などは二人で勉強したりしていました。Bくんはクラスでも成績の良い方なので、信頼できるのですが、Aさんと一緒にいると何気なくからだを寄せたり、触れてきたりするのは、**そのたびに、Aさんはどうして良いかわからず、そのままにしています。**試験前の日曜日に、Bくんが「僕の家で勉強しよう。」と言うので、AさんはBくんの家に行きました。Bくんの家に行くと、家族は留守でBくん一人でした。

ステップ1 赤信号(STOP) このような場面で、Aさんは「どんなこと」を考えなければならぬでしょうか。

ステップ2 黄色信号(Think): それぞれの選択肢の予想される結果について考えよう。

選択肢	結果
1	
2	
3	

ステップ3 青信号(GO): Aさんへ、一番良いと思うアドバイスを考えましょう。

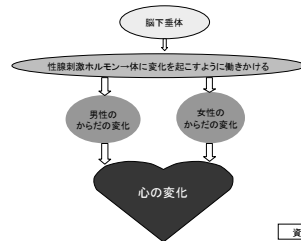
アドバイス

その理由は何ですか。

今日の授業を振り返り、異性に対する自分の考えや、とるべき行動をまとめましょう。

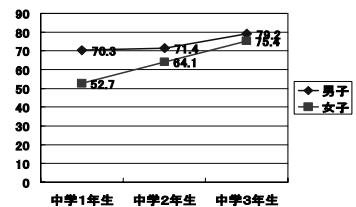
異性への理解を深めよう

思春期におこる体の変化



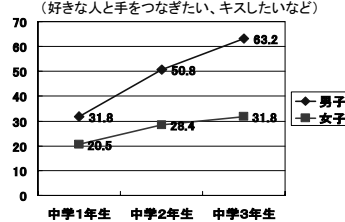
資料①

異性と親しくなりたい ~接近欲~



(都性研 2002年調査)資料②

異性の体になれてみたい ~接触欲~



(都性研 2002年調査)資料③

こんな時、どんな意志決定をすべき？

(例) AさんとBくんは中学生になって以来の友だちでした。電話で話したり、試験の時などは二人で勉強したりしていました。Bくんはクラスでも成績の良い方なので、信頼できるのですが、Aさんと一緒にいると何気なくからだを寄せたり、触れてきたりするのは、**そのたびに、Aさんはどうして良いかわからず、そのままにしています。**試験前の日曜日に「僕の家で勉強しよう。」と言うので、Bくんの家に行きました。Bくんの家に行くと、家族は留守でBくん一人でした。

1. この状況から、Aさんは「どんなこと」について考えなければならぬでしょう。
2. それぞれの予想されること、結果について考えよう。
3. Aさんは、どうするのが一番良いでしょう。

資料④

人の脳の役割



資料⑤

望ましい接し方をするために心がけること ~男女間のエチケット・マナー

- 自分も相手も周囲もいやな思いをしないこと。
- エチケットを守る。
- 互いの人格を尊重する。
- 自己の欲求をコントロールする。
- 見栄をはらない。
- 相手のプライバシーを大切に。
- 時刻や場所をわきまえる。
- 「イエス」・「ノー」をはっきり言う。
- 対等である。

資料⑥

「望ましい異性との関わり方」

1 題材名

「望ましい異性との関わり方」 学級活動(2) ク 性的な発達への適応

2 生徒の実態と題材設定の理由

(1) 生徒観

中学生の時期は、男女の身体的な特徴が顕著になるとともに、異性への関心が高まり性衝動が生じるなど異性に対する心理面での変化も顕著になる。また、特定の異性を求める傾向が強くなり、異性への接近欲も男女ともに高まる時期でもある。一方、現代の情報化社会においては、性に関する開放的で刺激的な情報があふれ、生徒たちはマスコミの営利主義や興味本位の内容に流され、時には様々な心の葛藤や遊びに傾斜する心と結び付き、性的な逸脱行為として現れることもある。

(2) 題材観

この時期は、性に対する正しい理解を基盤に、身体的な成熟に伴う性的な発達に対応し、適切な行動がとれるように指導・援助を行うことが求められる。特に、性に関する情報があふれる現代社会にあっては、自分の行動に責任をもって生きることの大切さや、人間尊重の精神に基づく男女相互の人間関係の在り方などと結びつけて指導していくことが大切であると考え、本題材を設定した。

(3) 指導観

指導に当たっては、異性に対する意識に関するアンケート結果と不適切な性的接触によるエイズ等の問題に関する資料を提示することで、異性との関わり方についての問題意識を高めたい。次に、恋愛のメリット・デメリットについて考えさせ、さらに性的接触の問題点について考えさせることを通して、中学生に時期における相手の立場を尊重した異性との望ましい接し方をしようとする態度を養いたい。

3 本時のねらい

性に対する正しい理解を基に、互いを尊重した望ましい行動の仕方について考え、性的な発達に対応した適切な行動がとれるようにする。

4 各教科、道徳及び総合的な学習の時間などとの関連

- (1) 保健・体育 「心身の機能と心の健康」「エイズ及び性感染症の予防」
- (2) 技術・家庭 「家族・家庭と子どもの成長」
- (3) 理科 「動物の生活と生物の変遷」
- (4) 社会 「私たちと現代社会」
- (5) 道徳 「男女は互いに異性について正しい理解を深め相手の人格を尊重する」
- (6) 特別活動 「思春期の不安や悩みとその解決」

5 指導展開例

段階	学習活動及び内容	時間形態	指導上の留意点 評価	資料等
導入	<p>1 本時の活動内容と課題について知る。</p> <p>(1) 異性との交際に関するアンケートの結果を知る。</p> <p>(2) 本時の課題を知る。</p> <p>望ましい異性との関わり方について考えよう。</p>	5 一斉	<p>アンケートの結果を提示し、異性との関わりについて振り返らせる。</p> <p>現段階では、交際している人は少ないが、高校生になると増えることに着目させる。</p> <p>異性への興味・関心、欲求が高まることは、自然なことであることを伝える。</p>	
展開	<p>2 異性との関わり、恋愛について考える。</p> <p>(1) 恋愛のメリット・デメリットを考え、グループで話し合う。</p> <p>(2) グループごとの発表を聞き、共有するとともに恋愛に対する考え方を広げる。</p> <p>(3) 恋愛の中に「性的接触」があることを知る。</p> <p>(4) 性的接触の問題点について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エイズ ・性感染症 ・さまざまな不安 <p>(5) 中学生としての望ましい異性との関わり方で大切なことを考える。</p> <p>(6) グループで話し合い、ワークシートにまとめる。</p>	40 グループ 一斉 グループ	<p>個々の意見を付箋に記入させ、グループで協議しやすくする。</p> <p>メリット・デメリットを考えることで、恋愛の感情は自然であり、異性とどう関わるかが大切であることに気付かせる。</p> <p>資料2のブラックボックスに入る内容(性的接触)を知らせる。</p> <p>H I V / エイズのグラフ、不安に関するスライドを提示し、異性との関わり方と性的接触との関係について、問題意識を高める。</p> <p>性的接触による不安は、2(1)での不安と質的に異なることを理解させる。</p>	[1] [2] [3] [6]
開	<p>3 今後、異性とどのようにかかわったらよいか、自分の考えをまとめる。</p>	一斉	<p>「今後、異性と関わる際には を大切にしたい」といった自分の意志を明確にして書かせる。</p> <p>性的接触についての危険性や問題点について理解を深め、お互いを尊重した望ましい交際の在り方を見いだすことができたか。</p>	
終末	<p>4 学習のまとめをする。</p> <p>望ましい異性との関わり方について確認する。</p>	5 一斉	<p>節度ある関わり方をするように次の点について話す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 正しい情報を得る。 ・ 興味本位で性的接触をしない。 ・ 自分と相手の将来を考える。 ・ 周囲の事を考える。 	
教材・資料	<p>[1] 恋愛することのメリット・デメリットを考えよう</p> <p>[2] 恋愛のブラックボックス</p> <p>[3] 性的接触の問題点</p> <p>[4] H I V ・ エイズの感染率・罹患率</p> <p>[5] 性感染症にはどんなものがある？</p> <p>[6] さまざまな不安</p> <p>資料のスライドは、福島県相双保健福祉事務所発行「保健スライド集」(H18.3.15)をもとに、加筆・変更を加えたもの</p>			

6 指導細案例

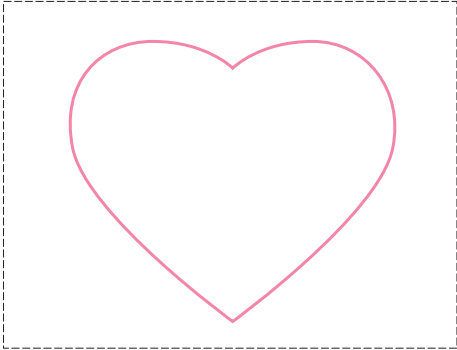
学習内容	教師の働きかけ（発問）	予想される子どもの反応 資料等
<p>1 本時の活動内容と課題について知る。</p> <p>(1) 異性との交際に関するアンケートの結果を知る。</p> <p>(2) 本時の課題を知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>望ましい異性との関わり方について考えよう。</p> </div>	<p>本時は「望ましい異性との関わり方を考えよう」ということで授業をします。始めに、みなさんに事前にとったアンケートの内容を集計しましたので見てください。</p> <p>みなさんのアンケート結果はどうだったかな。何パーセントくらいだったでしょうか。</p> <p>アンケートの結果を提示する。</p> <p>黒板に本時の学習課題を提示する。</p> <p>思春期は異性への関心が高まる時期だということがわかりました。今日は、そのことをふまえて異性に対してどんな関わりをすればいいのか一緒に考えてみよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「5%くらいかな？」 ・「好きな人がいる」は %か。意外と多いな。 ・「交際している人」は %か。意外と少ない。
<p>2 異性との関わり、恋愛について考える。</p> <p>(1) 恋愛のメリットとデメリットを考え、グループで話し合う。</p> <p>(2) グループごとの発表を聞き、共有するとともに恋愛に対する考え方を広げる。</p> <p>(3) 恋愛の中に「性的接触」があることを知る。</p> <p>(4) 性的接触の問題点について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エイズ ・性感染症 ・さまざまな不安 <p>(5) 中学生としての望ましい異性との関わり方で大切なことを考える。</p> <p>(6) グループで話し合い、ワークシートにまとめる。</p>	<p>ワークシートを配付する。</p> <p>それではみなさんのような中学生が、特定の人とおつきあひすることになったとして、どんなメリットとデメリットがあると思う？男女別のグループになって考えてみよう。</p> <p>グループで出た意見を付箋紙に書いて黒板にはってみよう。</p> <p>みなさんが考えたメリットやデメリットを見ると恋愛にはいろんな面があることがわかるね。</p> <p>みなさんの意見とは別に、恋愛にはもう一つの側面がある。それがこの箱に入っているんだけど何かわかるかな？</p> <p>さてなんでしょ？箱の中には「性的接触」が入っていました。</p> <p>このグラフは何のグラフだと思いますか？年々増加しているのはなぜだと思いますか？H I V / エイズの現状を知る。</p> <p>みなさんは性的なことに対する興味や関心が高まる年代なんだよね。でも、興味だけで行動すると大変なことになるんだ。どのようなことになるか、考えてみよう。</p> <p>みなさんの考えた通り、性的接触にはいろんな問題があります。興味本位で行動すると大変な問題になることがわかりますね。</p> <p>では、中学生の望ましい異性との関わり方について大切なことはどんなことなんだろう。グループで意見交換をして、考えたことをワークシートに記入してみよう。</p> <p>意見交換の結果を発表してください。</p> <p>さんどうですか？...</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 10px;"> <p>資料1</p> <p>メリット</p> <ul style="list-style-type: none"> ・楽しい。 ・ウキウキする。 ・優越感。 ・心の支えになる。 <p>デメリット</p> <ul style="list-style-type: none"> ・勉強が手につかなくなる。 ・部活に身が入らない。 ・嫌われないか不安になる。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 10px;"> <p>資料2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なんだろう。 ・性に関することじゃないかな。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 10px;"> <p>資料3</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「H I V / エイズ」のグラフだよな。 ・交際の仕方の問題があるんじゃないのかな。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 10px;"> <p>資料4～7</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エイズになる。 ・望まない妊娠をしてしまう。 ・性感染症になることを体育で勉強したよ。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・異性と関わるときには、興味本位ではなく相手のことをよく考えて行動するようにしたい。
<p>3 今後、異性とどのように関わったらよいか、自分の考えをまとめる。</p>	<p>これから、異性と関わるときにはどうすればいいでしょう。皆さんの考えを「 したいい。」のような形でまとめてみましょう。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 10px;"> <p>ワークシート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・将来のことを考えて関わらなければならぬと思う。 ・責任を持った行動をする。 </div>
<p>4 学習のまとめをする。</p> <p>望ましい異性との関わり方について確認する。</p>	<p>皆さんの考えた通りですね。責任をもって行動することが大切です。では具体的にどうすればいいでしょうか？次の点について考えて今後の生活に生かしていきましょう。</p> <p>次の4点についておさえる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 正しい情報を得る。 2 興味本位で性的接触をしない。 3 自分と相手の将来を考える。 4 周囲のことを考える。 	

7 板書計画

学習課題
望ましい異性との関わり方を考えよう

- 1 恋愛のメリット・デメリット
- 2 「性的接触」の問題点
- 3 中学生の望ましい交際で大切なこと

恋愛のメリット ↔ 恋愛のデメリット



別にパワーポイントをプロジェクター等で映写する。

8 その他の配慮事項

- (1) 事前指導として、アンケートをとり集計をしておく。

アンケート例


自分の性別に を付けてください。 男子・女子

次の質問について、あてはまるものに をつけましょう。

- | | | | |
|---|----------------------|----|-----|
| 1 | あなたは現在、好きな人はいますか。 | はい | いいえ |
| 2 | あなたは現在、交際している人はいますか。 | はい | いいえ |


- (2) 生徒の性に関する価値観が問われることのないよう配慮し、ワークシートやブレインストーミングを活用することにより、自由に自分の意見を出しやすくなるよう工夫する。
- (3) 地域性、生活や家庭環境により、性に関する知識や関心の相違が予想される。学習内容は生徒の実態に応じて臨機応変に扱う。
- (4) 保健体育の授業において「エイズ及び性感染症の予防」を学習した後に実施することが望ましい。「性的接触」に関する内容については、パワーポイント資料にある程度とし、特に詳しく触れない。
- (5) 級友の意見を受容できる温かい雰囲気のもと、学習内容を真摯に受けとめる環境を整える。

本時のめあて
「望ましい異性との関わり方」
について考えよう



資料 1

中学生が恋愛することの
メリット
デメリット
について考えてみよう。

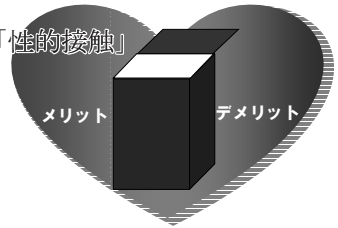


資料 2

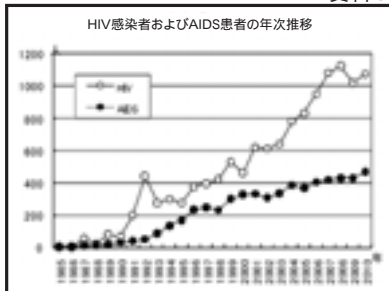
恋愛のブラックボックス

「性的接触」

メリット デメリット



資料 3

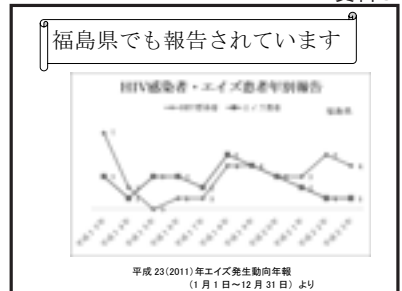


資料 4

行き過ぎた異性への関心
性的接触の問題点

- ・エイズ
- ・性感染症
- ・さまざまな不安

資料 5



資料 6

性感染症にはどのようなものがあるのでしょうか?

梅毒

せんだいコンジローム

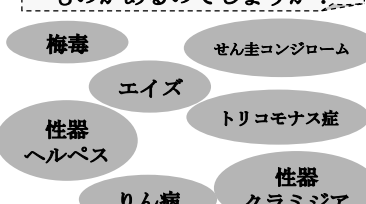
エイズ

トリコモナス症

性器ヘルペス

性器クラミジア

りん病



資料 7

さまざまな不安

周囲に対する迷惑
二人だけの世界…孤立
友情を軽視してしまう
周囲の期待に背く

自分に対する不安
勉強が手につかない…
罪悪感
不安感
孤立感

「自分の気持ちを伝えよう」

1 題材名

「自分の気持ちを伝えよう」 ホームルーム活動(2) ア(4) コミュニケーション能力の育成と人間関係の確立

2 生徒の実態と題材設定の理由

(1) 生徒観

高校生になると、活動範囲が広がり、友人関係にも変化が現れてくる。また、異性への関心が高まり、恋愛感情が芽生え、単なる仲間というだけでなく、特定の異性と親しくなりたいという生徒も多くなる。高校生の性に関する意識調査（H19年）においても、男女ともに5割以上の生徒が「異性の友人が欲しい」、または「今はいる」と答えている。また、同調査において、高校生の性行為について男女ともに5割以上の生徒が肯定的にとらえており、性行為を安易に考えていることが危惧される。また「あまり考えたことがないから、わからない」と答える生徒は男女ともに約2割おり、性行為に対して無関心または性行為に伴うリスク認知が乏しいことも懸念される。

(2) 題材観

高校生の段階では望ましく円滑な人間関係を築くことが求められており、社会における様々な人間関係について振り返らせ、その中でコミュニケーションや行動の仕方、生き方などについて具体的に考えさせることが必要である。特に、男女の人間関係の在り方を考える上で、思春期の心理的特質を考慮しながら、男女の人間関係には多くの過程があり、その過程が大切であることに触れ、場面や状況に応じたふさわしい表現や行為など、望ましいコミュニケーションを図りながら、円滑な人間関係の確立を促していくことが必要と考え、本題材を設定した。

(3) 指導観

指導にあたっては、まず福島県の現状を知らせることで、性に関する問題が身近にあるということを認識させたい。その上で、性に関わる問題の背景には、コミュニケーションの不十分さがその一因として関係しているということに気付かせたい。次に、コミュニケーションのタイプを3つに分けて、それぞれのタイプが相手に与える印象について考えさせ、状況や場面に応じてどのようなコミュニケーションのとり方が望ましいのか理解させたい。グループ活動においては、他の意見を参考にしながら、自分の事として考えを深める態度を養いたい。また、安易に行動することなく、男女が互いの立場や考えを尊重し合い、自分の意志を相手にはっきりと伝えることができる自立した男女の人間関係を育て、賢明な意志決定と行動選択が重要であることを理解させたい。

3 本時のねらい

- (1) 性に関わる問題の背景の一因には、コミュニケーションの不十分さがあることを理解し、他者の言葉や意見に耳を傾けながら自分でしっかりと考え、自分の言葉で適切に表現できるようにする。

4 各教科及び総合的な学習の時間などとの関連

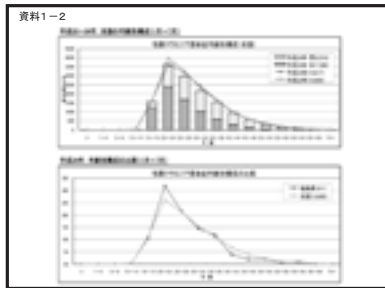
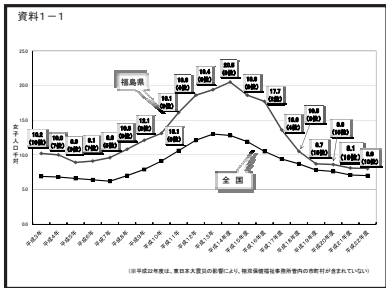
- (1) 保健体育・保健 「現代社会と健康」「生涯を通じる健康」
- (2) 家庭・家庭総合 「人の一生と家族・家庭」
- (3) 理科・生物 「生命の連続性」
- (4) 公民・現代社会 「現代に生きる私たちの課題」「現代の社会と人間としての在り方生き方」
各学校の年間指導計画内容による

5 指導展開例

段階	学習活動及び内容	時間形態	指導上の留意点 評価	資料等
導入	<p>1 本時の活動内容と課題について知る。</p> <p>(1) 福島県の若者の性に関する実態を知る。</p> <p>(2) 性にかかわる問題の背景について考える。</p> <p>(3) 本時の課題を把握する。</p> <p>よりよいコミュニケーションのとり方について考えよう。</p>	10 一斉	<p>福島県の若者の人工妊娠中絶率と性感染症のデータを知らせ、性に関する問題が身近にあることに気付かせる。</p> <p>性にかかわる問題の背景には、コミュニケーションのとり方に一つの原因があることに着目させる。</p>	[1] [2]
展開	<p>2 コミュニケーションのタイプ別特徴について考える。</p> <p>(1) 友人からの誘いとそれに対する返答に関する3タイプのロールプレイを見る。</p> <p>(2) タイプ別の返答の特徴から、どの返答が望ましいかについて考える。</p> <p>(3) 3タイプの印象を発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・弱気タイプ ・けんかタイプ ・はっきりタイプ <p>3 事例を基に、よりよいコミュニケーションについて考える。</p> <p>(1) 異性から「泊まりにおいでよ」と誘われた時に、断るセリフを作る。</p> <p>(2) 誘い役と断り役に分かれ、ロールプレイを行う。</p> <p>(3) 断った立場、断られた立場のそれぞれの印象について話し合う。</p> <p>(4) グループで作ったセリフ、話し合いで出された印象を発表する。</p>	30 一斉 グループ	<p>返答の3つのタイプを指導者がロールプレイでわかりやすく提示し、それぞれの印象を考えさせる。</p> <p>考える上での根拠として、「雰囲気的に弱気だから、強気だから」ではなく、性にかかわる問題と関連していることを踏まえさせる。</p> <p>相手の気持ちを理解した上で、自分の気持ちも伝える「はっきりタイプ」でコミュニケーションをとることが望ましいということに気付かせる。</p> <p>2～4名でグループを作る。男女どちらの立場でセリフを考えるかは、グループごとに選択させる。</p> <p>事例の内容、グループ編成については、クラスの実態を十分に考慮する。</p> <p>「はっきり断ればよい」というだけの、手法に終始するのではなく、コミュニケーションの基盤となる、自分の考えや行動に責任を持つことの大切さに留意する。</p> <p>断られた側の気持ちについても触れるようにする。</p>	[3] [4] [5] [6]
終末	<p>4 本時の活動を振り返り、気付いたことや考えたことを書く。</p> <p>5 教師の話を書く。</p>	10 個人 一斉	<p>性に関わる問題の背景には、コミュニケーションの不十分さがあることを理解し、他者の言葉や意見に耳を傾けながら自分でしっかりと考え、自分の言葉で適切に表現することができたか。</p> <p>2～3人の生徒を指名して発表させ、他の生徒の感想を聞くことにより考えを深めさせる。</p>	
教材・資料	<p>[1] 資料1 - 1 福島県における10代の人工妊娠中絶率 資料1 - 2 県感染症発生動向(クラミジア)</p> <p>[2] 資料2 今時の若者のコミュニケーション</p> <p>[3] 資料3 友達からの誘いを断るセリフの3つのタイプ</p> <p>[4] 資料4 会話のタイプ</p> <p>[5] 資料5 自分の気持ちを伝えるためのヒント</p> <p>[6] 資料6 事例</p>			

6 その他の配慮事項

- (1) 性に関する教育とは、性という漢字が、「心」を表す「りっしんべん」と「生きる」を意味する「生」という字で成り立っていることからわかるように、心と心を理解して生きていくことを学ぶことだという視点で指導する。
- (2) 落ち着いた穏やかな雰囲気が進められるようにする。(教室環境やグルーピングの工夫等)
- (3) 生徒の中には、友人間、男女間においてトラブルを抱えている生徒もいる可能性があるもので、発問や説明、グループ編成に十分配慮する。
- (4) コミュニケーションの3つのタイプのロールプレイングやグループ活動への個別指導を行うために、副担任や養護教諭等とのTTで行うのも効果的である。
- (5) 生徒個人の性に関する価値観が問われることのないように配慮し、あくまでもこの事例について考えさせたり、発表させたりする。
- (6) ロールプレイングについては、形骸化しないよう、生徒が自分の事として考えられるような場面設定をするとともに、単にセリフの発表に終わらず、追加質問をしたり、断る方の気持ち、断られる方の気持ちを聞いたりすることも有効である。あくまで活動が目的ではなく、これらの活動を通して、「断る」＝「人間関係が壊れる」ではなく、お互いに自分の気持ちを伝え合うこと、そして相手の気持ちを尊重し合うことが大切であることを理解させたい。
- (7) プライバシーに関する質問は、互いにしないように留意させる。
- (8) 指導者の価値観で指導することは避け、最終的な意志決定は生徒自身が行えるようにする。
- (9) 各校の実態に応じ、指導内容、方法を工夫する。(TTの活用、時間の工夫など)
- (10) 教科で学んだ基本的知識をもとに、性行為に伴うリスクを理解した上で「断る」という事例設定になっているので、各校の生徒の実態に応じ、平成17年、平成18年に県教委が作成した「性教育指導教材」を活用し、補完しながら指導をすることが望ましい。
- (11) 指導事例の展開については、別途CD-Rに細案を添付してあるので参考にする。
- (12) 各学校の状態に応じて指導計画に位置づけるものとするが、比較的早い段階で指導するのが望ましい。



資料2

今時の若者のコミュニケーション？

- おはよう、こんにちは、ただいまの挨拶ができない
- そもそも言いたいことがない「別に……」
- 言いたいことがまとまらない「ビミョー」
- 相手が言っていることが理解できない「うるせえ」
- 自分と相手の距離のとり方がわからない「ウザい！」

これで気持ちが伝わるかな？

出典 若室伸也講義資料 思春期(大人、専門家用)

資料3

友達からの誘いを断るセリフの3つのタイプ

【誘いの事例】
学校の期末テストを明日に控えている生徒がいます。早く帰って勉強したいと思っていますが、友達からカラオケに誘われました。

タイプ1
「行きたいな～、(もじもじ)う～ん、いいよ～。」

タイプ2
「はあーっ？何言ってるの。明日からテストだってーの！行かぬえよ！」

タイプ3
「ごめん。今日はまっすぐ家に帰ってテスト勉強するよ。テストが終わってから一緒に行く。」

資料4

会話のタイプ1～3は以下のタイプでした

	身振り	ことば
タイプ1=弱気タイプ	<ul style="list-style-type: none"> • ためらう • はっきりしない話し方 • 自信の無い声 	<ul style="list-style-type: none"> • 「うーん……」 • 「もし、やれそうなら」 • 「ええ……でも……」
タイプ2=けんかタイプ	<ul style="list-style-type: none"> • たたくジェスチャー • 大きな声 • 相手の声をささげる • おどすような目つき 	<ul style="list-style-type: none"> • 「言うとおりにしろよ」 • 「そなたの方がいいぞ」 • 「そうだろ。なっ！」
タイプ3=はっきりタイプ	<ul style="list-style-type: none"> • 良い姿勢 • 目を見ながら話す • しっかりと落ち着いた話し方 	<ul style="list-style-type: none"> • 「私はこう思うけど、あなたのかんがえはどう？」 • 「私はこうしたいけど、あなたはどう？」

資料5

自分の気持ちを伝えるためのヒント

コミュニケーションについての考え方や留意点

自分の考えや意見、感情などを伝えるには言葉に表現する。
相手のことを思いやる態度や言葉を示す。
相手の態度や相手の人数などの状況により、対応の仕方は変わります。

言葉による表現

断りの言葉を繰り返す。
理由をつける。
他人や家族のおもむき。
相手の言っていることの矛盾を突く。
相手の言葉や状況など問題に対してと具体的な話をする。
断られた相手の態度や気持ちを冷静に観察し理解し伝える。
相手に伝えてほしいと願う言葉、妥協案、代替案を提案する。

ボディランゲージによる表現

遠慮に顔を合わせる。
相手の方をきちんと向き。
相手の適切な距離を保つ。

出典 大阪府立研究開発センター「性教育実践ガイドブック」(平成27年10月)

資料6

高校1年生の付き合いだして1ヶ月になるカップルがいます

ある日、彼氏(彼女)から「明日、家の人が誰もいないので、泊まりにしたいよ。」と言われました。

でも、彼女(彼氏)の方は「彼(彼女)のことは大好きだけど、泊まりに行くとSEXする雰囲気になってしまったらどうしようか、と心配です。軽信とか性感帯とか怖いし、責任かどれる年でもなく、自分に自信もないので、まだSEXするのは早い」と思っています。

「デートDVについて考えよう」

1 題材名

「デートDVについて考えよう」 ホームルーム活動(2) ア(≡) 男女の相互理解と協力

2 生徒の実態と題材設定の理由

(1) 生徒観

高校生の時期になると異性に対する関心が高まり、恋愛感情が芽生えて、単なる仲間というだけでなく、特定の異性と仲良くなりたいという欲求が強まってくる。その一方で、自我の確立も一層進み、自分自身の判断で物事を進めようとして自己中心的になったり、背伸びした男女関係を求めたりした結果、人間関係がうまくいかなくなり、悩みや不安を抱えてしまう生徒も少なくない。なかでも男女交際において、気づかないままデートDVの被害者・加害者になっている場合もあり、男女相互の理解にかかわる問題を無視できない現状になってきている。

(2) 題材観

男女の好ましい人間関係を築く上では、人間尊重や男女平等の精神に基づき、固定的な性別役割や性観念にとらわれないことが大切である。平成16年度に実施した「男女共同参画・配偶者等からの暴力に関する意識調査」(福島県)によると、女性の24.4%、男性の16.1%が、「身近で配偶者から暴力を受けている人がいる」と回答している。さらに、県内におけるDVの相談件数も年々増加傾向にあることから、男女相互の理解にかかわる問題を大人だけのものとして見過ごすことはできず、本県の高校生にとっても、男女の相互理解を一層深めるとともに、人間として互いに協力し尊重しあう態度を養うことが大切であると考え本題材を設定した。

(3) 指導観

指導に当たっては、まず、デートDVの問題について理解させるとともに、それが自分の身近にも起こりやすい問題であることに気付かせたい。次に、デートDVに関する事例を基にしたグループ活動を通して、デートDVの原因や起こさないための言動・行動を考えさせることで、互いに協力し人権を尊重し合うことの重要性を理解させ、望ましい人間関係を築こうとする態度を養いたい。

3 本時のねらい

デートDVにおける問題点を考えることを通して、互いに協力し尊重し合う望ましい人間関係を築くことができるようにする。

4 各教科及び総合的な学習の時間などとの関連

- (1) 保健体育・保健 「現代社会と健康」「生涯を通じる健康」
- (2) 家庭・家庭総合 「人の一生と家族・家庭」
- (3) 理科・生物 「生命の連続性」
- (4) 公民・現代社会 「現代に生きる私たちの課題」「現代の社会と人間としての在り方生き方」
各学校の年間指導計画内容による

5 指導展開例

段階	学習活動及び内容	時間形態	指導上の留意点	評価	資料等
導入	<p>1 本時の活動内容と課題について知る。</p> <p>(1) デートDVの言葉について確認する。</p> <p>(2) 「デートDV意識チェックシート」でチェックする。</p> <p>(3) 本時の課題を把握する。</p> <p>デートDVの問題について考えよう。</p>	10 一斉	<p>デートDV意識チェックを通してデートDVがイメージできるようにする。</p> <p>暴力を受ける立場に着目させ、デートDVは犯罪であり、人権侵害にあたることを理解させ、問題意識を高める。</p>		[1]
展開	<p>2 デートDVの種類とサイクルについて知る。</p> <p>3 デートDVの事例を基に、異性に対してどのように接したらよいかについて考える。</p> <p>(1) グループの中でA男、B子の立場を決め、ロールプレイングを行うことで、二人の気持ちについて考える。</p> <p>(2) A男、B子の言動の問題点について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・暴力の種類 ・二人の言動や考え方の問題点 <p>(3) グループの意見を発表し合い、共有するとともに、どのように接したらよいかについて話し合い、まとめる。</p>	30 一斉 グループ 一斉	<p>デートDVにおける暴力とは、身体に受ける暴力だけではないことを理解させる。</p> <p>暴力の根底には、「相手を自分の思い通りにしたい」という思いがあり、男女の人間関係の在り方が大きく関係していることを強調する。</p> <p>生徒にとって身近な事例を提示することで、デートDVは誰にでも起こりうる問題であるということに気付かせる。</p> <p>事例の内容、グループ編成については、学級の実態、生徒の実態を十分に考慮する。</p> <p>二人の言動の問題点について話し合わせることで、デートDVの背景に隠された人間関係の在り方の問題まで発展して考えさせるようにする。</p> <p>A男とB子のそれぞれの立場に分けて考えさせ、整理するようにする。</p>		[2] [3] [4]
終末	<p>4 本時の学習を振り返り、これから自分はどのように行動していきたいか、気付いたことや考えたことを書く。</p> <p>5 教師の話を聞く。</p>	10 個人 一斉	<p>デートDVにおける問題点を考えることを通して、互いに協力し尊重し合う望ましい人間関係を築こうとする意欲を持つことができたか。</p> <p>被害に遭っている人が身近にいたら「あなたの責任では無い」ということ、早く相談に行くようにということを伝えてあげられるよう指導する。</p>		
教材・資料	<p>[1] 資料1・2 デートDV意識チェック</p> <p>[2] 資料3 デートDVの形態</p> <p>[3] 資料4 デートDVのサイクル</p> <p>[4] 資料5 事例</p> <p>参考資料：「平成19年度 デートDV防止プログラム」 福島県保健福祉部</p> <p>「デートDV これって愛？」 大分県生活環境部県民生活・男女共同参画課 平成19年3月</p>				

6 その他の配慮事項

- (1) 落ち着いた穏やかな雰囲気が進められるようにする。(教室環境やグルーピングの工夫等)
- (2) 生徒個人の性に関する価値観が問われることのないように配慮し、あくまでもこの事例の中で考えさせたり、発表させたりする。
- (3) デートDVの被害に遭っている生徒がいる可能性もあるので、プライバシーに関する質問はしないようにするなどの配慮をする。
- (4) 指導者の価値観で一方的に指導することは避け、生徒の話し合い活動が活発になされるよう支援し、最終的な意志決定は生徒自身が行えるように配慮する。
- (5) 各校の実態に応じ、指導内容、方法を工夫する。(TTの活用、時間の工夫など)
- (6) 事前に意識調査を行い、クラスの実態を把握した上で展開するのもよい。
- (7) 本時は、単にデートDVに陥らないための対策的な学習でなく、活動を通して、デートDVの背後に隠された人間関係の在り方に問題があることを生徒に気付かせ、人間尊重につながる男女の望ましい付き合い方に対して、自己決定ができるようにさせることが目的であることを、授業を行う上で指導者がきちんと踏まえておくことが大切である。
- (8) 指導事例の展開については、別途CD-Rに細案を添付してあるので参考にする。

資料1

デートDV意識チェック

()に、その通りと思う場合は○、間違いだと思う場合は×を記入してください。

1. デートの相手からの暴力なんて起こったとしても、きっとその時限りのことだ。
() 理由:
2. 暴力は、お互い嫌いになって別れそうになった時に起こる。
() 理由:
3. 暴力をふるわれるのは、ふるわれる方に原因がある。
() 理由:
4. うんと親しくなれば、行動をしぼったりするのは当然。
() 理由:
5. 男性が暴力的・攻撃的なのは男らしい。
() 理由:
6. 相手をばかにしたり、どなったりするのは、暴力のうちには入らない。
() 理由:
7. 望んでいないのにセックスしてしまう人なんていない。
() 理由:

資料2

デートDV意識チェック (解答)

()に、その通りと思う場合は○、間違いだと思う場合は×を記入してください。

1. デートの相手からの暴力なんて起こったとしても、きっとその時限りのことだ。
(×) 理由: 暴力は繰り返され、長引くことが多い
2. 暴力は、お互い嫌いになって別れそうになった時に起こる。
(×) 理由: 互いの中が深まっている最中に起こることが多い
3. 暴力をふるわれるのは、ふるわれる方に原因があるからだ。
(×) 理由: 暴力を振るって良い理由など無し。暴力を振るう側が悪い。
4. うんと親しくなれば、行動をしぼったりするのは当然だ。
(×) 理由: 行動を束縛するのは間違いで、それは愛情では無い。
5. 男性が暴力的・攻撃的なのは男らしい。
(×) 理由: それは間違った認識です。暴力で問題は解決できません
6. 相手をばかにしたり、どなったりするのは、暴力のうちには入らない。
(×) 理由: 言葉の暴力は身体への暴力と同じ位、相手の心を傷つけます
7. 望んでいないのにセックスしてしまう人なんていない。
(×) 理由: 望んでいないのにセックスに促される女性はいくらでも

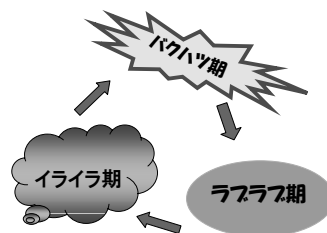
資料3

デートDVの形態

- * 身体的暴力
- * 精神的暴力
- * 性的暴力
- * 社会的暴力
- * 経済的暴力

資料4

デートDVのサイクル



資料5

- A男: 誰とメールしてんだ? 男だな。
B子: 中学の時のただの同級生で、来週クラス会があるから、その相談だよ。
A男: ジャ、見せてみろよ。
B子: えー、でも、何か嫌だな。
A男: やましいことがあるから見せられねーんだな。もうそいつのアドレス消せよ。クラス会? 元彼と会うのが目的なんじゃねーの? それに来週は、俺のバイトがやっと休みになったんだから、俺と遊ぼうぜ。
B子: えー、でもメールできなくなると不便だし、それに私クラス会の責任者だし..。
A男: B子なんてどうせ役に立たないよ。俺の言う事聞けないの? ジャ、もう別れたっていいんだぜ。
B子:わかったよ。

「携帯電話による性被害を防ぐ」

1 題材名

「携帯電話による性被害を防ぐ」 ホームルーム活動(2) イ(イ) 生命の尊重と安全な生活態度や習慣の確立

2 生徒の実態と題材設定の理由

(1) 生徒観

平成20年2月に県教育センターが実施した「携帯電話とインターネットに関する実態調査」によると、県内高校1年生のほぼ全員が携帯電話を持っており、そのうち個人情報の公開を伴う自分専用のプロフィールサイトやホームページを持っている生徒の割合は、約5割に達している。また、平成19年の出会い系サイトに係る性被害にあった少年のうち、半数以上は高校生が占めている。高校生のコミュニケーションツールとして普及している携帯電話やインターネットを利用した犯罪が、増加傾向にあるにもかかわらず、そのことを自分の身近な問題としてとらえることができているとは言えない現状にある。

(2) 題材観

個人情報の公開には常に危険性が伴い、今後一層進むことが予想される情報化社会においては、ネットワークを利用した犯罪による被害の増加が懸念される。危険なサイトにアクセスして犯罪に巻き込まれる例もあり、安易な利用が思わぬ被害に発展し、性被害を受けたりすることもある。このような被害に遭わないために、出会い系サイト等のネットワークを利用した犯罪の現状を知り、望ましい携帯電話の利用方法について理解を深めるとともに、自分の行動に責任を持って生きることの大切さを指導する必要があると考え本題材を設定した。

(3) 指導観

指導に当たっては、高校生の携帯電話の所持率の高さ、及びその安易な利用による被害が非常に多い実態を知らせることで、携帯電話の利用に潜む危険性に気付かせたい。次に、危険性のあるサイトへのアクセスや、個人が特定されやすいプロフ等による被害の事例を基に、その原因や被害に遭わないために注意すべき事について、話し合いを通して考えさせたい。そして、携帯電話を安全かつ有効に利用することができる賢い利用者になるなど、情報化社会において、危険から自分の身を自分で守ることができる態度を養いたい。

3 本時のねらい

携帯電話に潜む危険性や実態を知り、原因や回避の方法を考えることで、危険を予測し的確に行動ができるようにする。

4 各教科及び総合的な学習の時間などとの関連

- (1) 保健体育・保健 「現代社会と健康」「生涯を通じる健康」
- (2) 家庭・家庭総合 「人の一生と家族・家庭」
- (3) 公民・現代社会 「現代に生きる私たちの課題」「現代の社会と人間としての在り方生き方」
各学校の年間指導計画内容による

5 指導展開例

段階	学習活動及び内容	時間形態	指導上の留意点	評価	資料等
導入	<p>1 本時の活動内容と課題を知る。</p> <p>(1) 携帯電話利用の現状について知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 携帯電話の所持率 ・ 携帯電話の利用目的 ・ HPやブログ、プロフィールサイトの利用状況 <p>(2) 携帯電話に関連した犯罪による被害、及び事件の検挙数の実態を知る。</p> <p>(3) 本時の課題を知る。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">携帯電話の賢い利用者になろう。</p>	<p>15 一斉</p>	<p>福島県の実態調査の結果、所持率が100%に近いことに着目させる。</p> <p>以下の点に着目させ、問題意識を高める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 出会い系サイトなど、本来の利用目的以外での被害が多く、命にかかわる問題が起きている。 ・ 10代の女性に被害者が多く、中でも性被害が特に多い。 ・ 男性も危険なサイトへのアクセスで、被害を受けている。 		[1] [2]
展開	<p>2 事例を基に携帯電話の利用に潜む危険性について考える。</p> <p>(1) 3つの事例についてグループごとに分担を決め、ブレインストーミングにより問題点について意見を出し合う。</p> <p>(2) 出された問題点について、各グループの代表が発表する。</p> <p>(3) 出された問題点を黒板上で整理し、グループ分けをする。</p>	<p>25 グループ 一斉</p>	<p>出された意見について、以下の視点でグループ分けをして整理する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本来の目的以外での利用（携帯電話がトラブルの入口になっている。） ・ 危険なサイトへのアクセス（はじめは単純な動機によるだが、重大な事故や事件に巻き込まれている。） ・ 情報の受信にとどまらず、自ら進んでの情報発信 ・ 見知らぬ相手との約束 ・ 見知らぬ相手に実際に会うなど、実行に移行 		[3]
	<p>3 携帯電話の利用にあたって、被害に遭わないようにするための方法を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 洗い出し、整理した問題点から対策について話し合う。 ・ 各グループの代表が発表する ・ まとめをする。 	<p>グループ</p>	<p>上記の視点を基に、注意すべきこととして、以下の3つのポイントに集約し整理する。</p> <p>むやみに個人情報を公開しない。 危険なサイトに近づかない、利用しない。 インターネットは自己責任の世界であることを充分認識する。</p>		[4]
終末	<p>4 今までの自分の使い方を振り返り、これからどのようにしていきたいか、気付いたことや考えたことを書く。</p> <p>5 教師の話を書く。</p>	<p>10 個人 一斉</p>	<p>携帯電話に潜む危険性や実態を知り、原因や回避の方法を考えることで、危険を予測し的確に行動しようとする意欲を持つことができたか。</p> <p>携帯電話は便利であるが、危険性もあることを十分理解した上で、被害に遭わないよう、賢く利用していくように伝える。</p>		
教材・資料	<p>[1] 資料1 出会い系サイトに関連した事件の被害者の実態</p> <p>[2] 資料2 出会い系サイトに関係した事件の検挙数</p> <p>[3] 資料3 携帯電話にまつわるトラブルの事例</p> <p>[4] 資料4 携帯電話の注意すべき点</p>				

6 その他の配慮事項

- (1) 落ち着いた穏やかな雰囲気が進められるようにする。(教室環境やグルーピングの工夫等)
- (2) 生徒の中には、実際に被害に遭っている生徒もいる可能性があるので、発問や説明の際には配慮する。
- (3) 生徒同士で、プライバシーに関する質問はしないように注意を促す。
- (4) 指導者の価値観で指導することは避け、最終的な意志決定は生徒自身が行えるようにする。
- (5) 各校の実態に応じ、指導内容、方法を工夫する。(TTの活用、時間の工夫など)
- (6) 導入については、自校の実態に合わせ、生徒達の利用状況に関するアンケートを事前に実施し、その結果をもとに指導を進めると問題意識が高まり効果的である。
- (7) 指導事例の展開については、別途CD-Rに細案を添付してあるので参考にする。

資料 1

被害者の年齢・性別

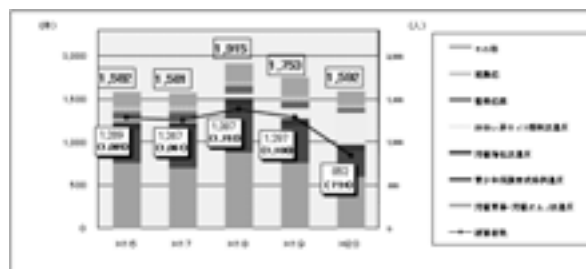
	年齢					性別		前年 対比
	14歳	15歳	16歳	17歳	18歳	男性	女性	
被害者数	1,067	1,387	1,597	952	543	319	223	+95
15歳以下	1,067	1,387	1,597	952	543	319	223	+121
16歳以上	0	0	0	0	0	0	0	-124
15歳以下	1,067	1,387	1,597	952	543	319	223	+121
16歳以上	0	0	0	0	0	0	0	-124
15歳以下	1,067	1,387	1,597	952	543	319	223	+121
16歳以上	0	0	0	0	0	0	0	-124

※「児童」とは、18歳未満の者をいう。
※（ ）は、「被害者数」に対する割合。

出典：警視庁

資料 2

出会い系サイトに関係した事件の検挙件数



資料3

携帯電話にまつわるトラブルの事例

その1

●女の子専用のブログに、友達を作ろうと思い自己紹介を書いたら、見知らぬ男の人たちから「遊ぼうよ」というメールがたくさん届いた。

その2

●被害者(福島県16歳女性)は、出会い系サイトで知り合った男性とドライブ中、その男性に身体を触られた。

その3

●被害者(福島県男性)は出会い系サイトで知り合った女性に誘い出された。その女性は他の男性と共謀して被害者から現金を奪い、暴行死させた。

資料4

携帯電話利用の注意すべき点

- 1 おやみに個人情報公開しない
- 2 危険なサイトに近づかない、利用しない
- 3 インターネットは自己責任で

「清潔な体と身だしなみ」

1 題材名

「清潔な体と身だしなみ」 学級活動(2)キ 心身ともに健康で安全な生活態度や習慣の形成

2 生徒の実態と題材設定の理由

(1) 生徒観

身だしなみについては、自分で気付いてきちんと整えることができる生徒から、髪の毛が乱れていたり下着がズボンから出ていたりしても気にしない生徒、食後の口の周りの汚れ、爪の長さや爪の汚れなどに気付かずにいる生徒など、実態は様々である。本校では保健委員会の活動としての定期的な清潔検査の実施や、全校集会での体の清潔や身だしなみに関する生徒の発表などを通して、これらに対する意識化が図られるよう取り組んでいる。さらに、日常生活の指導を中心に、個に応じた指導も継続して行っているが、なかなか定着が図れないのが現状である。

(2) 題材観

清潔な体と身だしなみに気を付けることは、社会的自立のための基本的な事項であり、将来の就労や社会参加にあたって大切なことである。清潔な体を保つことは健康な生活を送るために重要であり、また、見だしなみは周囲の人との人間関係を保ちながら生活する上で大切なルールである。このように自分で清潔な体を保つことや身だしなみを気にしながら生活できるようにすることは、中学部段階に生徒がきちんと身に付けなければならない事柄であると考える。このようなことから、各教科及び領域・教科を合わせた指導、自立活動などとの指導の関連も意識しながら、ここでは学級活動における指導に視点をあて授業を行うことにした。

(3) 指導観

指導に当たっては、「なぜ体の清潔や身だしなみが大切なのか」について、生徒の障がいの特性や個別の実態に合わせた理解が図られるよう、具体的・体験的な活動を通じた授業を展開していきたい。具体的には、自分の現在の状況を客観的にとらえさせるため、鏡やビデオカメラなどを授業の中で効果的に使用したり、チェックカードによる自己評価や生徒同士の話し合いによる客観的な評価の場面を設定したりして、生徒が自分で気付いて、主体的な改善が図られるような授業になるように心がけて学習を進めていきたい。

3 本時のねらい

- (1) チェックカードを使って自分の身だしなみについて確認することができる。
- (2) 友だちとの話し合いを通してお互いの身だしなみに関心を持つことができる。

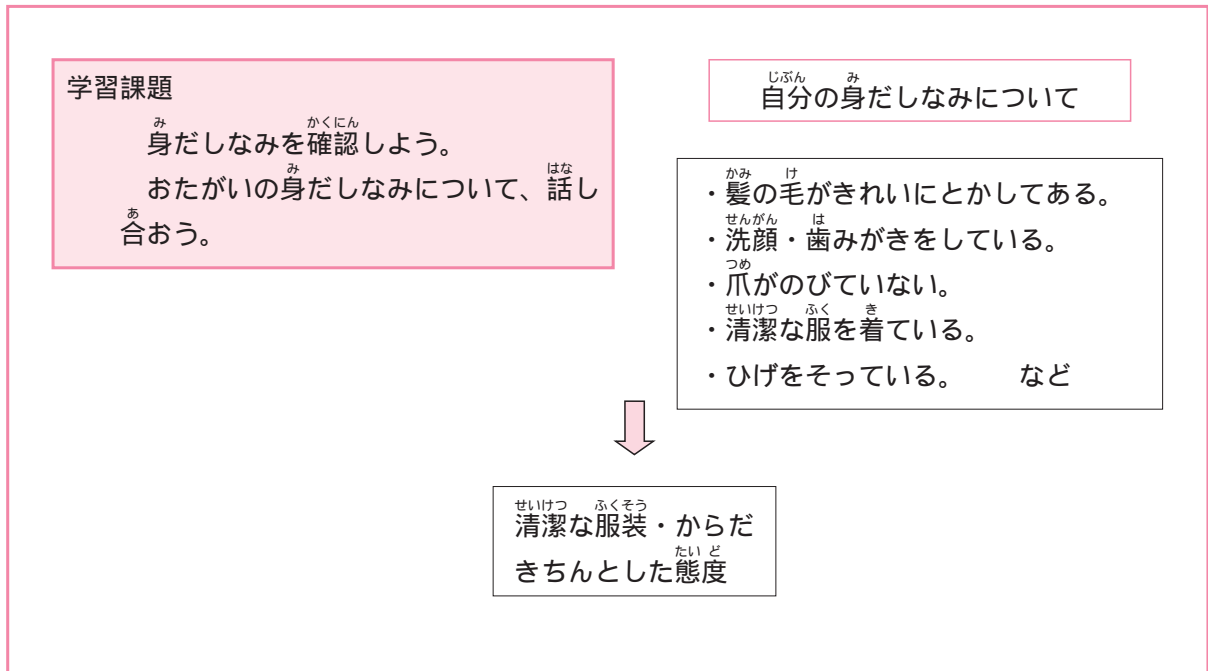
4 各教科、道徳、総合的な学習の時間、自立活動などとの関連

- (1) 保健体育 「体のつくり」「体の成長」「体の衛生」
- (2) 道徳 「心の成長」
- (3) 自立活動 「健康の保持」「身体の動き」
- (4) 日常生活の指導 「身だしなみ」「人とのかかわり方」「通学のときに注意すること」
各学校の年間指導計画内容による。

5 指導展開例

段階	学習活動及び内容	時間形態	指導上の留意点 評価	資料等
導入	<p>1 本時の活動内容と課題を知る。</p> <p>(1) 前時の学習を振り返り、身だしなみを整えることについて確認する。</p> <p>(2) 本時の課題を知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>チェックリストを使って自分の身だしなみを確認しよう 話し合い活動をとおしてお互いの身だしなみに関心を持とう</p> </div>	10 一斉	<p>「身だしなみ」の意味について確認し、共通理解を図る。</p> <p>生徒の実態に合わせて、板書などにより何を学習するかがわかるように具体的に伝える。</p>	[1]
展開	<p>2 チェックリストで自分の身だしなみについて確認する。</p> <p>(1) チェック項目についての説明を聞く。</p> <p>(2) 自分の身だしなみについて確認する。</p> <p>3 チェックリストを使って、お互いの身だしなみについて話し合う</p> <p>4 自分の身だしなみについて、気付いたことや考えたことをお互いに発表しあう。</p>	30 個人 一斉	<p>基本的な生活習慣の項目の中から、特に必要と思われるものを選んでチェック項目として提示する。</p> <p>各項目について一つ一つわかりやすく説明することで、各項目が身だしなみを整える上で大切な構成要素であることを理解させる。</p> <p>必要があれば鏡を使って確認させる。</p> <p>自分では気付かなくても、相手は気付いていて、いやな思いをさせてしまうことがあることに気付かせる。</p> <p>身だしなみを整えることは、自分にとっても周りにとっても気持ちがよく、人間関係を築いていく上での基本となることを伝える。</p>	[2]
終末	<p>5 学習のまとめをする。</p> <p>(1) 身だしなみについての話を聞く。</p> <p>(2) 今後自分ではどこに気を付けていきたいかをまとめる。</p>	10 一斉 個人	<p>望ましい身だしなみとは、着飾ったり、派手な服装をしたりすることではなく、清潔な体を保持したり服装を整えたりすることが大切であることを伝える。</p> <p>身だしなみは外見で判断されるものであるが、その時々的心や気持ちが関係しており、その表れであることを踏まえて指導する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>チェックリストに自分の身だしなみの状況をまとめることができたか。 話し合い活動で、自分や友だちの身だしなみを客観的にとらえることができたか。</p> </div>	[3]
教材・資料	<p>[1] 身だしなみの絵カード [2] 身だしなみチェックリスト [3] ワークシート</p>			

6 板書計画

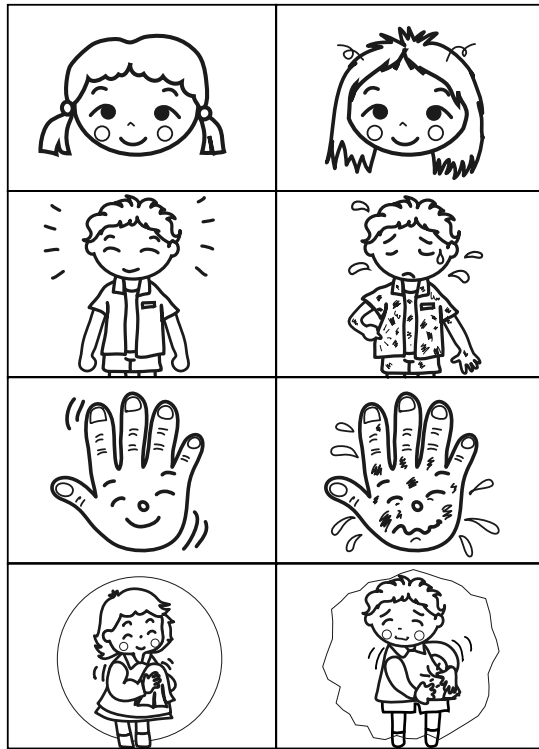


7 その他の配慮事項

- (1) 学習した内容について、日常生活のマナーと関連付けて実践させるようにする。
- (2) 生徒が自立的に取り組んでいけるように、働きかけていく。
- (3) 生徒の実態に応じて、身だしなみのチェック項目を変えることが望ましい。
- (4) 家庭との連携を密にし、保護者の理解・協力を得ることが必要である。
- (5) 障がいの程度によって、コミュニケーションの手段や情報伝達方法について工夫するとともに、教材や教具についても十分配慮する。

[資料1]

身だしなみの絵カード



[資料2]

身だしなみのチェックリスト

※ きちんとできていると思ったら○、まあまあと思ったら△、できていないと思ったら×をつけましょう。

年 組 名まえ _____

番号	身だしなみの内容	自分の確認	周りの人からの確認
1	洗面、歯みがき		
2	下着の前後、裏表		—
3	靴下のかかと、裏表		
4	ボタン、ファスナー		
5	えりもと、そで口、シャツのすその汚れ・ほつれ		
6	ハンカチ		
7	つめ、はな、髪		
8	衣服のしわ		
9	かばん、もちもの		
10	ひげ (男子)		

[資料3]

望ましい身だしなみについて

年 組 名まえ _____

※ 身だしなみについて自分の確認と周りの人の確認が違った項目を書いてください。

- ・
- ・
- ・

※ 確認結果が違った身だしなみについて、どうすれば望ましい身だしなみになると思いますか。

「性被害の防止 ～自分を守ろう～」

1 題材名

「性被害の防止 ～自分を守ろう～」 学級活動(2)キ 心身ともに健康で安全な生活態度や習慣の形成

2 生徒の実態と題材設定の理由

(1) 生徒観

中学部段階になると、二次性徴の発現がみられ、性的な被害の対象となることが多くなる。特に、生徒本人が意識しないままに被害となる可能性が高く、明確な意志表示が難しい生徒の場合、長期間にわたり、周囲に知られないまま被害を受け続ける場合もある。

また、親しさを表現しようとして手を握る、相手の体に触れるなどの行動が改善されないままに成長した場合、小学部段階では大きな問題として取り上げられなかった日常生活の場面における振る舞い方が、問題視される場合が出てくる。

(2) 題材観

成長に伴い自らの体に変化していることに気付かせるとともに、身近な日常生活の中で誰もが性被害にあう危険性があることを知り、自分の身を自分で守る具体的な方法や心構えを身に付けさせることは大変重要である。また、同様に、自分も相手に嫌な思いをさせる可能性があることについても理解し、普段の生活の様子を振り返り、自ら気付かせすることも必要である。

被害にあわないためにはどのようなことに気を付けなければならないか、相手に嫌な思いをさせないためにはどのような行動や言動に気を付けなければならないかを考えることで、自分の身を自ら守る方法や安全な行動を心がけようとする態度を身に付けさせたいと考え本題材を設定した。

(3) 指導観

指導に当たっては、イラストを用いて「プライベートゾーン」について理解を深めるとともに、性被害を防ぐ方法を意識させたい。そのため、ロールプレイングを行い実践的に考えさせることを通して、生徒がより具体的に自分の身を自分で守る方法や態度を身に付けることができるように支援していきたい。

また、場合によっては自分が相手に嫌な思いをさせることを具体的な例を示しながら知らせるとともに、健全な対応の仕方についても併せて例示しながら支援していきたい。

3 本時のねらい

性被害を防ぐ様々な方法を知り、ロールプレイングを通して実践的な対応について考えることで、自分の身を守ることができるようにする。

4 各教科、道徳、総合的な学習の時間、自立活動などとの関連

- (1) 日常生活の指導 「安全」
- (2) 生活単元学習 「人とのつきあい」
- (3) 保健体育 「プライベートゾーン」

各学校の年間指導計画内容による。

5 指導展開例

段階	学習活動及び内容	時間形態	指導上の留意点 評価	資料等
導入	<p>1 本時の活動内容と課題を知る。</p> <p>(1) 恐ろしい場面に出会ったり、怖い思いをしたりした経験について振り返る。</p> <p>(2) 本時の課題を知る。</p> <p>自分を守るための方法を知ろう。</p>	5 一斉	<p>身近な思い出話をすることで、具体的な場面を想起させる。</p> <p>自分たちにとっても身近な問題であることを理解させ、課題意識を高める。</p>	
展開	<p>2 不快な思いをする場面について話し合う。</p> <p>(1) いくつかのイラストを見せ、どう感じるか友だち同士で話し合う。</p> <p>3 不快な思いをする場面をまとめる。</p> <p>4 ロールプレイングを通して、実際の対処法について考える。</p> <p>(1) 知らない人から誘われる事例について、ロールプレイングを行う。</p> <p>(2) ロールプレイングの事例を通して、実際の場面でどのように対処したらよいか考える。</p> <p>事例 甘言（あまいことば）での誘い 事例 追尾 事例 不審な行動</p> <p>(3) ロールプレイを行って初めての感想を發表し合う。</p>	30 一斉	<p>イラストの説明に当たっては、できる限り具体的な状況を例にあげ、生徒がイメージしやすいように支援する。</p> <p>自分で「嫌だな」と感じた場面を確認しながら、学習シートに書いたり、イラストを貼る。</p> <p>教師が誘い役、誘われ役になってのロールプレイングを見せ、正しい対処法について考えさせる。</p> <p>実際に適切な対処ができるかどうか、教師が誘い役、生徒が誘われ役になってロールプレイを行う。</p> <p>共有化を図ることで、対処法を学ぶだけでなく、安全に心がけて生活しようとする姿勢が大切であることを押さえさせる。</p>	
終末	<p>5 学習のまとめをする。</p> <p>(1) 学習を通して、これから自分としては、どのように行動していきたいかについて学習シートに記入する。</p> <p>(2) 危険な場所、時間帯、犯罪から身を守るための方法などを確認する。</p>	10 個人 一斉	<p>学習シートで学習を振り返り、自分にとって身近で危険な場所、時間帯について確認させる。</p> <p>断り方、大声の出し方、逃げ方について再度確認する。</p> <p>犯罪が起きやすい場所や時間を知り、起きた場合の対応について考えることで、身を守る心構えを持つことができたか。</p> <p>犯罪に巻き込まれそうになったときは必ず大人に連絡することを補足する。</p>	[1]
教材・資料	[1] 学習シート			

6 指導細案

学習内容	教師の働きかけ（発問）	予想される子どもの反応 資料等
1 本時の活動内容と課題を知る。	<p>自分の身に迫る危険の回避方法について考えることを知らせる。</p> <p>恐ろしいことや怖い思いをしたときに、どうすればよいかみんなで考えてみましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ クラス全員が分かるような身近な体験等について話をすることで、具体的な場面を思い起こさせる。
2 不快な思いをする場面について話し合う。	<p>いくつかのイラストをみせ、状況を説明する。その後で、感想を聞いたり、友だち同士で話し合わせる。</p> <p>これから、いくつかの絵を見てください。もし、自分がされたら「嫌だな」と感じることはないですか。</p>	<div style="text-align: right;">イラスト</div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 身近な人を例に挙げ、似たような経験を話す。 ・ 見たことのある光景について友だちに話す。
3 不快な思いをする場面をまとめる。	<p>「嫌だな」と感じることに板書してまとめる。</p> <p>自分が「嫌だな」と感じたことを学習シートにまとめましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文字を記入することが難しい場合は、縮小コピーしたイラストの絵を貼り付ける。
4 ロールプレイングを通して、実際の対処法について考える。	<p>事例1～3について、予想される生徒の望ましくない行動を教師が演じて見せる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">事例1 知らない人に声をかけられたら、みんなはどうしますか。</div> <p>【どこいくの？どこの学校？一緒に遊ばない】 今の先生のやり方でいいかな。 どのようにすればいいかな。 《事例 も同様に行く》</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">事例2 知らない人に追いかけられたら、みんなはどうしますか。</div> <p>【おいしいお菓子があるから一緒においで】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">事例3 不審な行動。</div> <p>【立ちふさがって手をつかむ】</p> <p>教師が誘い役、生徒が誘われ役になりロールプレイングをすすめる。 生徒の行動を事例ごとに取り上げ、補足したり賞賛したりする。</p>	<div style="text-align: right;">学習シート</div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大声を出す。 ・ 走って逃げる。 ・ 近くの家や店に入る。 ・ 「いらない」と言う。 ・ 無視する。 ・ 大声を出して逃げる。 ・ 近くの人に助けを求める。 ・ 店や家に逃げ込む。 ・ 大声を出して暴れる。 ・ 防犯ブザーを鳴らす。
5 学習のまとめをする。	<p>学習シートに記入させ、本時の活動を振り返らせる。</p> <p>自分の日常生活の中で注意しなければいけないことは何でしょうか。</p> <p>危険な場所、時間帯、犯罪から身を守るための方法（はっきり断る、大声を出す、逃げる）などを確認させる。</p>	<div style="text-align: right;">学習シート</div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 遅い時間に一人で出かけない。 ・ 危ないと思う場所に行かない。 ・ 怖い目にあったらすぐ親や先生に言う。 ・ 知らない人には絶対についていけない。

7 板書計画

<p>学習課題 自分を守るための方法を知ろう。</p> <ul style="list-style-type: none">危険な場所危険な時間	<p>自分を守る方法</p> <ul style="list-style-type: none">はっきりとことわる大きな声を出す逃げる近くの家や店に助けを求める防犯ブザーを鳴らす暴れる
---	--

8 その他の配慮事項

- (1) ロールプレイングでは、誘い役は教師が行い、生徒には行わせない。
- (2) 誘い役の教師は、誘われ役の生徒に強い恐怖感を持たせないよう演技する。
- (3) 誘い役の教師が演じた行為（甘言、追尾、不審行動）は、行ってはいけないことだと言うことを確認する。
- (4) 犯罪に巻き込まれそうになった場合、必ず大人に報告することを確認する。
- (5) 生徒の実態など必要に応じて、プライベートゾーンにかかわって相手に嫌な思いをさせることへの対応についても触れるようにする。

[1]

自分を守ろう
名前 _____

「嫌だな」と感じたことは？

危険な場所は？

危険な時間は？

知らない人から誘われたら？

「男女交際のマナー」

1 題材名

「男女交際のマナー」

ホームルーム活動(2)ア 個人及び社会の一員としての在り方生き方に関すること
エ 男女相互の理解と協力

2 生徒の実態と題材設定の理由

(1) 生徒観

思春期を迎え、心身の成長に伴い異性への関心が高まると同時に、特定の異性を意識する生徒も出てくる。これは、自然なことであるが、本学級においては、自分の感情をコントロールしたり、自分の気持ちを適切に表現したりすることが苦手で、好きな異性とどのようにかかわっていけばよいかわからない生徒が多い。また、異性と話をしたいと思っても話しかけることができず、その代わりに相手の体に触れてしまったり、適切な距離を保つことができず、必要以上に近づきすぎてしまったりするなど、年齢に即した適切なふるまいに課題のある生徒や、好きな異性に対し、相手の気持ちを考えずに自分の気持ちばかりを押しつけてしまう生徒もあり、その実態は様々である。

(2) 題材観

異性とのかかわり方や男女交際のマナーについての知識や望ましい態度を身に付けることは、卒業後の社会生活を営む上で大切なことである。生徒が心身の発達や異性についての理解を深め、相手の立場や気持ちを考えた適切なコミュニケーションの仕方を身に付けることにより、相手を思いやる心や慈しむ心が育まれ、豊かな人間関係を結ぶことができるようになることを考える。本題材を取り上げるに当たっては、保健体育などの各教科や領域・教科を合わせた指導、道徳、自立活動などとの関連を持たせながら、ホームルーム活動に位置付けて授業を行うことにした。

(3) 指導観

指導に当たっては、握手ゲームを通して、同性と異性とでは握手をした時の気持ちに違いがあることを確認させ、思春期になると異性への関心が自然に高まってくることをとらえさせたい。その上で、学校生活や社会生活の中で、人間として異性に対してどのようにかかわっていけばよいかを考えさせていきたい。生徒達が自分のこととしてとらえ、考えを深めていけるように、「相手のことが好きでもしてはいけない行為」について考えさせ、それを基に「高校生としてふさわしい異性への接し方」について考える場面を設定したい。その際、具体的な場面を取り上げ、ロールプレイングを行いながら今までの自分の行動を振り返り、望ましい行動について考えさせていきたい。

3 本時のねらい

異性への関心の高まりは自然なことであることを理解し、異性と人間関係を築くに当たってのルールやマナーを考え、男女の望ましい人間関係を築くことができるようにする。

4 各教科、道徳、総合的な学習の時間、自立活動などとの関連

- (1) 保健体育 「私たちの体」「体のメカニズム」「心の健康」
- (2) 道徳 「男女の協力」
- (3) 家庭 「家庭の役割」「余暇の過ごし方」
- (4) 生活単元学習 「公共の場でのマナーやエチケット」
- (5) 日常生活の指導 「あいさつ・返事」「身だしなみ」「登下校」

各学校の年間指導計画の内容による。

5 指導展開例

段階	学習活動及び内容	時間形態	指導上の留意点 評価	資料等
導入	<p>1 本時の活動内容と課題について知る。</p> <p>(1) 握手ゲームをする。</p> <p>(2) 握手ゲームを行っての感想を発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少し恥ずかしい。 ・女子と握手した時、ドキドキした。 ・ふつう、何とも感じない。 <p style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">異性に対する接し方を考えよう。</p>	10	<p>以下のルールでゲームを行い、和やかな雰囲気づくりをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最初にあいさつをしてから握手をするようにする。 ・誰と握手をしてもよいが、違いを知るために、自分と同じ年代や違う年代、同性や異性と握手をするようにする。違う年代の相手は教師が務める。 <p>相手によって、握手をしたときの気持ちに違いがあることを取り上げ、問題意識を高める。</p> <p>異性に対する関心が高まることは、自然であることを伝える。</p>	[1]
展開	<p>2 異性との望ましい接し方について考える。</p> <p>(1) 異性と接する時に気をつけていることについて話し合う。</p> <p>(2) 絵カードを見て相手の人や周りの人がいやな気持ちになる場合について考える。</p> <p>(3) グループに分かれ、気持ちのよい接し方、問題のある接し方について話し合う。</p> <p>3 望ましい異性の接し方についてまとめて発表する。</p>	30	<p>話をするときなど、具体的な場面をイメージさせながら生徒の考えを出しやすいようにする。</p> <p>絵カードの例としては、以下のものが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・からだをさわる。 ・人前でべたべたする。 ・しつこく電話する。 ・後をついて行く。 <p>接し方の問題点だけでなく、なぜいやな気持ちになるのか理由も考えさせる。</p> <p>状況に応じて、話し合いの中に教師が加わり、生徒の考えがまとまりやすいように助言する。</p> <p>出された問題点については、生徒が理解しやすいように、以下に示した望ましい接し方の主な3つの視点で整理する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手の気持ちを考える。 ・自分のことだけを押しつけない。 ・周りの人にいやな感じを与えない。 	[2]
終末	<p>4 学習のまとめをする。</p> <p>(1) 本時の学習を基に、今までの自分について振り返る。</p> <p>(2) 今後、どのように接していきたいか、自分の考えや感想をワークシートに書く。</p>	10	<p>上で示した「望ましい接し方の主な3つの視点」を評価の視点として、自分の考えをまとめさせる。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">異性と人間関係を築くに当たってのルールやマナーを考え、異性とのかわり方について自分の考えをまとめることができたか。</p>	[3]
教材資料	<p>[1] 握手ゲームのルールについて示したカード</p> <p>[2] 男女のいろいろなかわり方を表した絵カード (グループ数)</p> <p>[3] 異性とのかわり方についての自分の考えを書くためのワークシート</p>			

6 板書計画

異性への接し方を考えよう

相手や周りの人がいやな気持ちになることは？

- ・からだをさわる。
- ・しつこく電話をする。
- ・人前でべたべたする。

高校生として、どんなつきあい方をするといいかな？

- ・相手の気持ちを考える。
- ・自分のことだけをおしつけない。
- ・周りの人にいやな感じをあたえない。

7 その他の配慮事項

- (1) 人間関係の基本となる他者との接し方を身につけていくことを根底におき、特定の異性を意識したり好きになったりする感情は、自然なこととして生徒が受け止めることができるように授業を展開する。
- (2) 異性との接し方で、「望ましいかかわり方」とはどのようなことかということ、具体的な例をもとに生徒に考えさせるようにする。そして、生徒に理解できるように整理していくことが大切である。
- (3) 生徒の実態に応じて、学校生活全体を通して繰り返し指導していく必要がある。

資料 [1]

【握手ゲームのルール】

- ① あいさつを交わしてから握手をする。
- ② だれと握手をしてもよい。

資料 [2] 【相手のことが好きでも、してはいけないことはどれ?】 絵カード

<p>からだをさわる。</p>	<p>楽しく話をする。</p>	<p>だまって後をついていく。</p>
<p>いっしょに帰る。</p>	<p>しつこく連絡する。</p>	<p>手をつなぐ。</p>
<p>まちぶせをする。</p>	<p>食事をおごったり プレゼントをあげたりする。</p>	<p>人前でべたべたする。</p>

資料 [3] 【自分の考えを書こう】

A君には、つきあいたいと思っている好きな人がいます。
二人のつきあい方について、あなたは、A君にどんなアドバイスをしてあげますか。

3 「性に関する指導」を効果的に進めるためのQ&A

教職員が指導する際に比較的多く持った疑問について、Q&A形式で学校における性に関する指導を効果的に進めるための留意事項を下記にまとめた。

(共通)

学校は保護者や地域に対し、どのように発信したらよいか？

学校説明会や学校だより、学年だより、学級通信、授業参観、懇談会、講演会、学校保健委員会、家庭教育学級等を通して、年間指導計画を提示するとともに、地区別懇談会等で話題を提供するなどして、家庭や地域の性に関する指導への意識を高め、共通理解を図るようにする。

また、性に関する指導を授業参観等で公開したり、保護者に授業に参加してもらったりすることも意識を高め、理解を深めるのに効果的な方法である。

課題解決的な学習を性に関する指導で取り入れるときに留意すべきことは何か？

教師は児童生徒が単元目標を十分実現できる課題を設定するとともに、課題の内容が児童生徒の発達段階に即した適切なものになるよう指導を行う必要がある。

課題解決的な学習で調べる活動を行う際は、学校図書館や地域の教材、学習環境を積極的に活用することは必要であるが、インターネット等により、児童生徒が発達段階に即していない様々な情報を収集することもあるので、学習方法や学習手段、教材等については、指導者のねらいから逸れないよう、条件をつけたり、制限を設けたりするなどして、慎重に取扱う必要がある。

教師が教材や資料を活用する際も同様であり、十分に吟味して使用することが必要である。

学校において特に必要がある場合には、発展的な学習として学習指導要領に示されていない学習内容を指導してよいのか？

学習指導要領第1章総則第2内容等の取扱いに関する共通的事項2で「学校において特に必要がある場合には、第2章以下に示していない内容を加えて指導することができる。」とある。

しかし、この場合、第2章以下に示す各教科、道徳、特別活動及び各学年の目標や内容の趣旨を逸脱したり、児童生徒の負担過重となったりすることのないようにしなければならない。

したがって、性に関する指導については、発展的な内容は、個に応じた指導の充実のために取り入れるものであり、一律の内容として扱うものではない。

一律の指導だけでは十分でない児童生徒への指導はどうしたらよいか？

一律の指導内容では、個人の課題への対応が不十分な場合には、個別指導を十分に行う必要がある。

その場合、学校の対応だけでは限界があるため、各種相談機関をケースに応じて活用することも有益である。また、必要に応じて、相談機関を児童生徒や保護者に周知することも考えられる。

(小学校)

小学校低学年でも性器の名称を「ペニス」「ワギナ」と教えてよいか？

小学校低学年において、性器は大切な器官の一つであり、清潔にしておくことを理解させることは大切である。しかし、一律の指導で性器の名称まで学習する必要はない。

性器の名称は、第4学年の体育・保健領域で初経、精通を理解させるために、教科書に出ているが、平成17年度より教科書の性器の名称は「ペニス」「ワギナ」から「いんけい」「ちつ」の表記になったので、指導する場合は4年生以降で「いんけい」「ちつ」という名称を用いる。

小学校低学年の学級活動で「男の子・女の子・大切な体」を扱う場合、性器の名称はどのように教えるのがよいか？

児童の発言の中から「おちんちん」などの言葉が出ることもある。だからといってそこで特別に名称を教える必要はない。第4学年の体育・保健領域「育ちゆく体とわたし」の内容では、初経や精通について学習することになっており、教科書においても、その段階で性器の名称を表記する取扱いになっている。低学年の段階では必要があれば児童の言葉を生かしながら指導を進めればよい。

性的接触を小学校で扱うことは適切か？

一般に小学生に性的接触を理解させることは困難である。また、性的接触を扱うことは学習指導要領の趣旨を超えることになるとともに、保護者等の理解も得られにくく、一律の指導内容としては適切とは言えない。

小学校中、高学年になると、自分がどのように生まれてきたのかということを知り、自己認識を確かめたいという欲求が生じてくる。したがって、生命誕生について理解させ、自他の生命を大切にしようとする態度を育てることは必要であるが、生命誕生を理解させるために性的接触まで扱う必要はない。

小学校低学年で生まれる前の様子を指導することは適切か？

この時期は自分が父親・母親によって生まれ、多くの人々の愛情と保護によって育てられてきたことに気付かせる指導は必要である。生活科の内容⁽⁹⁾「自分の成長」で、これまでの生活や成長を支えてくれた人々への感謝の気持ちを持ち、意欲的に生活できるようにすることを目的とした指導内容にする必要がある。

母体内での様子については、第5学年の理科で指導することになっているので、小学校低学年の特別活動等で指導する場合には、既習内容や発達段階を踏まえ、児童が理解できる内容とする必要がある。

6年生の体育でエイズについてどのように取り扱ったらよいか？

第6学年の体育・保健領域の「病気の予防」でエイズという病気のあらましを理解させ、エイズに対する偏見や差別を持つことなく、正しい判断ができる能力を育てることが大切である。

なお、エイズが「性的接触」で感染することは中学校の保健体育・保健分野で扱うことになっており、小学校では「性的接触」による感染症としては扱わない。

(中学校)

性的接触を中学校ではどのように取り扱うか？

中学校の学習指導要領では、第1学年の保健で、「生殖にかかわる機能の成熟」について学習すると定められており、内容の取り扱いで「受精・妊娠までを取り扱うものとし、妊娠の経過は取り扱わないものとする。」となっている。妊娠すること、させることが可能となる性の成熟がはじまるという観点から取り扱われており、性行為は内容として示されていない。ここでは、性機能の成熟により、妊娠が可能となった自己の体への認識を高めると共に、こうした変化に対応した適切な行動の必要性を理解し、体は成熟してもまだ親にはなれないこと等を考えさせていくことが大切である。

また、妊娠や性感染症への感染など、安易な性的接触による危険性を考えさせることにより、性行動の適切な判断と行動選択の能力を育てる指導も必要である。

コンドームについてどう指導したらよいか？

中学校の第3学年の保健で後天性免疫不全症候群（エイズ）を指導する際は、「その主な感染経路は性的接触であることから、感染を予防するには性的接触をしないこと、コンドームを使うことなどが有効であることにも触れるようにする。」（「中学校学習指導要領解説」文部省編）こととしている。コン

ドームの装着の仕方等は、内容として示されていない。

また、中学生の「性的接触」や「コンドーム」に対する知識や情報については個人差が大きく、理解や受け止め方が異なるため、一律の実習や指導は適切とはいえない。

(高校)

性行動が低年齢化している現状から、高校生には積極的に避妊方法を教えるべきか？

高校の科目保健の学習指導要領では「生涯を通じる健康」の「生涯の各段階における健康」で、「受精、妊娠、出産とそれに伴う健康問題について理解できるようにするとともに、家族計画の意義や人工妊娠中絶の心身への影響などについても理解できるようにする。」こととしており、健康な結婚生活についての理解であり、避妊具の具体的使用方法については内容として示されていない。

よって、高校生は「性行為をすべきではない」というスタンスに立ち、男女が互いの立場や考えを尊重し合い、自分の意志を相手にはっきりと伝えられる自立した男女の人間関係を育てるとともに、性行動に対する賢明な意志決定や行動選択の能力や態度を身につけさせることが重要である。

高校生は性意識や性行動について個人差が大きいですが、ホームルーム活動において、どのように指導したらよいのか？

新学習指導要領の改善事項として「社会において自立的に生きることができるようにするため、社会の一員としての自己の生き方を探求するなど、人間としての在り方生き方の指導を一層重視」することや「意見をまとめるなどの話し合い活動や自分たちできまりをつくって守る活動、人間関係を形成する力を養う活動などを充実」させることが示された。

ホームルーム活動で取り上げる性に関する指導については、「適応と成長及び健康安全」にかかる内容から、ねらいや実態に応じた課題を設定し、生徒同士の話し合い活動を充実させ、生徒一人一人が人間としての在り方生き方についての自覚を深め、社会の中で自己を正しく生かす能力を培うことができるよう配慮することが大切である。

参考・引用文献一覧

書名等

学校における性教育の考え方、進め方	文部科学省
性教育の手引 ～盲・ろう・養護学校編～	東京都教育委員会
性教育の手引 ～小学校編～	東京都教育委員会
横浜市学校における性教育の考え方、進め方	横浜市教育委員会
性教育の手引（改訂版）	新潟県教育委員会
すべての教職員が取り組む性教育指導マニュアル ～心と体の性教育のために～	愛媛県教育委員会
性に関する指導の手引	島根県教育委員会
学校保健安全指導資料 性に関する指導推進プラン	郡山市教育委員会
小学生向け 性教育教材	渡會睦子
中学生向け 性教育教材	渡會睦子
JKYB ライフスキル教育プログラム中学生用 レベル1	JKYB研究会
スクールイラスト集	株式会社エム・ピー・シー

指導事例において資料として使用した文献等については、各指導事例の中に記載している。

資 料 発 行 平成24年 9 月

お問い合わせ先 福島県教育庁健康教育課

T E L 024 - 521 - 8409

F A X 024 - 521 - 7167

URL <http://www.pref.fks.ed.jp>

E mail k.kenkoukyouiku@pref.fukushima.lg.jp

